

# 埋藏文化財 目録

ISSN 0389-3731  
 奈良国立文化財研究所  
 埋藏文化財センター  
 〒630 奈良市二条町2-9-1  
 ☎ 0742-34-3931

1983.6.20 **41**

CAO NEWS

Centre for Archaeological Operations

## 陶硯関係文献目録



# 陶硯関係文献目録

## 凡 例

1. この文献目録は、日本出土の陶硯（須恵器硯・土師器硯・瓦硯・陶磁硯・転用硯を含む土器・陶磁器の硯）に関する文献のうち、主に、1901年1月から1982年10月の間に刊行されたものを収録した。
2. この目録は、都府県別文献目録と総論とからなる。都府県別の目録には、冒頭に陶硯出土遺跡名とその遺跡所在地、およびその遺跡の種類を記し、次に文献を掲載した。文献が未刊の遺跡例の場合にも、遺跡名・所在地・遺跡の種類等を掲げるよう努めた。総論には、陶硯全般について論じたものを主として収録した。
3. 遺跡の配列は、原則として所在地の市町村コード番号順とした。遺跡が複数の市町村にまたがる場合には、その中でコード番号が最も若い市町村の順位に掲載した。
4. 都府県別文献目録には、硯の形態・編著者名・書名・発行年を発行年順に並記した。総論の目録には、編著者名・書名・発行所・発行年を発行年順に記した。
5. 遺跡所在地が2つ以上の市・町・村・字にわたる場合には、○○町～□□町等と表記した。
6. 遺跡の種類や硯の形態の欄における○○/□□の表記は、○○又は□□のいずれかであることを示し、○○・□□の表記は、○○と□□の両者があることを表わす。硯の形態や書名等に関する編者の註記は小文字で表記した。
7. 陶硯の形態の表記は、4～9頁に示した分類名称によるものであり、各報告書等に記された表記ではない。硯の詳細が文献に示されていない例でも、都府県教育委員会等の協力を得て細別した名称を掲げる様に努めた。なお調査報告が未発表であったり、硯が小片であるため、細別ができなかった例の場合には、陶硯、円面硯、風字硯等と記すにとどめた。
8. 編著者名・書名・発行所の一部については次のような省略を行ない、他にもこれに準じたものがある。

埋蔵文化財調査報告書	→埋文報	文化財調査報告書	→文報
宮城県多賀城跡調査研究所	→多賀城研	奈良国立文化財研究所	→奈文研
橿原考古学研究所	→橿原考古研	九州歴史資料館	→九歴資料館

9. 本目録作成にあたっては、各都道府県教育委員会・関係市町村教育委員会・石井則孝・小田富士夫・吉岡康暢氏の御協力をいただいた。記して感謝したい。
10. この目録は、埋蔵文化財センター山中敏史を中心として編集したものである。誤記・遺漏等については後日改めて補足・訂正したいので、未収録の文献や遺跡例、誤脱の訂正など、当センターまで御連絡いただきたい。

表1・表2（120～123頁）凡例

1. 表1は、陶硯出土遺跡の種類ごとの数をまとめたものである。表示した遺跡の種類の内訳は次のとおりである。

宮・官衙	→宮・京・地方官衙	城柵	→城柵・山城・城館・水城
寺院	→寺院・寺院関連施設	集落	→集落・豪族居館
墳墓	→古墳・土壙墓ほか	窯	→窯
散布地	→遺物散布地・包含地	その他	→荘家・津・牧・祭祀跡・製鉄跡ほか

2. 表1の各欄の太字体数字は、その種類に含まれると論じられている遺跡の数を示している。（ ）内の明朝体数字は、それ以外の種類の遺跡である可能性も考えられている遺跡数で、左側数字の内数である。
3. 表1右端の「転用硯のみ出土」欄は、遺跡総数のうち転用硯だけが出土している遺跡の数である。
4. 表2の陶硯の種類の内訳は次のとおりである。
- |       |                          |        |           |
|-------|--------------------------|--------|-----------|
| 圈足    | →圈足硯・二面圈足硯               | 低圈足・無脚 | →低圈足硯・無脚硯 |
| 二面風字  | →二面平頭風字硯・二面円頭風字硯・二面舟形風字硯 |        |           |
| その他未詳 | →その他の硯（猿面硯を除く）・形態未詳の硯    |        |           |
5. 表2の明朝体数字は、円面硯・風字硯における形態別遺跡数である。円面硯小計および風字硯の小計には、詳細不明で細別できなかった円面硯・風字硯の出土遺跡数も含まれている。
6. 遺跡数を数えるにあたっては、寺院跡を除く京内遺跡は、条坊の各坊単位を1遺跡とみなし、窯跡については、窯1基を1遺跡とするのを原則とした。

## 陶 硯 の 分 類

陶硯の分類にあたっては、今里幾次（『播磨辻井廃寺址の古陶硯—日本上代円面硯の型式分類に就いて—』『史迹と美術』189 1948年）・内藤政恒（『調度 硯』『新版考古学講座』7 1970年）・石井則孝（『陶硯について—その1—』『史館』1 1973年）・榎崎彰一（『日本古代の陶硯—とくに分類について—』『考古学論考 小林行雄博士古稀記念論文集』1982年）諸氏の論考を参照した。しかし、分類の基準や用語等について諸氏異なる点が多いので、この埋蔵文化財ニュースでは、陶硯をまず平面形態の差異によって円面硯・円形硯・楕円硯・風字硯・形象硯・方形硯・その他（猿面硯・兎図硯など）・転用硯の8群に仮りに大別し、次に各群を脚などの有無や形状によって細別することとした。以下、各群の分類基準および上記諸氏分類による諸型式との関係について述べる。なお、硯の用語を次のように定めておくことにする。

陸：墨を磨る面。 海：水・墨汁を貯えるくぼみ。 硯面：硯の主要な面。陸と海とを明確に分けたものと、その区別が不明瞭なものがある。 堤：硯面に設けられた突帯。 硯頭・硯尻：楕円硯・風字硯・形象硯（八花硯を除く）・方形硯については、海のある方の端を硯頭、その逆側の端を硯尻とよぶ。 縦・横：硯面の長軸方向を縦、短軸方向を横とよび、「縦方向に堤をつける」等と表現する。 短脚：棒状の短い脚を短脚とよぶ。

### A. 円面硯

硯面が円形であって陸が中央にあり、その周囲を海が取り巻いた形態をとる一群。陸には、水平なもの、中高のもの、中央をくぼめたものがある。

**圈足硯**（図1～4） 中国考古学でいう圈足、すなわち輪状の台脚を有する一群。後述の低圈足硯とくらべて台脚は高い。台脚に「透し」をもつものもたないものがある。今里・内藤・石井・榎崎分類の「透脚硯」にほぼ相当する。本類は、榎崎氏の指摘するように、陸の周縁に幅の狭い堤を設けて陸と海とを区画する有堤式（2・3）と、堤を設けない無堤式（1・4）とに分かれる。後者はさらに、溝状の海を有するもの（1）と、陸からゆるやかに下降して海となるもの（4）とに分類できる。

**二面圈足硯**（図12） 圈足硯の硯面を堤によって左右に二分したもの。

**低圈足硯**（図5・6） 圈足の著しく低い一群。今里分類の「短脚硯」、榎崎分類の「低脚硯」に相当する。有堤式（5）と無堤式（6）とがある。

**無脚硯**（図7・8） 脚の付かない円面硯。今里・榎崎分類の「無脚硯」に相当する。有堤式（7）と無堤式（8）とがある。

**蹄脚硯**（図14・15） 3ないし30個内外の獸脚を付け、台脚下端を輪状の圈台に固定した一群。内藤・榎崎分類の「蹄脚硯」に相当する。有堤式と無堤式（14・15）とがある。本類には硯部と台脚部の両者を別々に作って結合したもの（14）と、両者を連続的に成形した後、台脚部下半に粘土を巻き付け、透し孔を割り、三角柱状の獸脚を作り出したもの（15）との2種が

ある（奈文研『平城宮発掘調査報告』Ⅶ 1976年 参照）。

**獣脚硯**（図10・11） 3個ないし10個内外の獣脚を付けるが、脚下端に圈台を設けない一群。内藤分類の「円面硯第4類」、榑崎分類の「獣脚硯」の一部に相当する。有堤式（10）と無堤式（11）とがある。

**杯皿形硯**（図13） 杯・皿や高杯の口縁部上面を硯面で遮蔽した形態のもの。

**提瓶形硯**（図16） 把手付の円面硯で、提瓶を横にし、体部片面を硯面としたような形態のもの。把手部に筆立てまたは墨立ての穴を穿ったものがある。

## B. 円形硯

硯面は円形であるが、円面硯に含めない一群。硯面が傾斜するものと水平のものがある。

**二面単脚円形硯**（図17） 硯面を傾斜させ、一方を海、他方を陸とし、海と陸とを縦断する堤によって硯面を二分したもの。硯面の傾斜は、裏面に付した横長の単脚による。

**双脚円形硯**（図18） 単脚円形硯と同様、硯面が傾斜する。硯面の傾斜は、裏面に付した2個の短脚による。榑崎分類の「第二種第三類円形硯」に相当する。

**三脚円形硯** 円形皿状の硯面の一部をくぼめて海としたもので、陸は水平。裏面に扁平な脚3個を設ける。榑崎分類の「獣脚硯C形態」に相当する。

**四脚円形硯**（図19） 硯面を傾斜させ、一方を海、他方を陸としていたらしいが、完形品がなく明確でない。有堤式である。裏面に4個の短脚を付ける。

**圈足円形硯**（図9） 圈足硯に似ているが、硯面が平坦で海・陸の区別のないもの。

**低圈足円形硯** 圈足円形硯に似ているが、圈足の著しく低いもの。

## C. 楕円硯

硯面が楕円形状を呈する一群。硯面が水平なものと同様に傾斜するものがある。

**無脚楕円硯** 脚のない楕円硯。水平な陸を有する例がある。

**双脚楕円硯**（図20） 裏面に短脚2個を付け、硯面を傾斜させ、一方を海、他方を陸としたもの。

**四脚楕円硯**（図21） 2本の細長い堤状の脚のそれぞれ中央を弧状に削って四脚を作り出した例がある。陸はほぼ水平。海・陸を区画するとみられる横方向の堤がある。

## D. 風字硯

平面形が漢字の「風」の形に似ているのでこの名がある。陸は傾斜し、硯尻で最も高い。陸の裏面の硯尻に2個の短脚を付けて硯面を傾斜させるのが一般的であるが、裏面硯頭寄りにも1ないし2個の短脚をつけるもの（三脚・四脚）や陸の裏面周縁に堤状の脚を付したもの（堤状脚）もみられる。

**平頭風字硯** (図27・30) 平面形が隅丸長方形あるいは隅丸台形状の形態をとり、硯頭は円みが少なく比較的平坦な一群。石井分類の「風字硯第二類」の一部、榑崎分類の「定形硯」の一部に相当する。海と陸の境に堤を付けた有堤式(27)と、堤のない無堤式(30)とに分かれる。

**二面平頭風字硯** (図31) 平頭風字硯の硯面を縦方向の堤によって左右に二分するもので、縦堤二面平頭風字硯の略称。榑崎分類の「二面硯」の一部に相当する。

**三面平頭風字硯** 平頭風字硯の硯面をT字形の堤によって三分割したもの。

**花頭硯** (図28) 硯頭を花卉の先のようにわずかに尖らせたもの。石井分類の「風字硯第二類」、榑崎分類の「変型硯」に相当する。有堤式と無堤式(28)とに分かれる。

**円頭風字硯** (図29) 平面形が馬蹄形状を呈し、硯頭が円弧状をなす一群。有堤式(29)と無堤式とがある。

**二面円頭風字硯** (図32~34) 硯面を堤によって二分した円頭風字硯。二面平頭風字硯と同様、硯面を縦方向の堤で二分したものを縦堤二面円頭風字硯(32)とよぶ。これに対して、横方向の堤で硯面を硯頭側と硯尻側とに二分するものを横堤二面円頭風字硯(33)、L字状の堤によって硯面を大・小二区画に区分したものを曲堤二面円頭風字硯(34)と称する。榑崎分類の「二面硯」の一部に相当する。本類のうち縦堤二面円頭風字硯が最も一般的なものであるので、この目録では、これを二面円頭風字硯と略称で表記することにした。

**舟形風字硯** (図35) 硯頭が舳先状に細まる形態のもの。硯面を縦方向の堤で二分したものが知られており、これを二面舟形風字硯とよぶ。

## E. 形象硯

動物・宝珠・花などを象った形態をとる一群。

**鳥形硯** (図39~41) 鳥を象った硯。羽毛を描いた蓋(40)の付く例がある。

**亀形硯** (図36) 亀を象った硯。蓋(36)の出土例がある。

**獸形硯** 獸類を象った硯。羊を象った羊形硯(表紙図参照)などがある。

**宝珠硯** (図37) 平面形が宝珠形状を呈する硯。石井・榑崎分類の「宝珠硯」にあたる。

**八花硯** (図38) 外縁に花卉状の削り込みがあり、平面形が花形状を呈するもの。石井分類の「八花硯」に相当する。

## F. 方形硯

平面形が長方形またはそれに近いもの。陸が水平のものと傾斜するものがある。

**長方硯** (図22・24・25) 風字硯と同様に一方を陸、他方を海とするが、陸が傾斜するもの(22・25)と傾斜しないもの(24)とがある。陸の裏面に脚を設けないもの(22・24)と、縁に堤状の脚を作り出すもの(25)とがある。榑崎分類の「長方硯」に相当する。

**双脚方形硯** 平面長方形で、裏面に付けた2個の短脚で硯面を傾斜させるもの。

**四脚方形硯** (図23) 平面長方形で硯面を傾斜させたとみられるもので、裏面の硯頭・硯尻に各2個の短脚を付ける。L字形の堤で硯面を大・小二区画に区分した曲堤二面四脚方形硯がある。

## G. その他

上記の硯以外の形態をとる硯で、後述する転用硯を除くもの。

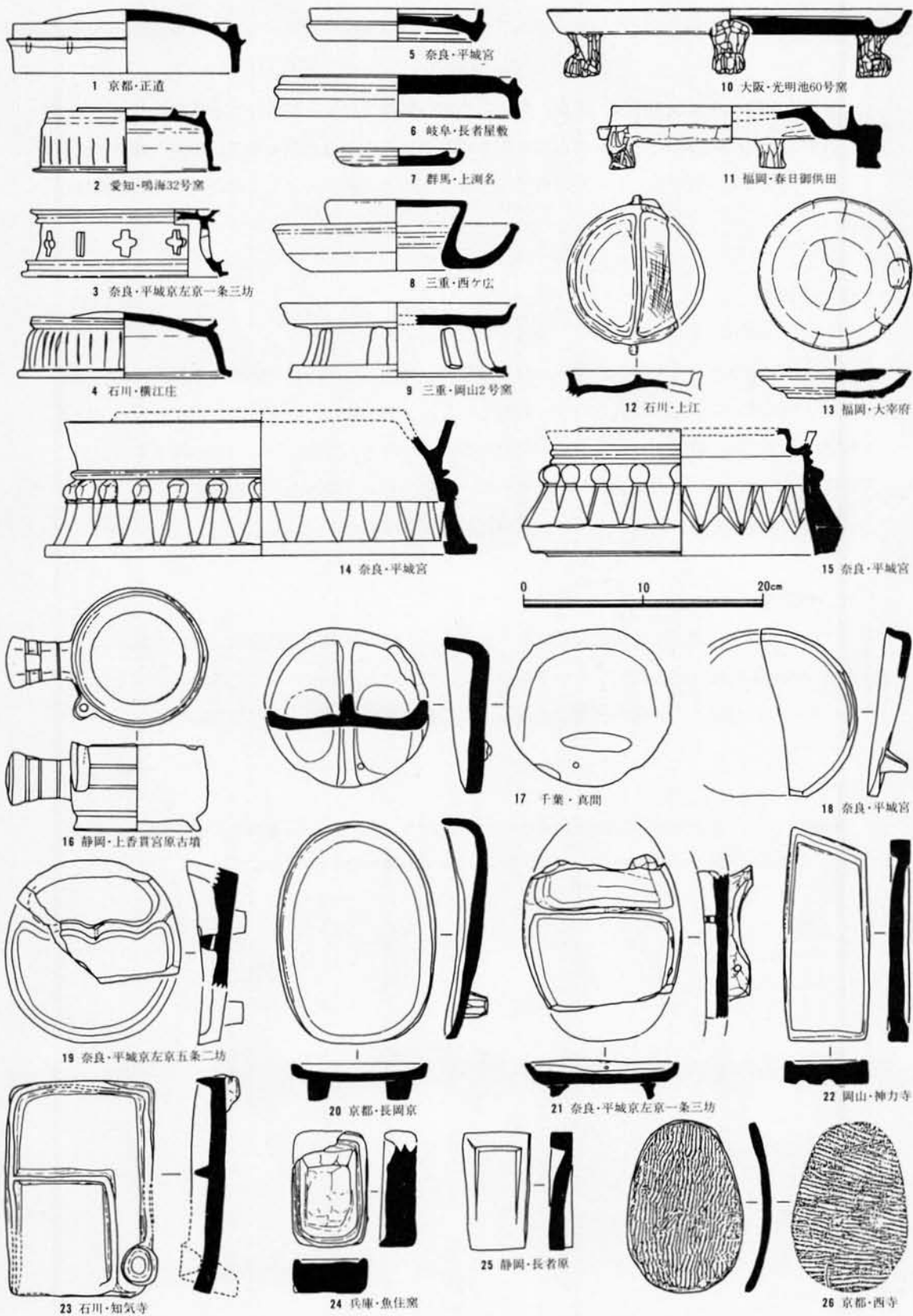
**猿面硯** (図26) さるつら 平面楕円形あるいは風字形で、須恵器の叩き目と同様に硯面に同心円叩き文、裏面に平行叩き目文を施すのが一般的である。木製の枠にこれをはめた例が知られている。本類が、須恵器の甕などの破片を転用したものと本来硯として作ったものとの両者を含むか、そのいずれかについては議論がわかれている。檜崎分類の「猿面硯」に相当する。

**兎図硯** 硯面を兎の体にみたてて、周縁に耳などを描いたもの。

## H. 転用硯

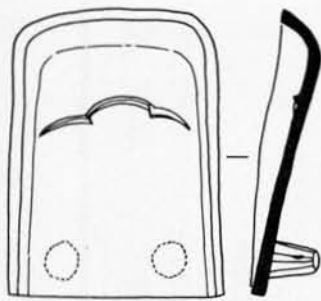
土器類(杯・杯蓋等)を硯として転用したもの。正倉院文書に「杯蓋硯」とみられるように、本来、硯として使用する目的をもって作られた可能性のあるものも含まれるが、遺物としての形状からは転用品との判別が困難であるので、これらをも転用硯とみなしておく。

陶硯分類図は、各遺跡の報告書等に掲載された実測図に基づき、それに一部加筆・修正を加えて作図したものである。各図の引用文献については、本目録の各遺跡欄を参照されたい。

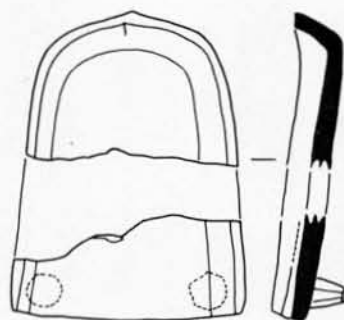


图足碗 (1~4) 二面图足碗 (12) 低圈足碗 (5·6) 无脚碗 (7·8) 踏脚碗 (14·15) 獸脚碗 (10·11)  
 杯皿形碗 (13) 提柄形碗 (16) 单脚凹形碗 (17) 双脚凹形碗 (18) 四脚凹形碗 (19) 圈足凹形碗 (12)  
 双脚凹形碗 (20) 四脚凹形碗 (21) 长方碗 (22·24·25) 四脚方形碗 (26) 猿面碗 (26)

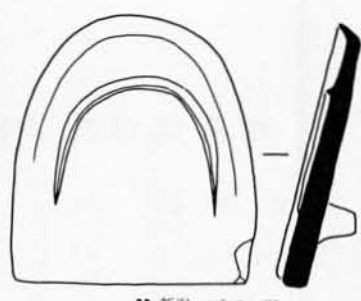




27 愛知・黒笹14号窯



28 愛知・折戸76号窯



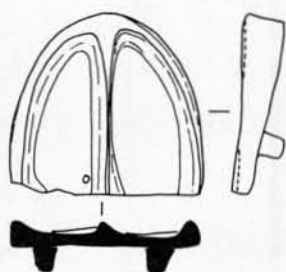
29 新潟・コウモン塚



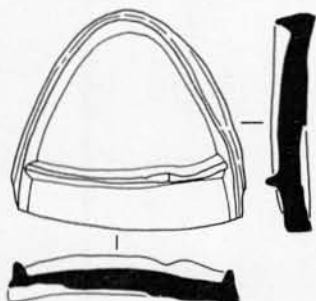
30 福島・恵日寺



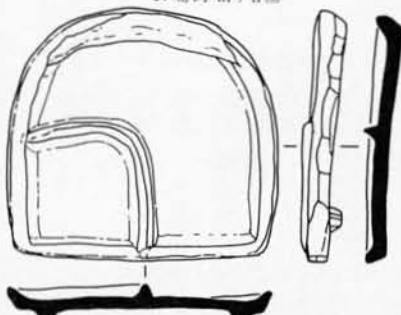
31 静岡・清ヶ谷窯



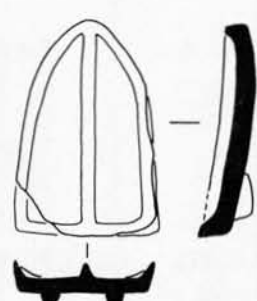
32 茨城・北酒出



33 群馬・下五反田1号窯



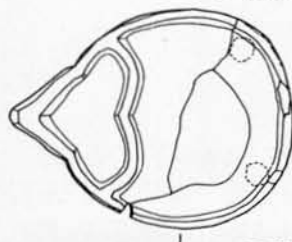
34 東京・武蔵国府



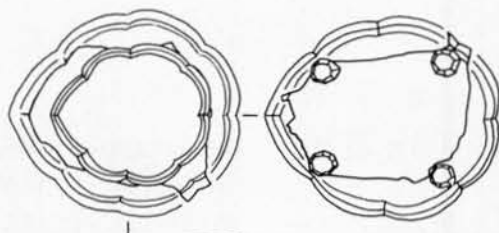
35 福島・金屋



36 和歌山・大日山1



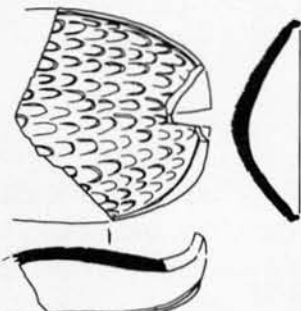
37 愛知・黒笹3号窯



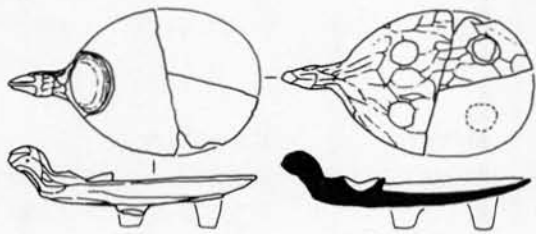
38 奈良・平城宮



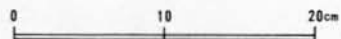
39 愛知・撞投窯



40 奈良・平城京左京八条三坊



41 奈良・平城宮



平頭風字硯 (27・30) 花頭風字硯 (28) 円頭風字硯 (29) 二面平頭風字硯 (31) 二面円頭風字硯 (32~34)  
二面舟形風字硯 (35) 鳥形硯 (39~41) 亀形硯 (36) 宝珠硯 (37) 八花硯 (38)

\* 都府県別文献目録

北海道

出土例なし

青森県

遺跡名	所在地	遺跡の種類	
<small>おとも</small> 小友遺跡	弘前市大字小友字宇田野 198 番地	集落	
硯の形態	編著者名	書名	発行年
転用硯	弘前市教委	『弘前市小友遺跡発掘調査報告書』	1981
<small>ちようかいざん</small> 鳥海山遺跡	南津軽郡平賀町大字沖館字比山館 62・113 番地	集落	
転用硯	県教委	『鳥海山遺跡発掘調査報告書 東北縦貫自動車道青森 県内埋蔵文化財発掘調査報告』Ⅲ『県埋文報』32	1977
転用硯	五島美術館	『日本の陶硯』	1978
<small>ふるだて</small> 古館遺跡	南津軽郡碓ヶ関村大字古懸字沢田館岸 46	集落	
転用硯	県教委	『碓ヶ関村古館遺跡発掘調査報告書』『県埋文報』54	1980

岩手県

<small>おおた ほうはつちよう</small> 太田方八丁遺跡	盛岡市中太田～下太田～上鹿妻～本宮	志波城	
圈足硯	盛岡市教委	『太田方八丁遺跡 昭和52年度発掘調査概報』	1978
円面硯	盛岡市教委	『太田方八丁遺跡 昭和54年度発掘調査概報』	1980
圈足硯	盛岡市教委	『志波城跡Ⅰ 太田方八丁遺跡範囲確認調査報告』	1981
圈足硯	県教委	『太田方八丁遺跡(志波城跡)東北縦貫自動車道関係 埋蔵文化財調査報告書』Ⅷ『県文報』68	1982
円面硯, 風字硯	盛岡市教委	『志波城跡 昭和56年度発掘調査概報』	1982
<small>いさわじよう</small> 胆沢城跡	水沢市佐倉河	胆沢城	
圈足硯	内藤政恒	『調度 硯』『新版考古学講座』7 有史文化 下	1970
風字硯	市史編纂委	『胆波城跡』『水沢市史』Ⅰ 原始～古代	1974
転用硯	水沢市教委	『第23次発掘調査』『第25次発掘調査』『胆沢城跡 昭和 51年度発掘調査概報』	1977
転用硯	水沢市教委	『第33次発掘調査』『胆沢城跡 昭和53年度発掘調査概 報』	1979

圈足硯, 風字硯, 転用硯 水沢市教委 『第35次発掘調査』『第36次発掘調査』『胆沢城跡 昭和54年度発掘調査概報』 昭和 1980

あいにさり  
相去遺跡群 北上市相去町字高前壇 集落 窯業関連?  
平頭風字硯 四 県・市教委 『相去遺跡 古代集落跡の発掘』現地説明会資料 1973  
脚  
平頭風字硯 四 北奥古代文化研究会 『北上市の原始・古代の遺跡』 1974  
脚  
平頭風字硯 四 五島美術館 『日本の陶硯』 1978  
脚

せやご  
瀬谷子遺跡群 江刺市稲瀬 窯  
つるはぎだい  
鶴羽衣台東2号窯  
風字硯 大川 清 『岩手県江刺市瀬谷子窯跡群第2次緊急調査概報』江刺市教委刊 1970

みずさきやま \* 水沢山1号窯 \* 別称 葛ノ木遺跡  
風字硯 瓦質 早稲田大学 『葛ノ木遺跡第2次調査略報』『早稲田大学考古学研究室略報』Ⅱ 1957  
風字硯 大川 清 『岩手県江刺郡瀬谷子窯業遺跡(第2次調査)』『日本考古学年報』9 昭和31年度 日考協刊 1961

おちあい  
落合Ⅱ遺跡 江刺市愛宕字落合 集落/公的機関(郡衙)  
転用硯 県 教委 『東北新幹線関係埋蔵文化財報告書』Ⅵ『県文報』50 1980

とくだんじょう  
徳丹城跡 紫波郡矢巾町大字西徳田 徳丹城  
風字硯 板橋 源 『徳丹城跡第14次緊急発掘調査略報』矢巾町教委刊 1972  
転用硯 矢巾町教委 『徳丹城跡第22次発掘調査現地説明会資料』 1982

## 宮 城 県

おだわら  
小田原窯跡群 窯  
あんようじ なかかてい  
安養寺中囲窯 仙台市原町小田原字安養寺中20番地  
双脚方形硯 瓦 東北学院大学東北文化研究所 『宮城県仙台市原町小田原字安養寺中囲瓦窯址群出土品目録』『東北学院大学東北文化研究所考古学研究資料目録』 3・4号窯 1968  
硯  
双脚方形硯 瓦 古窯跡研究会 『古窯跡の分布現状報告 10.安養寺中囲窯跡』『安養寺中囲瓦窯跡発掘調査報告抄』『陸奥国官窯跡群一台の原古窯跡群調査研究報告一』研究報告』2 3・4号窯 1973  
硯

圈足硯, 方形硯 瓦硯	古窯跡研究会	「仙台市台ノ原・小田原窯跡群の研究」『陸奥国官窯跡群』Ⅱ『研究報告』4	1976
方形硯	工藤雅樹	「東北地方の陶硯」『日本の陶硯』 五島美術館刊	1978
<b>かにさげひか 蟹沢中窯</b>			
圈足硯	仙台市蟹沢 古窯跡研究会	『蟹沢中瓦窯跡発掘調査報告書』『研究報告』1	1972
圈足硯	古窯跡研究会	「古窯跡の分布現状報告 8.蟹沢中窯跡」『蟹沢中瓦窯跡発掘調査報告抄』『陸奥国官窯跡群-台ノ原古窯跡群調査研究報告-』『研究報告』2	1973
圈足硯	古窯跡研究会	『陸奥国官窯跡群』Ⅱ『研究報告』4	1976
<b>よへいぬま 与兵衛沼窯</b>			
風字硯	仙台市蟹沢 内藤政恒	「仙台市台ノ原・小田原瓦窯址群と出土の古瓦(二)」『歴史考古』11 日本歴史考古学会刊	1964
風字硯	古窯跡研究会	「古窯跡の分布現状報告 6.与兵衛沼窯跡」『陸奥国官窯跡群-台ノ原古窯跡群調査研究報告』『研究報告』2	1973
風字硯	古窯跡研究会	「仙台市台ノ原・小田原窯跡群の研究」『陸奥国官窯跡群』Ⅱ『研究報告』4	1976
<b>ごほんまつ 五本松窯</b>			
円面硯, 風字硯	仙台市荒巻字五本松 古窯跡研究会	「古窯跡の分布現状報告 3.五本松窯跡」『台ノ原五本松窯跡』『陸奥国官窯跡群-台ノ原古窯跡群調査研究報告-』『研究報告』2	1973
圈足硯, 二面風字硯	仙台市教委	『五本松窯跡発掘調査報告書』『仙台市文報』6	1973
円面硯, 風字硯	古窯跡研究会	「仙台市台ノ原・小田原窯跡群の研究」『陸奥国官窯跡群』Ⅱ『研究報告』4	1976
<b>しんめいしや 神明社窯</b>			
円面硯	仙台市原町小田原 仙台市教委	『五本松窯跡発掘調査報告書』『仙台市文報』6	1973
円面硯	仙台市教委	「堤町窯跡B地点」『仙台平野の遺跡群Ⅰ-昭和56年度発掘調査報告書-』『仙台市文報』37	1982
<b>ますえ 栢江遺跡</b>			
圈足硯, 双脚楯 円硯, 風字硯, 双脚長方?硯	仙台市栢江105-1 ほか 仙台市教委	集落・工房 造瓦所の調査』『仙台市文報』18	1980
<b>おだわら 小田原窯</b>			
平頭風字硯	仙台市原町小田原 帝室博物館	『天平地宝』	1937

平頭風字硯	内藤政恒	『本邦古硯雑考』『考古学』10-6	東京考古学会刊	1939
平頭風字硯	内藤政恒	『本邦古硯考』	養徳社刊	1944
平頭風字硯	内藤政恒	『東北地方新発見の陶硯二面について』『考古学雑誌』38-5・6	日本考古学会刊	1952
平頭風字硯	奈良博	『天平の地宝』	朝日新聞社刊	1961
つづみまち				
堤町窯跡B地点	仙台市堤町		窯	
平頭風字硯	仙台市教委	『堤町窯跡B地点』『仙台平野の遺跡群Ⅰ』	昭和56年度発掘調査報告書『仙台市文報』37	1982
こおりやま				
郡山遺跡	仙台市郡山町三丁目		陸奥国名取郡衙／城柵	
圈足硯	早坂春一	『郡山遺跡』『第6回古代城柵官衙遺跡検討会資料』	古代城柵官衙遺跡検討会刊	1980
圈足硯	仙台市教委	『郡山遺跡発掘調査概報』『年報』1	昭和54年度『仙台市文報』23	1980
圈足硯	仙台市教委	『郡山遺跡Ⅱ』	昭和56年度発掘調査概報『仙台市文報』38	1982
圈足硯	仙台市教委	『郡山遺跡Ⅲ』	昭和57年度発掘調査概報『仙台市文報』46	1983
むつこくぶんじ				
陸奥国分寺	仙台市木ノ下		寺院	
風字硯	内藤政恒 <sup>ほか</sup>	『陸奥国分寺』『国分寺の研究』上	考古學研究会刊	1938
風字硯	内藤政恒	『本邦古硯雑考』『考古学』10-6	東京考古学会刊	1939
平頭風字硯	内藤政恒	『本邦古硯考』	養徳社刊	1944
みなみこいづみ				
南小泉遺跡	仙台市遠見塚～南小泉～古城		集落／官衙？	
転用硯	仙台市教委	『南小泉遺跡』『仙台市文報』35		1982
風字硯	仙台市教委	『南小泉遺跡－青葉学園建設工事に伴う発掘調査報告－』	『仙台市文報』55	1983
いわきりこうのす				
岩切鴻ノ巢遺跡	仙台市岩切字鴻巢		集落	
圈足硯	県教委	『岩切鴻ノ巢遺跡』『東北新幹線関係遺跡調査報告書』	『県文報』35	1974
きゅうだんし しほん がっこうら				
旧男子師範学校裏	仙台市梅田町		未詳	
風字硯	内藤政恒	『東北地方新発見の陶硯二面について』『考古学雑誌』38-5・6	日本考古学会刊	1952
風字硯	奈良博	『天平の地宝』	朝日新聞社刊	1961
しもうち				
下の内遺跡	仙台市富沢字下ノ内		集落	
圈足硯	仙台市教委	『仙台市高速鉄道関係遺跡調査概報』Ⅱ	『仙台市文報』56	1983

つばめさわ 燕沢遺跡	仙台市燕沢三丁目	官衙？	
風字硯	仙台市教委	「燕沢遺跡」『仙台市文報』61	1983
みょうだて 名生館遺跡	古川市大崎字城内～明生館ほか	陸奥国玉造郡衙／玉造柵	
風字硯，転用硯	多賀城研	『名生館遺跡Ⅰ－玉造柵跡推定地－』多賀城関連遺跡発掘調査報告書』6	1981
円面硯		『河北新報』11月28日記事 多賀城研1982年調査	1982
おほさき 大崎遺跡	古川市大崎字名生北館	城柵／官衙	
平頭風字硯	内藤政恒	「東北地方新発見の陶硯二面について」『考古学雑誌』38-5・6 日本考古学会刊	1952
陶硯	県教委	『宮城県遺跡地名表』『県文報』28	1973
平頭風字硯	五島美術館	『日本の陶硯』	1978
しみず 清水遺跡	名取市田高字清水	集落	
圈足硯，転用硯	県教委	「清水遺跡」『東北新幹線関係遺跡調査報告書』V『県文報』77	1981
たがじょう 多賀城跡	多賀城市市川～浮島	陸奥国府	
風字硯	内藤政恒	「本邦古硯雑考」『考古学』10-6 東京考古学会刊	1939
風字硯	内藤政恒	『本邦古硯考』 養徳社刊	1944
風字硯	伊藤信雄	「多賀城跡の発掘」『月刊文化財』39 第一法規出版刊	1966
円面硯	多賀城研	『多賀城跡 内城南門地区発掘調査概要』第5次調査	1969
圈足硯，圈足円形硯，平頭風字硯，土師質硯含む	多賀城研 <sup>は</sup> か	『多賀城跡－昭和44年度発掘調査概報－』多賀城研年報』1969 第5次，第6次，第7次発掘調査	1970
圈足硯	内藤政恒	「調度 硯」『新版考古学講座』7 有史文化 下	1970
圈足硯，平頭風字硯，転用硯	多賀城研	「第8次発掘調査」『第10次発掘調査』多賀城跡－昭和45年度発掘調査概報－』多賀城研年報』1970	1971
円面硯，平頭風字硯	多賀城研	「第12次発掘調査」『多賀城跡－昭和46年度発掘調査概報－』多賀城研年報』1971 県教委 <sup>は</sup> か刊	1972
圈足硯，転用硯	多賀城研	「第15次発掘調査」『第16次発掘調査』第18次発掘調査』多賀城跡－昭和47年度発掘調査概報－』多賀城研年報』1972 県教委 <sup>は</sup> か刊	1973
圈足硯，平頭風字硯，円頭風字硯，転用硯	多賀城研	「第19次発掘調査」『第20次発掘調査』第21次発掘調査』第22次発掘調査』多賀城跡－昭和48年度発掘調査概報－』多賀城研年報』1973 県教委 <sup>は</sup> か刊	1974
円面硯	多賀城研	「第23次発掘調査」『多賀城跡－昭和49年度発掘調査概報－』多賀城研年報』1974 県教委 <sup>は</sup> か刊	1975
円面硯，風字硯	多賀城研	『第28次発掘調査現地説明会資料 多賀城西南隅・五萬崎地区』	1976
圈足硯，風字硯，二面風字硯，転用硯	多賀城研	『多賀城跡－昭和57年度発掘調査概報－』多賀城研年報』1976 第28次発掘調査，第29次発掘調査	1977

圈足硯, 平頭風字硯, 二面風字硯, 土師質, 転用硯	多賀城研	「第30次発掘調査」 「第31次発掘調査」 『多賀城跡 - 昭和52年度発掘調査概報 - 』 『多賀城研年報』 1977 県教委 <sup>は</sup> 刊	1978
圈足硯, 平頭風字硯, 円頭風字硯	五島美術館	『日本の陶硯』	1978
圈足硯, 平頭風字硯, 転用硯	多賀城研	「第32次発掘調査」 「第33次発掘調査」 『多賀城跡 - 昭和53年度発掘調査概報 - 』 『多賀城研年報』 1978	1979
圈足硯	多賀城研	「第34次発掘調査」 『多賀城跡 - 昭和54年度発掘調査概報 - 』 『多賀城研年報』 1979 県教委 <sup>は</sup> 刊	1980
圈足硯, 風字硯, 二面風字硯	多賀城研	『多賀城跡政庁跡図録編』 1963~65・68~70・72・73 1~6 9・16・19次調査分 県教委 <sup>は</sup> 刊	1980
円面硯	多賀城研	『第36次発掘調査現地説明会資料 政庁東方作貴地区』	1980
圈足硯, 平頭風字硯, 風字硯, 猿面硯, 転用硯	多賀城研	「第36次発掘調査」 「第37次発掘調査」 『多賀城跡』 『多賀城研年報』 1980 県教委 <sup>は</sup> 刊	1981
円面硯, 風字硯	佐藤則之	「多賀城跡第39次発掘調査 作貴地区」 『第8回古代城柵官衙遺跡検討会』 古代城柵官衙遺跡検討会刊	1982
転用硯	榑崎彰一	「古代日本の陶硯 - とくに分類について - 』 『考古学論考 小林行雄博士古稀記念論文集』 平凡社刊	1982
たかじょう 多賀城廃寺 平頭風字硯	多賀城市高崎字上野~坂下 寺院 県 教 委	『多賀城跡調査報告 I 多賀城廃寺跡』 吉川弘文館刊	1970
いちのねぼし 市川橋遺跡 風字硯	多賀城市市川字伏石 多賀城関連施設 県 教 委	「市川橋・山王遺跡」 『宮城県文化財発掘調査略報 昭和53年度』 『県文報』 57	1979
圈足硯	市 教 委	「市川橋遺跡」 『高橋・市川橋遺跡調査報告書 - 昭和56年度発掘調査報告書 - 』	1982
ひかしやま 東山遺跡 転用硯	刈田郡蔵王町大字矢附字東山 集落 県 教 委	「東山遺跡」 『東北自動車道関係遺跡調査報告書』 V 『県文報』 81	1981
さんのう 山王遺跡 風字硯	宮城県松島町山王~南宮 集落 県 教 委	『宮城県遺跡地名表』 『県文報』 28	1973
はちまんざき 八幡崎 B 遺跡 圈足硯	宮城県利府町利府字八幡崎 集落 県 教 委	「八幡崎 B 遺跡」 『東北新幹線関係遺跡調査報告書』 II 『県文報』 62	1980
とりや 鳥屋窯跡	黒川郡大和町鶴巢鳥屋字天が沢 窯		

圈足硯	東北学院大学東北文化研究所	『宮城県黒川郡大和町烏屋古窯址出土品目録』『東北学院大学東北文化研究所考古学研究資料目録』2 1号窯	1968
圈足硯	大和町教委	『宮城県黒川郡大和町烏屋遺跡調査報告』『昭和42年度埋文報』	1972
円面硯	古窯跡研究会	『宮城県内に於ける窯跡の分布と問題点』『陸奥国官窯跡群』Ⅱ『研究報告』4	1976
<small>かめおか</small> 亀岡遺跡	黒川郡大衡村大衡字亀岡	官衙	
圈足硯, 転用硯	東北学院大学考古学研究所	『亀岡遺跡調査概要』『第4回古代城柵官衙遺跡検討会資料』『古代城柵官衙遺跡検討会刊』	1972
<small>おおいし</small> 大小寺古墳群	黒川郡大郷町鷲崎字原	古墳	
円面硯	県 教 委	『宮城県遺跡地名表』『県文報』28	1973
<small>じょう</small> 城生遺跡	加美郡中新田町城生	陸奥国加美郡衙 玉造柵 色麻柵	
圈足硯	町 教 委	『城生遺跡』『中新田町文報』2	1973
圈足硯	町 教 委	『城生遺跡(第三次)現地説明会資料』	1979
圈足硯	町 教 委	『城生柵跡の成果』『第6回古代城柵官衙遺跡検討会資料』『古代城柵官衙遺跡検討会刊』	1980
<small>ひ てま</small> 日の出山窯跡群	加美郡色麻町	窯	
圈足硯	工藤雅樹	『東北地方の陶硯』『日本の陶硯』C地点出土 五島美術館刊	1978
<small>いち せき</small> 一の関遺跡	加美郡色麻町一の関字曾根田	色麻柵	
圈足硯	内藤政恒	『調度 硯』『新版考古学講座』17 有史文化 下	1970
圈足硯	県 教 委	『一の関遺跡』『宮城県文化財発掘調査略報 昭和51年度分』『県文報』48	1977
円面硯	早坂春一	『一の関遺跡』『日本考古学年報』29 1976年版 日考協刊	1978
<small>かみしんてん</small> 上新田遺跡	加美郡色麻町四竈字塚谷～上新田	集落 須恵器製作集団と関連	
圈足硯?	県 教 委	『上新田遺跡』『長者原貝塚 上新田遺跡』『県文報』78	1981
<small>きたながね</small> 北長根窯跡	遠田郡涌谷町小里字長根南	窯	
陶硯	古窯跡研究会	『宮城県内に於ける窯跡の分布と問題点』『陸奥国官窯跡群』Ⅱ『研究報告』4	1976
圈足硯	五島美術館	『日本の陶硯』	1978



伊治城跡 圈足硯?	栗原郡築館町字城生野唐崎～大堀	伊治城	
円頭風字硯	多賀城研	『伊治城跡Ⅱ 昭和53年度発掘調査報告』多賀城関連遺跡発掘調査報告書』4	1979
円面硯	多賀城研	『伊治城跡Ⅲ 昭和54年度発掘調査報告』多賀城関連遺跡発掘調査報告書』5	1980
	多賀城研	『伊治城跡』第6回古代城柵官衙遺跡検討会資料』古代城柵官衙遺跡検討会刊	1980

観音沢遺跡 圈足硯	栗原郡高清水町字観音	集落	
	県教委	『観音沢遺跡』東北新幹線関係遺跡調査報告書』Ⅳ『県文報』72	1980

## 秋田県

秋田城跡 二面風字硯	秋田市寺内	秋田城／出羽国府／秋田郡衙	
二面円頭風字硯 堤脚	内藤政恒	『本邦古硯雑考』考古学』10-6 東京考古学会刊	1939
陶硯	内藤政恒	『本邦古硯考』養徳社刊	1944
無脚硯, 転用硯	斎藤 忠	『秋田県秋田市秋田城跡(第1次調査)』日本考古学年報』12 昭和34年度	1964
転用硯	内藤政恒	『須恵器利用の硯について』考古学雑誌』50-1	1964
圈足硯, 風字硯, 転用硯	秋田市教委	『第10次発掘調査』秋田城跡 昭和48年度秋田城跡発掘調査概報』	1974
圈足硯, 風字硯, 転用硯	秋田市教委	『第13次発掘調査』第14次発掘調査』秋田城跡 昭和49年度秋田城跡発掘調査概報』	1975
転用硯	秋田市教委	『第16次発掘調査』第17次発掘調査』秋田城跡 昭和50年度秋田城跡発掘調査概報』	1976
圈足硯, 転用硯	秋田市教委	『第19次発掘調査』秋田城跡 昭和51年度秋田城跡発掘調査概報』	1977
圈足硯, 風字硯, その他 二面硯	秋田市教委	『第21次発掘調査』第23次発掘調査』秋田城跡 昭和52年度秋田城跡発掘調査概報』	1978
転用硯	五島美術館	『日本の陶硯』	1978
転用硯	秋田市教委	『第24次発掘調査』秋田城跡 昭和53年度秋田城跡発掘調査概報』	1979
転用硯	秋田市教委	『第28次発掘調査』秋田城跡 昭和55年度秋田城跡発掘調査概報』	1981
転用硯	秋田市教委	『第33次発掘調査』秋田城跡 昭和56年度秋田城跡発掘調査概報』	1982

下夕野遺跡 風字硯	秋田市川尻字下夕野	集落	
	市教委 <sup>はか</sup>	『秋田市下夕野遺跡』	1979

後城遺跡 転用硯	秋田市寺内字後城	集落	
	市教委 <sup>はか</sup>	『後城遺跡発掘調査報告書』	1981

かみしんじょう 上新城遺跡	秋田市上新城	窯	
圈足硯, 低圈足 円形硯	五島美術館 『日本の陶硯』		1978
うたない 歌内遺跡	鹿角市八幡平字歌内48番地ほか	集落	
転用硯	県埋文センター 『歌内遺跡』『東北縦貫自動車道発掘調査報告書』Ⅱ ター 『県文報』88 県教委刊		1982
ちうし 乳牛遺跡	鹿角市花論字下夕乳牛	集落	
転用硯	未報告		
いしきき 石崎遺跡	南秋田郡五城目町石崎	出羽国秋田郡衙?	
二面風字硯	町教委 <sup>ほか</sup> 『秋田県五城目町石崎遺跡発掘調査第1-3回合報』		1975
ひらさわ 平沢遺跡	河辺郡雄和町平沢字袖又	集落	
二面平頭風字硯	内藤政恒 『調度 硯』『新版考古学講座』7 有史文化 下 雄山閣刊		1970
ほったのさく 払田柵跡	仙北郡仙北町払田~千畑村本堂城回	雄勝城/出羽国府/山本郡衙	
転用硯	県教委 「第7次発掘調査」『払田柵跡調査事務所年報1975 払 田柵跡昭和50年度発掘調査概要』『県文報』40	払	1976
転用硯	県教委 「第10次発掘調査」『払田柵跡調査事務所年報1976 払 田柵跡第9・10次発掘調査概要』『県文報』44	払	1977
円頭風字硯, 二 面風字硯, 転用 硯	県教委 「第12次発掘調査」『払田柵跡調査事務所年報1977 払 田柵跡第11・12次発掘調査概要』『県文報』48	払	1978
平頭風字硯, 二 面風字硯	県教委 「第12次補足調査」『第13次発掘調査』『払田柵跡調査事 務所年報1978 払田柵跡第12次補足・第13次~22次 発掘調査概要』『県文報』65		1979
転用硯	県教委 「第28次発掘調査」『払田柵跡調査事務所年報1979 払 田柵跡第23~30次発掘調査概要』『県文報』75	払	1980
風字硯, 二面風 字硯, 転用硯	県教委 「第35次発掘調査」『払田柵跡調査事務所年報1980 払 田柵跡第31~37次発掘調査概要』『県文報』87	払	1981
風字硯, その他?	県教委 「第47次発掘調査」『払田柵跡調査事務所年報1982 払 田柵跡第46~52次発掘調査概要』『県文報』114	払	1983
たけはら 竹原遺跡	平鹿郡平鹿町上吉田間内字竹原	窯	
円面硯	未報告 県教委教示		

## 山形県

さきはら 笹原遺跡 圈足硯、無脚硯	米沢市中田町字笹原 まんぎり会	舟着き場／官衙周辺集落 『笹原』『米沢市埋文報』7	1981
あらかわ 荒沢1号窯跡 円面硯	鶴岡市大字大荒	窯 坂詰秀一 「陶硯を出土する古窯跡の性格」『古代文化』12-2 古代学協会刊 『歴史考古学研究』1 ニュー・サイ エンス社刊 1960年に収録	1964
いづみや 町 泉谷地古窯跡 二面円頭風字硯	酒田市大字生石字笹山	窯 阿部正己 『城輪の出羽柵址及国分寺調査-附大山柵址・平形国 分寺址・井口及木楯国府跡-』『郷土研究叢書』2 県郷土研究室刊	1932
風字硯、二面円 頭風字硯	内藤政恒	『本邦古硯雑考』『考古学』10-6 東京考古学会刊	1939
風字硯、二面円 頭風字硯	内藤政恒	『本邦古硯考』 養徳社刊	1944
二面円頭風字硯	伊藤 忍	『山形県内出土の陶硯』『庄内考古学』11 庄内考古学 研究会刊	1972
かんざわま 願瀬山古窯跡 風字硯 堤状脚	酒田市大字生石字願瀬山	窯 伊藤 忍 「山形県内出土の陶硯」『庄内考古学』11 庄内考古学 研究会刊	1972
あいののさく 城輪柵遺跡 二面風字硯	酒田市大字城論～刈穂～大豊田	出羽国府 阿部正己 『城輪の出羽柵址及国分寺調査-附大山柵址・平形国 分寺址・井口及木楯国府跡-』『郷土研究叢書』2 県郷土研究室刊	1932
二面風字硯	内藤政恒	『本邦古硯雑考』『考古学』10-6 東京考古学会刊	1939
二面風字硯	内藤政恒	『本邦古硯考』 養徳社刊	1944
風字硯 周堤なし	市教委 <sup>は</sup> か	『城輪柵跡第3次発掘調査概要』	1972
風字硯 双脚・ 堤状脚、二面風 字硯	伊藤 忍	『山形県内出土の陶硯』『庄内考古学』11 庄内考古学 研究会刊	1972
平頭？風字硯	市教委 <sup>は</sup> か	『城輪柵跡第9次発掘調査現地説明会資料』	1973
風字硯	酒田市教委	『史跡城輪柵跡昭和51年度発掘調査概要（第16次）』	1977
風字硯、二面？ 風字硯、転用硯	酒田市教委	『史跡城輪柵跡昭和52年度発掘調査概要（第17次）』	1978
円頭風字硯／二 面円頭風字硯	酒田市教委	『史跡城輪柵跡昭和54年度発掘調査略報』	1980
平頭？風字硯、 転用硯	酒田市教委	『史跡城輪柵跡昭和55年度発掘調査略報』	1981
二面円頭風字硯	酒田市教委	『史跡城輪柵跡昭和57年度発掘調査概要（2）』	1983

きただ 北田遺跡	酒田市大字関字北田	集落	
転用硯	県 教 委 『北田遺跡』『県埋文報』48		1981
風字硯	県 教 委 『北田遺跡第2次発掘調査報告書』『県埋文報』53		1982
せき 関B遺跡	酒田市大字関字北田～金笠	集落	
転用硯	県 教 委 『関B遺跡』『県埋文報』47		1981
さかいこうや 境興野遺跡	酒田市大字境興野字家の東	集落	
転用硯	県 教 委 『境興野遺跡』『県埋文報』46		1981
かみのた 上ノ田遺跡	酒田市大字境興野字上ノ田	官衙？	
転用硯	県 教 委 『農林・土木事業関係遺跡発掘調査報告書』『県埋文報』52		1982
ひらのやま 平野山窯址	寒河江市大字米沢	窯	
風字硯	内藤政恒 『本邦古硯考』 養徳社刊		1944
風字硯	柏原亮吉 『平野山古窯跡群－山形県における古代窯業遺跡の研究－』 寒河江市教委刊		1970
風字硯	伊藤 忍 『山形県内出土の陶硯』『庄内考古学』11 庄内考古学研究会刊		1972
やしちやま 弥七山窯跡	東田川郡立川町大字狩川弥七山	窯	
平頭風字硯	伊藤 忍 『山形県内出土の陶硯』『庄内考古学』11 庄内考古学研究会刊		1972
はちもり 八森遺跡	飽海郡八幡町市条字八森	出羽国府／飽海郡衙	
転用硯	佐藤禎宏 『八森遺跡 第1次・第2次発掘調査報告』『庄内考古学』15 庄内考古学研究会刊		1978
転用硯	佐藤禎宏 『八森遺跡 第1次・第2次発掘調査報告』八幡町教委刊		1978
硯	佐藤禎宏 『八森B遺跡』『日本考古学年報』30 1977年度版		1979
どう まえ 堂の前遺跡	飽海郡八幡町法蓮寺字堂の前	官衙	
二面風字硯	県 教 委 『八幡町堂の前遺跡 第8次調査説明資料』		1979
どうでん 道伝遺跡	東置賜郡川西町大字下小松字道伝前	置賜郡衙？	
二面円頭風字硯	川西町教委 『道伝遺跡 第3次重要遺跡確認調査概報』『川西町埋文報』5		1983

## 福 島 県

みやざわ

### 宮沢瓦窯

窯	福島市岡島字笹の森		
圈足硯	福 島 県	『福島県史 6 資料編 1 考古資料』	1964
圈足硯	文化財調査 委員会議	『腰浜廃寺』 福島市教委刊	1965
圈足硯	福 島 県	『福島県史 1 通史編 1 原始・古代・中世』	1969
圈足硯	市史編纂委	『福島市史 6 原始・古代・中世資料 資料編 1』	1969
圈足硯	内藤政恒	「福島県の陶硯とその文化」『日本考古学・古代史論集』 吉川弘文館刊	1974

### 高畑窯跡群\*

窯	福島市小倉寺字高畑	窯	*別称 小倉寺窯跡
圈足硯	福島市教委	「福島市小倉寺高畑遺跡発掘調査報告書」『福島市の文 化財』『福島市文報』 7	1969
圈足硯	佐藤堅治郎	「国郡の設置」『福島市史 1 原始・古代・中世 通史 編 1』	1970
圈足硯	小野 忍	「山形県における須恵器生産の開始」『山形考古』 2 - 2 山形考古学会刊	1978
圈足硯	工藤雅樹	「東北地方の陶硯」『日本の陶硯』 五島美術館刊	1978

にしはら

### 西原廃寺跡

寺院	福島市飯坂町湯野字西原	寺院	
圈足？硯	大竹憲治	「福島県内の陶硯出土一覧」『唐神遺跡調査報告』『鹿島 町文報』 4	1980

こしはま

### 腰浜廃寺

寺院	福島市腰浜町	寺院	
圈足硯	福 島 県	『福島県史 6 資料編 1 考古資料』	1964
圈足硯	内藤政恒	「福島県の陶硯とその文化」『日本考古学・古代史論集』 吉川弘文館刊	1974

しみずたい

### 清水台遺跡

陸奥国安積郡衙	郡山市清水台	陸奥国安積郡衙	
圈足硯	大竹憲治	「福島県内の陶硯出土一覧」『唐神遺跡調査報告』『鹿島 町文報』 4	1980

ひがしまるやま

### 東丸山遺跡

村落	郡山市安積町成田字丸山	村落	
圈足硯	大竹憲治	「福島県内の陶硯出土一覧」『唐神遺跡調査報告』『鹿島 町文報』 4	1980

はりう

### 針生遺跡 A

村落	郡山市大槻町字針生八壇	村落	
圈足硯	福 島 県	『福島県史 6 資料編 1 考古資料』	1964
圈足硯	福 島 県	『福島県史 1 通史編 1 原始・古代・中世』	1969
圈足硯	内藤政恒	「福島県の陶硯とその文化」『日本考古学・古代史論集』 吉川弘文館刊	1974

なかやらい 中柵遺跡	郡山市大槻町中柵	集落／官衙付随施設／安積軍団	
圈足硯	梅宮 茂 <sup>はか</sup>	「中柵遺跡」『東北縦貫自動車道埋蔵文化財調査概報』 2 『県文報』 31	1971
圈足硯	県 教 委	「中柵遺跡」『東北縦貫自動車道埋蔵文化財調査報告』 『県文報』 47	1980
たいぜんじ 大善寺地区遺跡	郡山市田村町大善寺～山中～小川	集落	
圈足硯	郡山市教委	「大善寺地区」『郡山東部Ⅱ』『大善寺地区遺跡・大善寺古墳群 山中日照田造跡 上野遺跡』	1982
ななついか 七ツ池遺跡	郡山市七ツ池町	豪族の邸宅？／墳墓？	
圈足硯	内藤政恒	「福島縣郡山市出土の圓面硯とその遺跡の性格について」『史迹と美術』 24-6 史迹美術同友会刊	1954
圈足硯	県教委 <sup>はか</sup>	「郡山市麓山窯跡調査報告」『県文報』 8	1960
圈足硯	福 島 県	『福島県史 6 資料編 1 考古資料』	1964
圈足硯	福 島 県	『福島県史 1 通史編 1 原始・古代・中世』	1969
圈足硯	内藤政恒	「福島県の陶硯とその文化」『日本考古学・古代史論集』 吉川弘文館刊	1974
圈足硯	五島美術館	『日本の陶硯』	1978
とくさだ 徳定遺跡	郡山市田村町徳定字内段～大柳御代田未松～御熊野	集落	
円面硯，風字硯	文化庁記念 物課	「昭和48年度埋蔵文化財認定報告一覽」	1974
圈足硯	県 教 委	「徳定遺跡」『東北新幹線関係遺跡発掘調査略報』 I 『県文報』 46	1974
円面硯	県 教 委	「徳定B遺跡」『東北新幹線関係遺跡発掘調査略報』 III 『県文報』 53 土師質の硯を含む	1976
圈足硯	県 教 委	『東北新幹線関係遺跡発掘調査報告Ⅲ（徳定遺跡）』 『県文報』 92	1981
かなやま 金山窯址	いわき市東田町金子平	窯	
圈足硯	鈴木光四郎	「神山遺跡と土師器」『いわき市報』 いわき市刊	1950
圈足硯	いわき市史 編纂委	「第1編考古資料 金山窯址群」『いわき市史 8 原始古代 中世資料』	1976
圈足硯	五島美術館	『日本の陶硯』	1978
圈足硯	鹿島町教委	『唐神遺跡調査報告』『鹿島町文報』 4	1980
いたみや 板宮遺跡	いわき市内郷綴町板宮	集落	
圈足硯	菊池康雄	「内郷市板宮遺跡発見の円面硯と他二・三の遺跡について」『福島県内郷市金坂遺跡調査報告』『内郷市文報』 2 内郷市教委刊	1965
圈足硯	内藤政恒	「福島県の陶硯とその文化」『日本考古学・古代史論集』 吉川弘文館刊	1974

圈足硯	五島美術館 『日本の陶硯』	1978
<sup>せき もり</sup> 関の森遺跡	白河市大字旗宿字関ノ森	白河関
圈足硯	福島県 『福島県史6 資料編1 考古資料』	1964
圈足硯	梅宮 茂 『「白河関跡」関の森遺跡について』『古代文化』16-4 (98号) 古代学協会刊	1966
圈足硯	内藤政恒 「福島県の陶硯とその文化」『日本考古学・古代史論集』吉川弘文館刊	1974
<sup>いずみ</sup> 泉麿寺跡	原町市泉字宮前	寺院
圈足硯	内藤政恒 「関東・東北に於ける圓面硯」『史迹と美術』23-8 (236号) 史迹美術同友会刊	1953
圈足硯	福島県 『福島県史6 資料編1 考古資料』	1964
圈足硯	内藤政恒 「福島県の陶硯とその文化」『日本考古学・古代史論集』吉川弘文館刊	1974
圈足硯	五島美術館 『日本の陶硯』	1978
<sup>へいざんじ</sup> 米山寺跡	須賀川市西川字坂ノ上	寺院
圈足硯	市教委 『米山寺跡 史跡岩代米山寺経塚群発掘調査報告書』	1982
<sup>くろきだ</sup> 黒木田遺跡	相馬市中野字明神前 211	陸奥国宇多郡衙
圈足硯	相馬市教委 『黒木田遺跡』	1977
<sup>こおりやまだい</sup> 郡山台遺跡	二本松市郡山台～長者宮	陸奥国安達郡衙
圈足硯	市教委 『郡山台VI』『二本松市文報』8	1982
円面硯	『福島民報』1982年11月17日夕刊	1982
<sup>やのと</sup> 矢ノ戸遺跡	二本松市安達ヶ原7丁目	集落
圈足硯	県教委 「矢ノ戸遺跡」『東北新幹線関係遺跡発掘調査略報』IV 『県文報』58	1977
圈足硯	県教委 「矢ノ戸遺跡」『東北新幹線関係遺跡発掘調査報告』IV 『県文報』99	1981
<sup>おおきと</sup> 大木戸窯跡	伊達郡国見町大字大木戸	窯
圈足硯	工藤雅樹 「大木戸窯跡」『日本考古学年報』24 1971年版	1973
<sup>ごたく</sup> 御宅遺跡	岩瀬郡長沼町大字小中字御宅	集落
転用硯	長沼町教委 『御宅遺跡調査報告書』	1972

転用硯	大竹憲治	「福島県内の陶硯出土一覧」『唐神遺跡調査報告』『鹿島町文報』4	1980	
こくぞう 国造遺跡	岩瀬郡天栄村桑田4番地	村落		
転用硯	国造遺跡発掘調査団	『国造』	1978	
え けち じ 恵日寺	耶麻郡磐梯町大字磐梯字八幡～明神田	寺院		
平頭風字硯	福島県	『福島県史6 資料編1 考古資料』	1964	
平頭風字硯	内藤政恒	「福島県の陶硯とその文化」『日本考古学・古代史論集』吉川弘文館刊	1974	
平頭風字硯 図30	工藤雅樹	「東北地方の陶硯」『日本の陶硯』 五島美術館刊	1978	
かな や *	金屋遺跡	河沼郡河東町大字郡山字金屋	未詳	* 別称 郡山遺跡
二面舟形風字硯 図35	河東町教委	「金屋遺跡」『明石塚館跡区遺跡発掘調査報告』	福島県河沼郡河東村郡山地	1977
二面舟形風字硯	五島美術館	『日本の陶硯』		
みなみはら 南原遺跡	河沼郡河東町大字熊野堂字南原	村落? 竪穴住居跡出土		
圈足硯	河東町教委	「南原遺跡」福島県河沼郡河東町熊野堂地区遺跡発掘調査報告』	1978	
圈足硯	河東町教委	「南原遺跡」福島県河沼郡河東町熊野堂地区遺跡発掘調査報告』	1979	
き へい や し 佐平林遺跡	西白河郡東村大字上野出島字佐平林	村落		
圈足硯	五島美術館	『日本の陶硯』	1978	
圈足硯, 宝珠? 硯, 転用硯	県 教 委	「佐平林遺跡Ⅵ区」『母畑地区遺跡発掘調査報告』Ⅲ『県文報』74	1979	
転用硯	県 教 委	「佐平林遺跡Ⅷ区」『母畑地区遺跡発掘調査報告』Ⅴ『県文報』85	1980	
や じ ま え 谷地前C遺跡	西白河郡東村大字上野出島字谷地前	村落		
圈足硯?	県 教 委	「谷地前C遺跡」『国営総合農地開発事業母畑地区遺跡発掘調査報告』Ⅴ『県文報』85	1980	
せきわく 関和久遺跡	西白河郡泉崎村関和久字中宿	陸奥国白河郡衙		
圈足硯	県 教 委	「関和久遺跡Ⅱ」史跡指定調査概報『県文報』44	1974	
転用硯	県 教 委	「関和久遺跡Ⅲ」史跡指定調査概報『県文報』49	1975	
圈足硯	県 教 委	「関和久遺跡Ⅳ」史跡指定調査概報『県文報』54	1976	



圈足硯	県教委	『関和久遺跡V 史跡指定調査概報』『県文報』57	1977
圈足硯	五島美術館	『日本の陶硯』	1978
圈足硯、転用硯	県教委	『関和久遺跡VII 史跡指定調査概報』『県文報』71	1979
圈足硯、転用硯	県教委	『関和久遺跡VIII 史跡指定調査概報』『県文報』79	1980
圈足硯	県教委	『関和久遺跡IX 史跡指定調査概報』『県文報』91	1981

あかさから 赤坂裏遺跡	西白河郡大信村大字中新城字赤坂裏35	集落 竪穴住居跡	
圈足硯	文化庁記念 物課	『昭和48年度埋蔵文化財認定報告一覧』	1974
圈足硯	県教委	「赤坂裏遺跡』『東北新幹線関係遺跡発掘調査略報』I	1974

おぼたひ 小浜代遺跡	双葉郡富岡町大字小浜字小浜代22番地	陸奥国標葉郡衙／檜葉郡衙	
転用硯	富岡町教委	『福岡県双葉郡小浜代遺跡第3次発掘調査概報』	1972
転用硯	五島美術館	『日本の陶硯』	1978

こおりやまごぼん 郡山五番遺跡	双葉郡双葉町大字郡山字五番	陸奥国標葉郡衙	
圈足硯	渡辺一雄	「郡山五番遺跡の調査 海道五郡の官衙遺跡」『第5回古代城柵官衙遺跡検討会資料』同検討会刊	1979
円面硯	渡辺一雄	「郡山五番遺跡I」『日本考古学年報』30	1977年度版 1979
圈足硯	大竹憲治	「福島県内の陶硯出土一覧」『唐神遺跡調査報告』『鹿島町文報』4	1980

からかみ 唐神遺跡	相馬郡鹿島町	製鉄関係	
平頭風字硯	鹿島町教委	『唐神遺跡調査報告』『鹿島町文報』4 F地点	1980

県内諸遺跡	大竹憲治	「再び福島県内の古代陶硯を論ず」『平地学同好会会報』特別号	1979
	大竹憲治	「福島県内の陶硯出土一覧」『唐神遺跡調査報告』『鹿島町文報』4	1980

## 茨城県

あばつけ 木葉下窯跡	水戸市木葉下町上の町沢2951-1ほか	窯	
圈足硯	県教育財団	『木葉下遺跡』	1982
円面硯	加藤雅美 <sup>ほか</sup>	「木葉下遺跡」『第5回茨城県考古学研究会要旨』県考古学研究会刊	1982
円面硯	県教育財団 本部調査課	「考古ニュース 窯跡から須恵器・瓦、多数出土」『考古学ジャーナル』203 ニュー・サイエンス社刊	1982

たいせたり 台渡廃寺跡 圈足硯	水戸市渡里町字台 高井梯三郎	寺院 『常陸台渡廃寺跡 下総結城八幡窯跡』 県教委刊	1964
ほりにしはら 堀西原遺跡 圈足硯, 転用硯	水戸市堀町 茨城大学考古学研究会	遺物散布地 『茨城大学周辺遺跡分布調査報告書Ⅱ 那珂川流域における遺跡分布(土師器・須恵器・瓦編)』茨城大学考古学研究会報告』2	1976
おおつかあらじ 大塚新地遺跡 低圈足硯	水戸市大塚町字高根 532 番地 県教育財団	集落 『常陸自動車道関係埋蔵文化財発掘調査報告書』Ⅲ 『県教育財団文化財調査報告』Ⅺ	1981
かくらい 加倉井遺跡 圈足硯	水戸市加倉井町 未報告	集落 県教委教示	
からすやま 烏山遺跡 円面硯, 転用硯 転用硯	土浦市大字烏山字北年～宮のすず 国士館大考古学研究室 五島美術館	集落 『烏山遺跡発掘調査中間略報告』 『日本の陶硯』	1972 1978
かこ 鹿の子C遺跡 硯 圈足硯 墨壺付, 転用硯 圈足硯, 転用硯	石岡市鹿の子1丁目 県教育財団 県教育財団 佐藤正好	常陸国衛工房/軍団 『鹿の子C遺跡現地説明会資料』 『鹿の子C遺跡』 『常陸国鹿の子C遺跡発掘調査』『日本歴史』405 吉川弘文館刊	1981 1981 1982
ひたちこくぶんじ 常陸国分寺跡 圈足硯 圈足硯	石岡市国分町 内藤政恒 石岡市教委	寺院 住居跡出土 『関東・東北に於ける圓面硯』『史迹と美術』23-8 (236号) 史迹美術同致会刊 『常陸国分寺書院新築予定地発掘調査報告』	1953 1978
なだい 中台遺跡 圈足硯	東茨城郡内原町中台 未報告	集落 県教委教示	
うえのほら 上野原瓦窯跡 圈足硯	西茨城郡岩瀬町大字上野原北新田字上野原 岩瀬町教委	窯 『新治廃寺跡付上野原瓦窯跡確認調査報告』	1975

ほりうち 堀ノ内1号窯跡	西茨城郡岩瀬町大泉大字堀ノ内	窯	
圈足硯	藤田 清 <sup>はか</sup>	「常陸堀ノ内古窯趾群調査概報Ⅰ 花見堂窯址」『甲陽史学』4 甲陽史学会刊	1958
円面硯	高井梯三郎	「堀ノ内古窯址群」『日本考古学年報』9 昭和31年度	1961
圈足硯	奈良 博	『天平の地宝』朝日新聞社刊	1961
圈足硯	内藤政恒	「調度 硯」『新版考古学講座』7 有史文化 下	1970

にしでら 西寺遺跡	西茨城郡岩間町	寺院？	
圈足硯	五島美術館	『日本の陶硯』	1978

かのむかひ 神野向遺跡	鹿島郡鹿島町宮中字神野向	常陸国鹿島郡衙	
圈足硯	鹿島町教委	「神野向遺跡（郡衙推定遺跡）現地説明会資料」	1981
圈足硯	鹿島町教委	「神野向遺跡Ⅱ——昭和56年度発掘調査概報——」『鹿島町の文化財』24	1982

とよおか 豊岡遺跡	那珂郡東海村大字豊岡	集落？	
圈足硯		未報告 県教委教示	

きたさかいで 北酒出遺跡	那珂郡那珂町大字北酒出	集落	
二面円頭風字硯	五島美術館	『日本の陶硯』	1978
二面円頭風字硯 図32	檜崎彰一	「日本古代の陶硯—とくに分類について—」『考古学論考 小林行雄博士古稀記念論文集』 平凡社刊	1982

## 栃 木 県

ざるやま 猿山遺跡	宇都宮市ざるやま町	集落	
転用硯	県 教 委	『猿山遺跡』『県埋文報』38	1981

しもつけとくふ 下野国府跡	栃木市惣社町～田村町	下野国府	
硯	県 教 委	「昭和52年度の重要な発掘成果2 下野国府跡」『栃木県埋蔵文化財保護行政年報』『県埋文報』21	1978
圈足硯、風字硯、 転用硯/圈足円形硯	県 教 委	『下野国府跡Ⅰ 昭和51～53年度発掘調査概報』『県埋文報』30	1979
円面硯	大金宣亮 <sup>はか</sup>	「下野国府跡昭和54年度（第6～8次）調査」『栃木県埋蔵文化財保護行政年報』『県埋文報』33 県教委刊	1980
圈足硯	県 教 委	『下野国府跡Ⅱ 昭和54年度発掘調査概報』『県埋文報』35	1980
圈足硯	県文化振興 事業団	「下野国府跡Ⅳ 昭和56年度発掘調査概報」『県埋文報』50 県教委刊	1982

つるまい 鶴舞窯跡	佐野市関川町	窯	
風字硯	大川 清	『下野の古代窯業遺跡上』『日本窯業史研究所報告』1 飛鳥書房刊	1975
風字硯	大川 清	『下野の古代窯業遺跡 本文編』I『県埋文報』18 県教委刊	1976
なかむら 中村遺跡	真岡市中字間木堀	官衙	
転用硯 灰釉	国士館大考 古学研究室	『栃木県真岡市中村遺跡発掘調査略報告』	1973
転用硯	県 教 委	『中村遺跡発掘調査概報』	1975
転用硯	五島美術館	『日本の陶硯』	1978
圈足硯, 転用硯	大川 清 <sup>は</sup> <sub>か</sub>	『栃木県真岡市中村遺跡調査報告書』『県埋文報』28 県教委刊	1979
いがしら 井頭遺跡	真岡市下籠谷十四石～井頭	集落	
転用硯	県 教 委	『井頭遺跡』『県埋文報』14	1974
やくし じみなみ 薬師寺南遺跡	河内郡河内町	集落	
圈足硯	県 教 委	『薬師寺南遺跡』『県埋文報』23	1979
おつくしやま 打越山	芳賀郡二宮町	集落	
圈足硯	芝崎 孝	『栃木県芳賀郡二宮町打越山採集の硯』『下総考古学』 3 下総考古学会刊	1968
たきのいり 滝ノ入窯址	芳賀郡益子町大字上大羽字滝ノ入	窯	
圈足硯	大川 清 滝口 宏	『栃木県益子町栗生瀧ノ入窯址調査概報』『古代』19・20 合併号 早大考古学会刊	1956
円面硯	大川 清	『栃木県益子町滝ノ入窯址』『日本考古学年報』7 昭和29年度 日考協刊	1957
圈足硯	大川 清	『下野の古代窯業遺跡上』『日本窯業史研究所報告』1 飛鳥書房刊	1975
圈足硯	県 教 委	『下野の古代窯業遺跡 本文編』I『県埋文報』18	1976
円面硯	県 教 委	『下野国府跡』I『県埋文報』30	1979
はし みや 星の宮ケカチ遺跡	芳賀郡益子町塙	集落 有力層の居宅	
円面硯	川原由典	『ケカチ遺跡』『栃木県考古学年報』1 1975・1976年版 県考古学会刊	1977
圈足硯	益子町教委	『星の宮ケカチ遺跡』『益子町文化財調査報告』	1978
円面硯, 転用硯	県 教 委	『下野国府跡』I『県埋文報』30	1979

こいさご  
小砂窯址 那須郡馬頭町大字小砂 窯  
圈足硯 国士館大考 『小砂古代窯業遺跡』1・2号窯 1982  
古学研究室

うめそ  
梅曾遺跡 那須郡小川町大字小川字梅曾 下野国那須郡衙  
転用硯 小川町教委 『栃木県小川町那須官衙跡第四次緊急発掘調査報告書』1976

ぬかづか  
糠塚遺跡 那須郡黒羽町大字松木沢字糠塚原 集落  
陶?硯 県教委 『栃木県遺跡目録集成』『県文報』1 1968

## 群馬県

なかじま  
中島遺跡 前橋市青梨子町字中島~中原 集落  
円面硯, 風字硯 前橋市教委 『昭和55年度埋蔵文化財発掘調査概報6 中島遺跡  
(清里方面運動場造成事業に伴う事前発掘調査)』『文  
化財調査報告書』11 1981  
圈足硯, 風字硯, 前橋市教委 『中島遺跡発掘調査概報 昭和55年度』 1981  
転用硯

きよさとなんぶ  
清里南部遺跡群 前橋市青梨子町 集落 国府・国分寺と関連?  
風字硯, 転用硯 前橋市教委 『富田遺跡群・西大室遺跡群・清里南部遺跡群土地改  
良事業実施地区内埋蔵文化財発掘調査概報』F区 1980

とりぼ  
鳥羽I遺跡 前橋市鳥羽町~元総社町~群馬郡群馬町大字塚田~稲荷台 集落  
風字硯 綿貫邦男 『各遺跡調査概要 関越自動車道(新潟線)地域 鳥  
羽I遺跡』群馬県埋蔵文化財調査事業団 年報』1 1982

こうつけとくぶんじ  
上野国分寺跡 前橋市元総社町~群馬郡群馬町大字東国分~引間 国分寺  
圈足硯 県教委 『史跡上野国分寺跡発掘調査概要』2 1982

くまのどう  
熊野堂A遺跡 高崎市大八木町大字熊野堂 集落・水田  
杯皿形硯 長谷部達雄 『熊野堂A調査区・雨壺遺跡』群馬県埋蔵文化財調査  
事業団年報』I 県埋文調査事業団刊 1982

もとひやく どうど  
本宿・郷土遺跡 富岡市一ノ宮~田島 集落  
無脚硯, 転用硯 富岡市教委 『本宿・郷土遺跡発掘調査報告書』 富岡市文化財保  
護協会刊 1981

<small>まえ こみね</small> <b>前小峯遺跡</b> 風字硯	安中市下間仁田字前小峯 未報告 県立博物館展示	遺物散布地	
<small>とうげつこくぶんじ</small> <b>上野国分寺跡周辺</b> 転用硯	群馬郡群馬町大字東国分字村前 玉口時雄 『転用硯考』『古代探叢集』早大出版刊	国分寺関連集落	滝口宏先生古稀記念考古学論 1980
<small>しも ことんだ</small> <b>下五反田 1 号窯</b> 風字硯	多野郡吉井町多比良 多野藤岡地方誌編集委 『多野藤岡地方誌』	窯	1976
横堤二面円頭風 字硯 三・四脚、 筆置き付 風字硯	五島美術館 『日本の陶硯』 大川 清 『下五反田窯跡』『日本考古学年報』30 1977年度版		1978 1979
横堤二面円頭風 字硯 筆置き付	榎崎彰一 『日本古代の陶硯 - とくに分類について - 』考古学論考 小林行雄博士古稀記念論文集』平凡社刊 函33		1982
<small>かわうち</small> <b>川内遺跡</b> 二面風字硯	多野郡吉井町大字吉井 吉井町教委 『川内遺跡発掘調査報告書』	集落	1982
<small>あたごやま</small> <b>愛岩山遺跡</b> 転用硯	碓井郡松井田町大字松井田字愛岩山 未報告 県立博物館展示	集落	
<small>じゅうさんぼうずか</small> <b>十三宝塚遺跡</b> 転用硯 転用硯	佐波郡境町大字伊与久 県 教 委 『十三宝塚遺跡の概要』 県 教 委 『十三宝塚遺跡発掘調査概報』Ⅱ	上野国佐位郡衙 / 寺院	1976 1976
<small>かみふらな</small> <b>上瀧名遺跡</b> 無脚硯 函 7	佐波郡境町 境町教委 『明神遺跡発掘調査報告書 査報告』『境町文報』	窯? 附上瀧名出土古瓦、硯調	1975
<b>埼 玉 県</b>			
<small>ひがし うえ</small> <b>東の上遺跡</b> 転用硯	所沢市大字久米字東の上 金井塚良一 『東の上遺跡』『所沢市文報』1	集落	1976

たての 立野遺跡 圈足硯	東松山市大字田木字立野 138-24 高橋一夫	須惠器生産関連の工房・選別所 「立野遺跡の発掘調査」『日本住宅公団高坂丘陵地区埋蔵文化財発掘調査報告』IV『県遺跡発掘調査報告書』28 県教委刊	1981
しゆくがやと 宿ヶ谷戸遺跡 無脚楕円硯 花弁状列あり	東松山市大字西本宿字宿ヶ谷戸 県 教 委	集落ほか 「宿ヶ矢戸遺跡の発掘調査」『県遺跡発掘調査報告書』5『関越自動車道関係埋蔵文化財発掘調査報告』Ⅲ	1974
あらく 新久窯跡 圈足硯, 円頭風字硯, 二面平頭風字硯, 曲堤二面円頭風字硯 円頭風字硯, 曲堤二面円頭風字硯 曲堤二面円頭風字硯	入間市大字新久 坂詰秀一 <sup>ほか</sup> 五島美術館 榑崎彰一	窯 『武蔵新久窯跡』 雄山閣刊 『日本の陶硯』 「日本古代の陶硯 - とくに分類について -」『考古学論考 小林行雄博士古稀記念論文集』 平凡社刊	1971 1978 1982
やさかまえ 八坂前窯跡 風字硯 風字硯	入間市大字新久字八坂前9241ほか 市教委 <sup>ほか</sup> 県 教 委	窯 『八坂前窯跡』 『埼玉県埋蔵文化財調査年報 昭和55年度』	1981 1982
やついけ 谷津池窯跡 風字硯 風字硯	入間市大字小谷田1510番地 坂詰秀一 県埋文調査事業団	窯 「陶硯を出土する古窯跡の性格」『古代文化』12-2 2号窯 古代学協会刊 『歴史考古学研究』1 ニュー・サイエンス社刊 1960年 収録 『県埋蔵文化財調査事業団報告書』16『関越自動車道関係埋蔵文化財発掘調査報告』XIV 一覧表	1964 1982
きたべつしよ 北別所遺跡 円頭風字硯	富士見市大字水子字北別所 市 教 委	集落 「北別所遺跡第1地点」『富士見市中央遺跡群Ⅱ』『富士見市文報』17	1979
はけ ハケ遺跡 転用硯	上福岡市大字中福岡字清見1480番地 ハケ遺跡調査会	集落 『埼玉県上福岡市ハケ遺跡C地区』C地区調査会	
しんかい 新開遺跡 円頭風字硯	入間郡三芳町大字藤久保字唐沢~大字竹間沢字新開 松本富雄 <sup>ほか</sup>	集落・窯 「Ⅲ 平安時代の遺構と遺物, 3 P B区の調査」『新開遺跡』I『三芳町埋文報』11	1981

風字硯	松本富雄 <sup>ほか</sup>	「Ⅱ 平安時代の遺構と遺物、2 G C 区の調査」『新開遺跡』Ⅱ 『三芳町埋文報』12 三芳町教委 <sup>ほか</sup> 刊	1982
<b>わかほたい</b> 若葉台遺跡	入間市鶴ヶ島町大字富士見	武蔵国入間郡衙?	
圈足硯	鶴ヶ島町教委	『若葉台遺跡群第一次発掘調査概報 若葉台遺跡C地点』 B地点でも円面硯出土	1979
圈足硯	町 教 委	『若葉台遺跡群第二次発掘調査概報』 D・E地点	1980
<b>たかおか</b> 高岡廃寺	入間郡日高町大字清流小字ケン坊主	寺院	
圈足硯	高岡寺院跡発掘調査会	『高岡寺院跡発掘調査報告書』	1978
圈足硯	五島美術館	『日本の陶硯』	1978
圈足硯	高橋一夫	『日高町高岡廃寺』『埼玉県古代寺院跡調査報告書』県史編纂室刊	1982
円面硯	県 教 委	『高岡寺院跡』『埼玉県埋蔵文化財発掘調査要覧』Ⅳ 『県文報』11	1982
<b>しょうくんさわ</b> 将軍沢窯跡群*	比企郡嵐山町大字将軍澤～大字菅谷鶴巻	窯	* 別称 鶴巻窯
風字硯, 二面風字硯	奈良 博	『天平の地宝』 朝日新聞社刊	1961
二面風字硯	坂詰秀一	『陶硯を出土する古窯跡の性格』『古代文化』12-2 古代学協会刊 『歴史考古学研究』1 ニュー・サイエンス社刊 1960年 収録	1964
風字硯	内藤政恒	『硯の需要と二面硯に関する研究序説』『東京薬科大学一般教育研究紀要』1 東京薬大刊	1967
風字硯, 二面風字硯	五島美術館	『日本の陶硯』	1978
硯	文化庁	『埋蔵文化財要覧』4	1979
圈足硯	県立歴史資料館	『埼玉における古代窯業の発達(3)』『研究紀要』3 第1支群A-2号窯	1981
円面硯	県埋文調査事業団	『県埋蔵文化財調査事業団報告書』16 『関越自動車道関係埋蔵文化財発掘調査報告』XⅣ 一覧表	1982
<b>むしくさやま</b> 虫草山窯跡	比企郡鳩山町大字大橋 829・831 番地	窯	
圈足硯	坂詰秀一	『武蔵・虫草山窯跡』 鳩山村教委刊	1977
圈足硯	坂詰秀一	『武蔵・虫草山窯跡』『考古学研究室彙報』18 立正大学考古研究室刊	1977
圈足硯	五島美術館	『日本の陶硯』	1978
<b>みやのまえ</b> 宮ノ前1号跡	比企郡鳩山町	窯	
風字硯	坂詰秀一	『陶硯を出土する古窯跡の性格』『古代文化』12-2 古代学協会刊 『歴史考古学研究』1 ニュー・サイエンス社刊 1960年 収録	1964



<p>やまだ 山田二号窯跡</p> <p>風字硯</p>	<p>比企郡鳩山町</p> <p>坂詰秀一</p>	<p>窯</p> <p>「陶硯を出土する古窯跡の性格」『古代文化』12-2 古代学協会刊 『歴史考古学研究』1 ニュー・サイエ ンス社刊 1960年 収録</p>	<p>1964</p>
<p>びわはし 枇杷橋遺跡</p> <p>転用硯</p>	<p>児玉郡児玉町大字金屋字枇杷橋</p> <p>県遺跡調査 会</p>	<p>集落</p> <p>「枇杷橋遺跡」『枇杷橋遺跡発掘調査報告書』20『県遺 跡調査会報』20</p>	<p>1973</p>
<p>きたかいと 北貝戸遺跡</p> <p>転用硯</p>	<p>児玉郡美里村大字駒衣字北貝戸～字稲荷林</p> <p>美里村教委</p>	<p>郷倉?</p> <p>「北貝戸遺跡発掘調査概報」</p>	<p>1977</p>
<p>にょらいどう 如来堂A遺跡</p> <p>転用硯</p>	<p>児玉郡美里村大字甘粕字如来堂</p> <p>県 教 委</p>	<p>集落</p> <p>「如来堂A遺跡の発掘調査」『埼玉県遺跡発掘調査報告 書』30『関越自動車道関係埋文報 X 甘粕山』</p>	<p>1980</p>
<p>いひいだ 岩比田遺跡</p> <p>圈足硯 円面硯</p>	<p>大里郡江南村大字板井字岩比田 153</p> <p>五島美術館 県 教 委</p>	<p>集落</p> <p>『日本の陶硯』 「岩比田遺跡」『埼玉県埋蔵文化財発掘調査要覧』IV 『県文報』11</p>	<p>1978 1982</p>
<p>きたさか 北坂遺跡</p> <p>圈足硯</p>	<p>大里郡岡部町大字本郷字北坂</p> <p>県埋文調査 事業団</p>	<p>集落 武蔵国那珂郡衙と関連</p> <p>「北坂遺跡の発掘調査」『県埋蔵文化財調査事業団報告 書』1『関越自動車道関係埋蔵文化財発掘調査報告』 XI</p>	<p>1981</p>
<p>ひらばら 平原遺跡</p> <p>転用硯</p>	<p>大里郡寄居町大字用土字平原</p> <p>県埋文調査 事業団</p>	<p>集落</p> <p>「平原遺跡の発掘調査」『県埋蔵文化財調査事業団報告 書』16『関越自動車道関係埋蔵文化財発掘調査報告』 XIV</p>	<p>1982</p>
<p>ぬました 沼下遺跡</p> <p>圈足硯 圈足硯、転用硯</p>	<p>大里郡寄居町大字用土字沼下5668ほか</p> <p>駒崎史朗 県埋文調査 事業団</p>	<p>集落</p> <p>「沼下遺跡」『日本考古学年報』29 1976年版 「沼下遺跡の発掘調査」『県埋蔵文化財調査事業団報告 書』16『関越自動車道関係埋蔵文化財発掘調査報告』 XIV</p>	<p>1978 1982</p>

## 千葉県

みやぎだいいち

### 宮崎第一遺跡

圈足硯, 転用硯

千葉市宮崎町 720-1 番地

集落

日本道路公団はか 「宮崎第一遺跡」『京葉』

1973

圈足硯, 転用硯

房総風土記の丘 『文字は語る』

1977

転用硯

五島美術館 『日本の陶硯』

1978

しいなびき

### 椎名崎遺跡

転用硯

千葉市椎名崎町西ノ原

集落

日本住宅公団はか 『千葉東南部ニュータウン 6-椎名崎遺跡-』

1979

ありよし

### 有吉遺跡

圈足硯, 二面円頭風字硯, 転用硯

千葉市有吉町 628~643

集落

日本住宅公団はか 『千葉東南部ニュータウン 3 有吉遺跡 (第1次)』

1975

圈足硯

房総風土記の丘 『文字は語る』

1977

圈足硯 土師質

五島美術館 『日本の陶硯』

1978

はがわ

### 芳賀輪遺跡

転用硯

千葉市野呂町~古泉町

集落/豪族居宅

千葉市教委 「千葉市芳賀輪遺跡」『千葉市文報』 1

1976

おおもりだいいち

### 大森第一遺跡

転用硯

千葉市大森町 776-1 番地

集落

日本道路公団はか 「大森第一遺跡」『京葉』

1973

おおもりだいに

### 大森第二遺跡

転用硯

千葉市大森町 222 番地

集落

日本道路公団はか 「大森第二遺跡」『京葉』

1973

すわだ

### 須和田遺跡

圈足硯

市川市須和田 2 丁目

集落

菅原正明 「千葉県須和田遺跡出土の円面硯」『考古学集刊』 4-1 東京考古学会刊

1968

圈足硯

市史編纂委 「土師時代の遺跡 須和田遺跡」『市川市史』 1

1971

圈足硯

房総風土記の丘 『文字は語る』

1977

圈足硯

五島美術館 『日本の陶硯』

1978

真間遺跡	市川市真間	集落	
二面単脚円形硯	内藤政恒	『本邦古硯考』 養徳社刊 図17	1944
二面単脚円形硯	大場磐雄	『真間の入江 その考古学的回顧』旅』23-1 『大場磐雄著作集』4 雄山閣 1975年 収録	1944
二面単脚円形硯	五島美術館	『日本の陶硯』	1978
二面単脚円形硯	榑崎彰一	『日本古代の陶硯 - とくに分類について - 』考古学論考 小林行雄博士古稀記念論文集』 平凡社刊	1982
印内遺跡	船橋市印内町 163 - 1	集落	
転用硯	日本鉄建公団 <sup>はか</sup>	『印内遺跡』『小金線』	1973
印内台遺跡	船橋市西船 3 の 425 の 2	集落	
圈足硯	寺村光晴 <sup>はか</sup>	『印内台 - 古墳、奈良・平安時代の集落址、墓址の発掘調査概報』 印内台遺跡調査団刊	1980
神田台遺跡	佐原市字神田台木 374 番地	集落	
転用硯	県文化財センター	『佐原市神田台遺跡』	1978
阿広台遺跡	佐原市玉造字阿広台	集落	
圈足硯	阿広台遺跡調査団	『阿広台遺跡発掘調査報告書』『芝山はにわ博物館研究報告』5	1978
公津原遺跡	成田市郷部～加良部～山口	集落	
転用硯	県教委	『公津原Ⅱ』	1981
江原台遺跡	佐倉市臼井字江原台	集落	
円面硯	県文化財センター	『江原台遺跡の調査』『千葉県文化財センター年報』1	1976
圈足硯	房総風土記の丘	『文字は語る』	1977
圈足硯	五島美術館	『日本の陶硯』	1978
圈足硯、転用硯	県教委 <sup>はか</sup>	『佐倉市江原台遺跡発掘調査報告書Ⅱ』	1980
山田水呑遺跡	東金市山田字水呑新田	集落/郡司館	
転用硯	山田遺跡調査会 <sup>はか</sup>	『山田水呑遺跡』	1977

とうがねだい 東金台遺跡	東金市松之郷	集落	
転用硯	阿広台遺跡 調査団	『阿広台遺跡発掘調査報告書』『芝山はにわ博物館研究 報告』5	1978
転用硯	東金台遺跡 調査団	『東金台遺跡Ⅰ』	1980
ふにゆう 不入窯跡	市原市不入字細谷	窯	
圈足硯	県教委	『千葉県市原市永田・不入須恵窯跡調査報告書』	1976
圈足硯	房総風土記	『文字は語る』 の丘	1977
にしふか いいち のわり 西深井一ノ割遺跡	流山市大字西深井67-1ほか	集落	
転用硯？	流山市郷土 資料館	『千葉県流山市西深井一ノ割遺跡 流山市教委刊 西初石桜窪遺跡』	1980
むらかみ 村上遺跡群	八千代市大字村上字込の内	集落	
転用硯	日本住宅公 団 <sup>はか</sup>	『八千代市村上遺跡群』	1975
ひびりにし 日秀西遺跡	我孫子市日秀	下総国相馬郡銜	
圈足硯，長方硯	県埋文セン ター	『千葉県我孫子市日秀西遺跡発掘調査報告書』県教 委刊	1980
あら きひかだい 新木東台遺跡	我孫子市新木	集落	
転用硯	我孫子市教 委	『新木東台遺跡発掘調査概報』『我孫子市埋蔵文化財小 報』4	1980
もろ とじょう 師戸城遺跡	印旛郡印旛村師戸字竜ヶ谷	集落	
転用硯	房総風土記	『文字は語る』 の丘	1977
転用硯	五島美術館	『日本の陶硯』	1978
きおろしべつしよ 木下別所廃寺	印旛郡印西町大字別所 876-1	寺院	
転用硯	滝口 宏	『木下別所廃寺第二次発掘調査概報』県教委 <sup>はか</sup> 刊	1979

## 東京都

とうがやと  
堂ヶ谷戸遺跡

世田谷区岡本三丁目

集落

圈足円形硯

世田谷区遺跡調査会 『堂ヶ谷戸遺跡 第13・14次調査概報』

1981

こみや  
小宮遺跡

八王寺市小宮町

集落

圈足硯

服部敬史<sup>ほか</sup> 『八王寺市谷地川流域における考古学的調査』

1974

ふなだ  
船田遺跡

八王寺市長房町

集落

転用硯

服部敬史<sup>ほか</sup> 『船田－東京都八王寺市船田遺跡の第Ⅱ次調査－』八王寺市船田遺跡調査会刊

1972

むさしくふ  
武蔵国府

府中市宮西町～白糸台～寿町～宮町～府中町～片町～新宿北

武蔵国府

硯

府中市教委 『武蔵国府の調査Ⅱ』『国府関連遺跡調査昭和52年度概報』

1977

曲堤二面円頭風字硯 図34

雪田 孝

『武蔵国府の調査Ⅳ－風字硯出土遺跡の調査－』『考古学ジャーナル』139

1977

曲堤二面円頭風字硯

五島美術館

『日本の陶硯』

1978

転用硯

府中市教委

『大沢ビル建設地の調査』『武蔵国府の調査Ⅶ』『国府関連遺跡調査昭和53年度概報』4

1979

円面硯, 風字硯

雪田 孝

『武蔵国府関連遺跡(Ⅰ)』『武蔵国府関連遺跡(Ⅱ)』『日本考古学年報』30 1977年度版

1979

転用硯

府中市教委

『武蔵国府関連遺跡調査報告Ⅰ－白糸台地域の調査Ⅰ－』『府中市埋文報』1

1979

双脚? 楕円硯

府中市教委

『武蔵国府の調査Ⅹ 国府関連遺跡調査昭和54年度概報3 日開企業ビル建設地の調査』

1980

圈足硯

府中市教委

『小坂ビル地区』『仮称小杉ビル地区』『武蔵国府の調査Ⅺ』『国府関連遺跡調査昭和54年度概報』4

1980

転用硯, 転用硯?

府中市教委

『仮称宮町共同ビル地区』『渡辺ビル地区』『武蔵国府の調査Ⅻ』『国府関連遺跡調査昭和55年度概報』1

1980

転用硯, 風字硯, 猿面硯

府中市教委

『大國魂神社参集殿地区の調査』『高安寺保育園地区の調査』『田辺ビル地区の調査』『武蔵国府関連遺跡調査報告Ⅱ－国府地域の調査Ⅰ－』『府中市埋文報』2

1980

風字硯, 転用硯

府中市教委

『三菱銀行府中支店地区』『武蔵国府関連遺跡調査報告Ⅲ 高倉・美好町地域の調査Ⅰ 武蔵国府地域の調査2』『府中市埋文報』3

1981

圈足硯, 風字硯

府中市教委

『武蔵国府関連遺跡調査報告Ⅳ－国府地域の調査3－』『府中市埋文報』4 宮之咩神社裏・中央都市分壊地猿道道子宅地区

1981

風字硯, 圈足硯

府中市教委

『藤和府中コーポ』『大川ビル地区』『奥島病院増築部地区』『武蔵国府の調査ⅫⅢ』『国府関連遺跡調査昭和56年度概報』1

1981

圈足硯

府中市教委

『府中グリーンハイツ地区』『武蔵国府の調査ⅫⅣ』『国府関連遺跡調査昭和56年度概報』2

1982

曲堤二面円頭風字硯

榑崎彰一

『日本古代の陶硯－とくに分類について－』『考古学論考 小林行雄博士古稀記念論文集』 平凡社刊

1982

きょうずかした 経塚下遺跡	昭島市宮澤町経塚下	集落	
円頭風字硯脚	金子浩昌	『経塚下遺跡』経塚下遺跡調査会刊	1977
円頭風字硯脚	三 五島美術館	『日本の陶硯』	1978
かわしまだに 川島谷遺跡	町田市野津田町川島谷	集落	
転用硯	野津田・金井団地内遺跡調査会	『町田市川島谷遺跡 小田急野津田団地内遺跡発掘調査概報』町田市小田急野津田・金井団地内遺跡調査会刊	1979
とよだてらさか 豊田寺坂遺跡	日野市東豊田2丁目	集落	
転用硯	日野市遺跡調査団	『豊田寺坂遺跡』日野市遺跡調査会刊	1978
転用硯	久保常晴 <sup>13</sup> か	『考古学研究室彙報』19 立正大学考古学研究室刊	1978
しんめいうえ 神明上遺跡	日野市神明1～4丁目～大坂上3丁目～多摩平7丁目	集落／牧	
転用硯	神明上遺跡調査団	『神明上遺跡群Ⅰ』	1971
転用硯	神明上遺跡調査団	『神明上遺跡群Ⅱ』	1972
転用硯	立正大学考古学研究室	『神明上遺跡群Ⅱ』立正大学文学部考古学研究室小報Ⅱ12	1972
転用硯	神明上遺跡調査団	『神明上遺跡群Ⅲ』	1973
転用硯	日野市遺跡調査団	『日野市遺跡調査会年報1977年』	1978
転用硯	五島美術館	『日本の陶硯』	1978
おちかわ 落川遺跡	日野市落川	集落／牧	
二面風字硯	日野市落川遺跡調査団	『日野市落川遺跡調査概報』Ⅰ	1981
むさしこくぶんじ 武蔵国分寺遺跡	国分寺市西元町～東元町	国分寺・集落	
無脚硯	内藤政恒	「武蔵国分寺の円面硯」『史迹と美術』340(33-10)	1963
転用硯	武蔵国分寺遺跡調査会	『武蔵国分寺遺跡発掘調査概報』Ⅰ 市教委刊	1976
圈足硯、転用硯瓦	石村喜英	「武蔵国分寺跡出土の陶硯と古瓦硯」『史迹と美術』470(46-10) 史迹美術同致会刊	1976
無脚硯	五島美術館	『日本の陶硯』	1978
転用硯	武蔵国分寺遺跡調査会	『武蔵国分寺遺跡調査会年報1974 武蔵国分寺跡』第3次 市教委 <sup>13</sup> か刊	
風字硯	有吉重蔵	「武蔵国分寺跡(第38次)」『日本考古学年報』30 1977年度版	1979

風字硯, 転用硯	遺跡調査会	『武蔵国分寺遺跡発掘調査概報』V	市教委 <sup>13</sup> か刊	1981	
風字硯, 転用硯	遺跡調査会	『武蔵国分寺遺跡発掘調査概報』VII	市教委 <sup>13</sup> か刊	1982	
転用硯	武蔵国分寺遺跡調査会	『武蔵国分寺調査会年報』II 第2分冊 第30・41・48次	市教委 <sup>13</sup> か刊	1982	
無脚硯	榑崎彰一	「日本古代の陶硯 - とくに分類について -」	『考古学論考』小林行雄博士古稀記念論文集	平凡社刊	1982
かりやうえ 仮屋上遺跡	国立市谷保～富士見台2丁目		集落		
圈足硯	国立市教委	『仮屋上遺跡II』	『国立市文化財調査報告』8	1981	

## 神奈川県

につば おおたけ 新羽大竹遺跡	横浜市港北区新羽町字大竹		集落		
転用硯	県教委	『新羽大竹遺跡』	『県埋文報』17	1980	
ちようじやばら 長者原遺跡	横浜市緑区荏田町字猿田～富士塚		武蔵国都筑郡衙		
円面硯	大川 清 <sup>13</sup> か	「横浜市富士塚地区遺跡群長者原遺跡の調査」	『第5回神奈川県遺跡調査・研究発表会発表要旨』	同発表会準備委員会刊	1981
円面硯	大川 清 <sup>13</sup> か	「文化財レポート 長者原遺跡 - 都筑郡衙推定地 - の調査」	『日本歴史』406	日本歴史学会刊	1982
円面硯	大川 清 <sup>13</sup> か	「武蔵国における郡衙遺跡」	『長野県考古学会誌』44	長野県考古学会刊	1982
円面硯	水野順敏	「神奈川県長者原遺跡」	『第9回 古代城柵官衙遺跡検討会』		1983
はら なすな原遺跡	横浜市緑区長津田		集落		
転用硯	玉口時雄	「転用硯考」	『古代探叢 滝口宏先生古稀記念考古学論集』	早大出版刊 二・三地区出土	1980
おかのみはいどう 岡上麿堂跡	川崎市麻生区岡上		寺院?		
圈足硯	内藤政恒	「関東・東北に於ける圓面硯」	『史迹と美術』23-8	236号 史迹美術同放会刊	1953
圈足硯	奈良 博	『天平の地宝』	朝日新聞社刊		1961
しのみやしものごう 四之宮下ノ郷遺跡	平塚市四之宮下の郷		相模国府推定地		
転用硯	神田・大野遺跡調査団	『四之宮下ノ郷調査概報』	『129号線道路拡幅改良事業に伴う調査』	湘南砂丘遺跡研究会刊	1980
転用硯	平塚市遺跡調査会	『四之宮上郷・下郷調査概報』	『129号線道路拡幅改良事業に伴う発掘調査No.2』	神田・大野遺跡発掘調査団刊	1981

しも ころ *	平塚市四之宮小字下ノ郷～高林寺	寺院	* 別称 四之宮廃寺
下の郷廃寺	日野一郎	「神奈川県平塚市下ノ郷廃寺址」『日本考古学年報』15	1967
風字硯, 二面風字硯, 転用硯	県民部県史編集室	「古墳時代・古代 四之宮廃寺」『神奈川県史 資料編 20 考古資料』財団法人神奈川県史弘済会刊	1979
二面風字硯			
くぼた	平塚市小鍋島～大島	遺物散布地	
久保田遺跡	平塚市博物館	「久保田遺跡」『久保田遺跡他遺跡詳細分布報告 低地の遺跡発掘調査』平塚市博物館資料』18	沖積 1979
転用硯?			
さかみほら にほんまつ	相模原市二本松三丁目	集落	
相模原二本松遺跡	青木 豊 <sup>ほか</sup>	『相模原二本松遺跡発掘調査報告書』	遺跡調査団刊 1979
転用硯			
かみほまだ	海老名市大谷字上村越	集落	
上浜田遺跡	県 教 委	『上浜田遺跡』『県埋文報』15	1979
猿面硯, 転用硯			
<b>新潟 県</b>			
じややま	長岡市白鳥町蛇山	集落	
蛇山遺跡	県 教 委	『埋蔵文化財発掘調査報告書—北陸高速自動車道—』	1976
転用硯		『埋蔵文化財調査報告書』6	
くりほら	新井市栗原字塚田	越後国頸城郡衙／寺院	
栗原遺跡	県・市教委	『栗原遺跡 第4次・第5次発掘調査概報』	1982
圈足硯			
よこみね	北蒲原郡安田町大字社寺字横峯	集落／遺物包含地	
横峯B遺跡	安田町教委	「横峯B遺跡の調査」『上野林丘陵埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅱ—横峯A遺跡・横峯B遺跡—』安田町文化財報告』5	1981
転用硯			
そね	北蒲原郡豊浦町大字竹俣万代字曾根 <sup>ほか</sup>	集落／津／佐渡国沼垂郡衙	
曾根遺跡	豊浦町教委	『曾根遺跡Ⅰ』『豊浦町文化財報告』3	1981
圈足硯, 低圈足円形硯, 転用硯			
圈足硯, 転用硯	豊浦町教委	『曾根遺跡Ⅱ』『豊浦町文化財報告』4	1982
つみした *	北蒲原郡豊浦町大字滝沢字堤下	窯	* 別称 たきざわ 滝沢窯
堤下B遺跡	中川成夫 <sup>ほか</sup>	「新潟県北蒲原郡豊浦村の考古学的調査予報」『古代』36	1961
圈足硯		早稲田大学考古学会刊	



ながはた 長畑遺跡 圈足硯	南蒲原郡栄町大字貝喰新田字並柳 県教委 『埋蔵文化財発掘調査報告書－上越新幹線－』『埋蔵文化財緊急調査報告書』4	遺物包含地	1975
ながのへ 長表遺跡 転用硯	南魚沼郡六日町大字小栗山字長表 六日町教委 『長表遺跡 新潟県南魚沼郡六日町長表遺跡緊急発掘調査報告』『六日町文報』2	遺物包含地	1975
かきさき 柿崎城跡 圈足硯	中頸城郡柿崎町大字柿崎字木崎山 柿崎町教委 『柿崎城・木崎山館城発掘記録（昭和54・55年）』	城館／集落	1982
はらやま 原山遺跡 圈足硯	中頸城郡三和村 吉岡康暢 『北陸出土陶硯一覧表』『東大寺領横江庄遺跡』上越市教委蔵	窯	1983
うしろやま 後山遺跡 圈足硯、転用硯	佐渡郡畑野町大字宮川 畑野町教委 『後山遺跡発掘調査 新潟県佐渡郡後山遺跡発掘調査概報』	集落	1980
しもこう 下国府遺跡 転用硯	佐渡郡真野町大字竹田字畑田 真野町教委 『下国府遺跡』『新潟県佐渡郡真野町下国府遺跡発掘調査報告』	国司館？	1977
ずか コウモン塚遺跡 円頭風字硯	佐渡郡真野町大字新町字山方519 本間洒川 『佐渡の史跡』 池田商店出版部刊	集落	1933
円頭風字硯	内藤政恒 「本邦古硯雑考『考古学』10-6 東京考古学会刊		1939
円頭風字硯	本間洒川 『佐渡上代史考』池田屋商店刊		1940
円頭風字硯 図29	内藤政恒 『本邦古硯考』 養徳社刊		1944
円頭風字硯	本間嘉晴 「佐渡原始文化に対する二・三の考察』『上代文化』20 国学院大学考古学会刊		1951
円頭風字硯	時岡二郎 「佐渡の須恵器』『越佐研究』5・6 合併号 新潟県人文研究会刊		1953
円頭風字硯	県教委 『南佐渡』『新潟県文化財年報』2		1958
円頭風字硯	県教委 『新潟県考古遺跡要覧』I		1959
円頭風字硯	内藤政恒 「調度硯』『新版考古学講座』7 有史文化 下雄 山閣刊		1970
はまだ 浜田遺跡 圈足硯	佐渡郡真野町大字豊田字小坪～はり畑～薬師堂 真野町教委 『浜田遺跡 新潟県佐渡郡真野町浜田遺跡発掘調査報告』	集落	1975

こどもり  
小泊窯跡群  
- どう うた  
堂の上窯跡

窯

	佐渡郡羽茂町大字小泊字堂の上 420	
風字硯	皇室博物館 『天平地宝』	1937
円頭風字硯	内藤政恒 「本邦古硯雑考『考古学』10-6 東京考古学会刊	1939
円頭風字硯	内藤政恒 「佐渡の上代遺跡遺物を訪ねて(下)『史跡名勝天然記念物』14-6 史跡名勝天然記念物保存協会刊	1939
円頭風字硯	内藤政恒 『本邦古硯考』 養徳社刊	1944
円頭風字硯	本間嘉晴 「佐渡原始文化に対する二・三の考察『上代文化』20 国学院大学考古学会刊	1951
円頭風字硯	時岡二郎 「佐渡の須恵器『越佐研究』5・6合併号 新潟県人文研究会刊	1953
円頭風字硯	県 教 委 『南佐渡』新潟県文化財年報』2	1958
円頭風字硯	奈 良 博 『天平の地宝』 朝日新聞社刊	1961
円頭風字硯	五島美術館 『日本の陶硯』 418・420号窯	1978

はた  
カメ細窯跡

	佐渡郡羽茂町大字小泊字カメ畑1608	
風字硯	諸田八百士 「佐渡の史跡を尋ねて(二)『史跡名勝天然記念物』3-6 史跡名勝天然記念物保存協会刊	1928
風字硯	皇室博物館 『天平地宝』	1937
風字硯	内藤政恒 「佐渡の上代遺跡遺物を訪ねて(下)『史跡名勝天然記念物』14-6 史跡名勝天然記念物保存協会刊	1939
風字硯	内藤政恒 『本邦古硯考』 養徳社刊	1944
風字硯	本間嘉晴 「佐渡原始文化に対する二・三の考察『上代文化』20 国学院大学考古学会刊	1951
風字硯	時岡二郎 「佐渡の須恵器『越佐研究』5・6合併号 新潟県人文研究会刊	1953
風字硯	県 教 委 『南佐渡』新潟県文化財年報』2	1958

しもくちざわ  
下口沢窯跡

	佐渡郡羽茂町大字小泊字下口澤	
円形硯	皇室博物館 『天平地宝』	1937
円形硯	内藤政恒 「佐渡の上代遺跡遺物を訪ねて(下)『史跡名勝天然記念物』14-6 史跡名勝天然記念物保存協会刊	1939
円形硯	内藤政恒 『本邦古硯考』 養徳社刊	1944
円形硯	本間嘉晴 「佐渡原始文化に対する二・三の考察『上代文化』20 国学院大学考古学会刊	1951
円形硯	時岡二郎 「佐渡の須恵器『越佐研究』5・6合併号 新潟県人文研究会刊	1953
円形硯	県 教 委 『南佐渡』新潟県文化財年報』2	1958
円形硯	県 教 委 『新潟県考古遺跡要覧』I	1959

フスベ窯跡

	佐渡郡羽茂町大字小泊字フスベ	
風字硯	県 教 委 『南佐渡』新潟県文化財年報』2	1958
風字硯	県 教 委 『新潟県考古遺跡要覧』I	1959
風字硯	金沢和夫 <sup>はか</sup> 「佐渡小泊窯跡発見の風字硯について『歴史考古』3 歴史考古学研究会刊	1959

ことまり 小泊諸窯跡	佐渡郡羽茂町大字小泊		
風字硯	原田広作	『佐渡史苑』2 佐渡史苑社刊	
風字硯	本間嘉晴	「佐渡原始文化に対する二・三の考察」『上代文化』20 国学院大学考古学会刊	1951
風字硯	県教委	『新潟県考古遺跡要覧 I 佐渡編』	1959
ふじわらのさと 藤原里遺跡	佐渡郡羽茂町大字大橋字西方	集落	
圈足硯	本間嘉晴	「佐渡新発見の陶硯について」『越佐研究』5・6 合併号 新潟県人文研究会刊	1953
圈足硯	県教委	『南佐渡』新潟県文化財年報』2	1958
圈足硯	県教委	『新潟県考古遺跡要覧』I	1959

## 富山県

かなくさ 金草3号窯	富山市西金屋	窯	
圈足硯	小矢部市教委	「松永遺跡」『小矢部市埋蔵文化財分布調査概報 II (1980年度)』『小矢部市埋文報』6 地名表	1981
ひらおか 平岡窯跡	富山市平岡	窯	
圈足硯	小矢部市教委	「松永遺跡」『小矢部市埋蔵文化財分布調査概報 II (1980年度)』『小矢部市埋文報』6 地名表	1981
ふるさわ 古沢3～5号窯跡	富山市古沢	窯	
圈足硯	小矢部市教委	「松永遺跡」『小矢部市埋蔵文化財分布調査概報 II (1980年度)』『小矢部市埋文報』6 地名表	1981
きたおしかわ 北押川遺跡	富山市北押川字土坂	製鉄工房関係?	
転用硯	県・市教委	『高速自動車国道北陸自動車道関係埋蔵文化財予備調査報告書』	1973
れんげじ 蓮花寺廃寺跡	高岡市蓮花寺	寺院	
長方硯	藤原良志	「高岡市蓮花寺出土の風字硯一面」『歴史考古』9・10 日本歴史考古学会刊	1963
さえ 佐伯遺跡	魚津市佐伯	集落	
風字硯、転用硯	橋本 正 <sup>13)</sup> か	『富山県魚津市佐伯遺跡発掘調査概要』 県教委刊	1979
転用硯	麻柄一志	『富山県魚津市佐伯遺跡』『魚津市埋蔵文化財調査報告』7	1981

はやつきうわの 早月上野遺跡 転用硯	魚津市上野 岸本雅敏 <sup>ほか</sup>	集落 『富山県魚津市早月上野遺跡第2次緊急発掘調査概報』1976
ふくやま 福山第一号窯 圈足硯	砺波市福山徳万字赤坂 河合重則	窯 『砺波市福山(徳万字赤坂)須恵器窯発掘調査』市史編纂委員会刊 1962
圈足硯	河合重則	『福山窯跡とその出土品』『砺波市史』 1965
圈足硯	石川考古学研究会	『輪島市の考古学的調査 第1報』『石川考古学研究会会誌』10 1966
まつなが 松永遺跡 圈足硯	小矢部市松永～蓮沼字南島 北野博司	越中国砺波郡衙／坂本駅家／破波関 『松永遺跡』『小矢部市埋蔵文化財分布調査概報Ⅱ(1980年度)』『小矢部市埋文報』6 1981
きたいちのこ 北一V遺跡 転用硯	小矢部市石動町蟹谷 市教委	遺物包含地 『富山県小矢部市蟹谷地区内埋蔵文化財予備調査概要』1978
こもりや 小森谷遺跡 転用硯 方形硯 状に加工	小矢部市平櫻 県教委	遺物包含地 『高速自動車国道北陸自動車道関係埋蔵文化財 小矢部市小森谷遺跡調査報告書』1973
すんないちとこやま 杉谷内床の山遺跡 圈足硯	小矢部市杉谷内床ノ山 小矢部市教委	遺物包含地／集落 『松永遺跡』『小矢部市埋蔵文化財分布調査概報Ⅱ(1980年度)』『小矢部市埋文報』6 地名表 1981
圈足硯	小矢部市教委	『市道小森谷・浅地緑道路改良事業に伴う埋蔵文化財調査概報Ⅰ』 1982
円面硯	松井政信	『昭和56年度富山県埋蔵文化財調査一覧』 1982
のざわ 野沢遺跡 転用硯	上新川郡大沢野町野沢 斎藤隆 <sup>ほか</sup>	遺物包含地 『富山県大沢野町野沢遺跡発掘調査報告書Ⅰ』『大沢野町文報』2 1979
かまたに 釜谷窯跡 圈足硯	中新川郡立山町 小矢部市教委	窯 『松永遺跡』『小矢部市埋蔵文化財分布調査概報Ⅱ(1980年度)』『小矢部市埋文報』6 地名表 1981
ひがしえがみ 東江上遺跡 円面硯	中新川郡上市町東江上 岸本雅敏	集落 『東江上(HG07)遺跡(第2期)』『昭和54年度富山県埋蔵文化財調査一覧』 1980

圈足硯	岸本雅敏	「東江上遺跡』『北陸自動車道遺跡調査報告 上市町遺構編』上市町教委刊	上市町遺	1981
圈足硯	岸本雅敏	「東江上遺跡』『北陸自動車道遺跡調査報告 上市町土器・石器編』上市町教委刊	上市町土	1982

じょうべのま遺跡	下新川郡入善町田中	荘家		
風字硯	県 教 委	『入善町じょうべのま遺跡発掘調査概報』		1972
風字硯, 転用硯	県 教 委	「じょうべのま遺跡』『県埋文報』Ⅲ		1974
風字硯	入善町教委	『入善町じょうべのま遺跡発掘調査概報』		1975
転用硯	入善町教委	『入善町じょうべのま遺跡予備調査概報(4)』		1981

なかやまろなる 中山南遺跡	射水郡小杉町	集落		
転用硯	橋本 正	「じょうべのま遺跡』『県埋文報』Ⅲ		1974

こすぎりゆうつうぎようむだん ち 小杉流通業務団地遺跡	射水郡大門町水戸田～小杉町青井谷字丸山～願尺	窯・集落		
円面硯	池野正男	「小杉流通業務団地No.16遺跡』『昭和54年度富山県埋蔵文化財調査一覧』		1980
圈足硯	上野 章 池野正男	『富山県小杉町・大門町小杉流通業務団地内遺跡群第2次緊急発掘調査概要』 第2号窯		1980
円面硯	狩野 睦	「小杉流通業務団地内No.18遺跡C地点』『昭和55年度富山県埋蔵文化財調査一覧』		1981
圈足硯, 獣形硯 蓋, 鳥?形硯脚	県 教 委	『富山県小杉町・大門町小杉流通業務団地内遺跡群第3・4次緊急発掘調査概要』		1982
圈足硯	上野 章 池野正男	「富山県小杉流通業務団地内No.16遺跡』『日本考古学年報』32 1979年度版		1982

たか せ 高瀬遺跡	東砺波郡井波町高瀬字大宮司	荘家		
転用硯	県 教 委	『富山県井波町高瀬遺跡発掘調査概報』		1972
転用硯	県 教 委	「高瀬遺跡』『県埋文報』Ⅲ		1974

いのくち 井口遺跡	東砺波郡井口村	遺物包含地		
圈足硯?	井口村教委	『井口遺跡発掘調査概要』		1980

## 石 川 県

とみず 戸水C遺跡	金沢市戸水町	郡津? / 集落		
圈足? 硯	県 教 委	『金沢市戸水C遺跡発掘調査概報』『金沢港泊地造成事業関係埋蔵文化財発掘調査概要報告書』4		1981
圈足硯	県 教 委	『金沢市戸水C遺跡発掘調査概報(5)』		1982

むりょうじ 無量寺遺跡	金沢市無量寺町畝田	荘家？	1983
円面硯	吉岡康暢	「北陸出土陶硯一覧表『東大寺領横江庄遺跡』 金沢市教委蔵	
たかんだう 高堂遺跡	小松市高堂町～寺井町寺井	官衙／有力層の居宅／寺院付属施設	
転用硯	県埋文セン ター	『高堂遺跡－第Ⅲ次発掘調査概報－』	1982
うるしまち 漆町遺跡群	小松市漆町～金屋町～白江町	集落	
転用硯	県立埋文セ ンター	『漆町遺跡』	1982
転用硯	小林 茂	「石川・漆町遺跡」『木簡研究』4 木簡学会刊	1982
円面硯、風字硯、 二面風字硯	吉岡康暢	「北陸出土陶硯一覧表『東大寺領横江庄遺跡』 チョウジャワリ遺跡・ネンブツドウ遺跡・サンバワリ遺 跡出土。小松市教委・県埋文センター蔵	1983
とす 戸津17号窯	小松市戸津町	窯	
風字硯	吉岡康暢	「北陸出土陶硯一覧表『東大寺領横江庄遺跡』 小松市教委蔵	1983
いなふね 稲舟古窯址	輪島市稲舟町	窯	
圈足硯	北島信正	『鳳至郡鶴巣村稲舟発見の製陶遺址並に同郡大屋村宅 田地内「上ノ山」発見の石器・土器に就いて』	1937
圈足硯	石川考古学 研究会	「輪島市の考古学的調査1」『石川考古学研究会々誌』 10	1966
圈足硯 筆立て 付	吉岡康暢	「北陸の陶硯」『日本の陶硯』五島美術館刊	1978
ちよくし 勅使遺跡群 19区	加賀市勅使町～栄谷町～松山町～清水町～河原町	勅使館	
転用硯	県教委	『加賀市勅使遺跡群発掘調査報告書』	1975
猿面硯	加賀市教委	『勅使館跡発掘調査報告』『加賀市埋文報』9	1981
ほうこうざん 法皇山横穴古墳群	加賀市勅使町	古墳	
圈足硯	石川考古学 研究会	『法皇山横穴古墳群』12号横穴前庭部	1971
圈足硯	吉岡康暢	「北陸の陶硯」『日本の陶硯』五島美術館刊	1978
ゆみなみ 弓波廃寺	加賀市弓波町	寺院？	
圈足硯	加賀市教委	『弓波廃寺跡範囲確認発掘調査報告』	1978
圈足硯	吉岡康暢	「北陸の陶硯」『日本の陶硯』五島美術館刊	1978

うわえ 上江遺跡	羽咋市上江町	集落	
円面硯	平田天秋	「上江遺跡」『日本考古学年報』29	1976年度版 1978
二面圈足硯 図12	吉岡康暢	「北陸の陶硯」『日本の陶硯』五島美術館刊	1978
やないだ 柳田古窯跡群	羽咋市柳田町	窯	
円面硯	吉岡康暢	「柳田ゴロベエ窯址」『日本考古学年報』24	1971年度版 日考協刊 1973
圈足硯	田嶋明人	「柳田古窯跡群」『羽咋市史 原始・古代編』柳田五郎兵衛山1号窯	1973
圈足硯	加賀市教委	『弓波廃寺跡範囲確認発掘調査報告』柳田五郎兵衛山1号窯	1978
圈足硯	吉岡康暢	「北陸の陶硯」『日本の陶硯』五島美術館刊	1978
じけ 寺家遺跡	羽咋市寺家町	客館？／祭祀／集落	
圈足硯	吉岡康暢	「北陸の陶硯」『日本の陶硯』五島美術館刊	1978
圈足硯	小嶋芳孝	「寺家遺跡の諸問題について」『羽咋市寺家遺跡の検討』『古代を考える』29	1981
よこえのしやう 横江荘々家跡	松任市横江町	荘家	
転用硯	横江遺跡発掘調査団	『横江遺跡』『石川県松任市横江荘遺跡緊急発掘調査概報』	1978
円面硯	加賀市教委	『弓波廃寺跡範囲確認発掘調査報告』	1978
圈足硯 図4	五島美術館	『日本の陶硯』	1978
ゆのや 湯屋B窯	能美郡辰口町字湯屋	窯	
円面硯	金沢大学考古学研究会	『金沢大学考古学研究会活動報告』3	1981
円面硯	吉岡康暢	「北陸出土陶硯一覧表」『東大寺領横江庄遺跡』	1983
しろやまおく 城山奥窯	能美郡辰口町字蕨生	窯	
円面硯	金沢大学考古学研究会	『金沢大学考古学研究会活動報告』2	1976
円面硯	吉岡康暢	「北陸出土陶硯一覧表」『東大寺領横江庄遺跡』	1983
ちきじ 知気寺	石川県鶴来町知気町	寺院	
曲堤二面四脚方形硯 図23	清水庄吉	「石川県鶴来町知気寺出土の陶硯」『石川考古学研究会誌』12	1969
	石川県立郷土資料館	『加賀能登出土の名宝』	1973
曲堤二面四脚方形硯	五島美術館	『日本の陶硯』	1978

曲堤二面四脚方  
形硯 榎崎彰一 「日本古代の陶硯－とくに分類について－」『考古学論考 小林行雄博士古稀記念論文集』 1982

みうち  
箕打みやの古窯跡 河北郡高松町字箕打 窯  
圈足硯 県教委<sup>ほか</sup> 『高松町箕打・みやの古窯』『石川県古窯跡調査(第5次)概報』 1976

圈足硯 吉岡康暢 「北陸の陶硯」『日本の陶硯』 五島美術館刊 1978

こうしんづか  
庚申塚遺跡 河北郡宇ノ気町笠島 通称コウシンズカ 未詳  
風字硯 石川考古学研究会 「輪島市の考古学的調査 第1報」『石川考古学研究会会誌』10 1966

低圈足硯 吉岡康暢 「北陸の陶硯」『日本の陶硯』 五島美術館刊 1978

おしみず  
押水古窯跡 羽咋郡押水町字紺屋町向野 窯  
圈足硯 県教委<sup>ほか</sup> 「高松町箕打・みやの古窯」『石川県古窯跡調査(第5次)概報』 1976

ふどうじ  
不動寺遺跡 珠洲郡松波町不動寺 遺物包含地  
風字硯 清水庄吉 「石川県鶴来町知気寺出土の陶硯」『石川考古学研究会会誌』12 1969

円頭風字硯 五島美術館 『日本の陶硯』 1978

## 福井県

しのお  
篠尾廃寺 福井市篠尾町小字塔垣内 寺院  
圈足硯 県教委 『足羽郡足羽町篠尾廃寺調査概要』『福井県文化財調査概要』 1972

円面硯 斎藤 優 「篠尾廃寺跡」『日本考古学年報』 24 1971年版 1973

猿面硯 福井市太田町 未詳  
内藤政恒 『本邦古硯考』 養徳社刊 1944

## 山梨県

ひがしぼろ \*  
東原遺跡杭No.313地点 東八代郡一宮町東原 集落 \*編者の仮称  
転用硯 県教委 『勝沼バイパス道路建設に伴う古代甲斐国の考古学的調査』『埋没条里研究』II 1974



## 長野県

あがひまち

### 県町遺跡

	長野市大字南長野県町 576	集落／官衙	
蹄脚硯	笹沢 浩	「長野市県町遺跡緊急発掘調査略報」『長野』30	1970
蹄脚硯	五島美術館	『日本の陶硯』	1978
蹄脚硯	笹沢 浩	「県町遺跡」『日本考古学年報』21・22・23 1968・1969 ・1970年度版 日考協刊	1981
蹄脚硯	榎崎彰一	「日本古代の陶硯－とくに分類について－」『考古学論考 小林行雄博士古稀記念論文集』 平凡社刊	1982

おおいほろ

### 大室遺跡

	長野市松代町大室	集落	
三面平頭風字硯	内藤政恒	「調度 硯」『新版考古学講座』7 有史文化 下	1970

さんさいたこ

### 三才田子遺跡

	長野市大字三才字北田子～南田子	多胡駅家？	
円面硯	米山一政	「長野市三才田子遺跡」『信濃考古』28 県考古学会刊	1969

いま いしょうがっこう

### 今井小学校遺跡

	松本市大字今井	遺物包含地	
風字硯	内藤政恒	「硯の需要と二面硯に関する研究序説」『東京薬科大学一般教育研究紀要』1 東京薬科大学刊	1967

しなのこくふんじ

### 信濃国分寺

	上田市大字国分寺仁王堂～明神前～道場	国分寺	
圈足硯	内藤政恒	『信濃国分寺跡第3次発掘調査概報（附第2次発掘調査概報）』 上田市教委刊	1967
圈足硯	上田市教委	『信濃国分寺 本編』 吉川弘文館刊	1974
圈足硯	五島美術館	『日本の陶硯』	1978

みょうじんまえ

### 明神前遺跡

	上田市大字国分寺明神前	集落／製鉄工房	
硯	小林幹男	「明神前遺跡」『日本考古学年報』24 1971年版	1973
風字硯	五島美術館	『日本の陶硯』	1978
転用硯	玉口時雄	「転用硯考」『古代探叢 滝口宏先生古稀記念考古学論集』 早大出版刊	1980

なかい

### 中井遺跡

	上田市大字保野	集落	
円面硯，風字硯	五十嵐幹雄	「中井遺跡」『上田市文報』15 上田市教委刊	1981
硯	五十嵐幹雄	「昭和55年度長野県内遺跡発掘調査略報 中井遺跡」『長野県考古学会誌』42・43 長野県考古学会刊	1982

まのきりいし

### 榎垣内遺跡

	岡谷市長地 2954 番地ほか	集落	
円面硯		『信濃毎日新聞』1980年9月7日掲載	1980

円面硯	高林重水	「昭和55年度長野県内遺跡発掘調査略報 榎垣外（金山東地点）遺跡」『長野県考古学会誌』42・43	1982
<small>みやほら</small> 宮洞窯跡	飯田市桐林小字宮洞	窯	
風字硯	遮那真周	「桐林宮洞須恵器窯跡発掘略報」『伊那』427 伊那史学会刊	1963
<small>ごんが</small> 恒川遺跡群	飯田市座光寺	信濃国伊那郡衙・集落	
圈足硯	遮那藤麻呂	「飯田市座光寺出土の円面硯」『長野県考古学会誌』10 県考古学会刊 ガニガ城地籍出土	1971
円面硯	遮那藤麻呂	「飯田市座光寺新屋敷出土の円面硯」『伊那』538 伊那史学会刊	1973
蹄脚硯	長野県考古学会	『恒川遺跡学習研究会資料』 倉垣外地籍出土 長野県考古学会刊	1978
蹄脚硯、圈足硯	五島美術館	『日本の陶硯』 倉垣外・ガニガ城地籍出土	1978
蹄脚硯	大沢和夫	「恒川遺跡群」『信濃考古』49・50 県考古学会刊	1979
圈足硯、転用硯瓦	小林正春	「昭和54年度発掘調査概報 新屋敷遺跡」『長野県考古学会誌』38 新屋敷遺跡 県考古学会刊	1980
圈足硯、蹄脚硯、転用硯	恒川遺跡群保存対策特別委員会	『ごんが』4 倉垣外地籍、新屋敷遺跡出土 県考古学会刊	1980
圈足硯、蹄脚硯、転用硯	小林正春	「恒川遺跡群発掘調査概要」『長野県考古学会誌』44 倉垣外、恒川B、阿弥陀垣外、新屋敷遺跡出土	1982
<small>ちかとうしや</small> 千鹿頭社遺跡	諏訪市豊田字有賀 3927	集落	
円面硯	遮那藤麻呂	「長野県硯出土遺跡」『長野県考古学会誌』44 地名・文献一覧表 県考古学会刊	1982
<small>きたじょう</small> 北城遺跡	伊那市西春近山本	集落	
円面硯	檜崎彰一	「瓷器の道Ⅰ—信濃における灰釉陶器の分布—」『名古屋大学文学部20周年記念論集』 名古屋大文学部刊	1968
圈足硯	御子柴泰正	「伊那市西春近出土の陶製円面硯 上伊那最古の「すずり」とその背景について」『伊那路』20-6(233号)	1976
<small>たかいで</small> 高出遺跡	塩尻市大字広丘野村	集落	
圈足硯	小松 虔 <small>はか</small>	「塩尻市高出遺跡とその周辺」『松本諏訪地区新産業都市地域内埋蔵文化財緊急分布調査報告 昭和40年度』 県教委刊 第Ⅱ地区	1966
<small>よだ</small> 依田古窯跡	小県郡丸子町大字御嶽堂	窯	
圈足硯	遮那藤麻呂	「長野県硯出土遺跡」『長野県考古学会誌』44 地名・文献一覧表 県考古学会刊	1982

す わ た  
諏訪田遺跡 小県郡丸子町大字御嶽堂 集落／官衙？（海部郷衙？）  
陶足硯 丸子町教委 『三角 三角遺跡群（諏訪田遺跡・社軍神遺跡）緊急 1980  
発掘調査報告書』

しょうぶざわ \*  
勝負沢遺跡 小県郡丸子町大字長瀬 遺物散布地 \* 編者の仮称  
提瓶形硯 小林真寿 「丸子町長瀬勝負沢出土の須恵器」『上山考古』10 1982

ねつしんぎょうじ  
祢津真行寺遺跡 小県郡東部町大字刈津字真行寺 寺と関連？  
円頭風字硯 川上 元 「祢津東町真行寺出土の古硯」『桜畑等埋蔵文化財緊急 1968  
調査報告書』 有料道路発掘調査団刊  
円頭風字硯 上田市立博 「上田盆地の奈良・平安時代」『郷土の歴史 原始・古 1979  
物館 代文化』

なかもち  
中道遺跡 上伊那郡箕輪町大字中箕輪中道 集落／深沢駅家？／郷庁？／牧？  
転用硯 県教委<sup>は</sup>か 「中道遺跡」『長野県中央道埋蔵文化財包蔵地発掘調査 1974  
報告書 上伊那郡箕輪町』

わかみや  
若宮窯跡1号 埴科郡戸倉町大字若宮 窯  
円面硯 坂詰秀一 「陶硯を出土する古窯跡の性格」『古代文化』12-2 1964  
古代学協会刊 『歴史考古学研究』1 ニュー・サイエン  
ス社 1960年 収録  
円面硯 坂詰秀一 「長野県八重原、若宮古窯跡の調査」『日考協第30回総 1964  
会レジュメ』 日考協刊

## 岐阜県

あつみでら  
厚見寺跡 岐阜市寺町 寺院  
陶足硯 岐阜市 「第4節 歴史時代 厚見寺跡」『岐阜市史 史料編 1979  
考古・文化財』

ひのふなふせやま  
日野舟伏山遺跡 岐阜市日野 集落  
風字硯 五島美術館 『日本の陶硯』 1978

みのとくふんじ  
美濃国分寺跡 大垣市青野町 国分寺  
陶足硯 大垣市教委 『史跡美濃国分寺跡発掘調査報告Ⅱ』 1970

こけいざん  
虎溪山古窯址群 多治見市虎溪山町 窯  
平頭風字硯 竹内門山<sup>は</sup>か 「虎溪山古窯址群」『平尾遺跡・虎溪山遺跡』1号窯 1970  
多治見市教委刊

もとやしき 元屋敷古窯跡	土岐市泉町久尻字下窯 1245-1	窯	
長方硯 織部・ 鉄釉, その他 兎図硯 <sup>ほか</sup>	五島美術館 『日本の陶硯』		1978
すえ 須衛窯跡		窯	
稲田山古窯址群	各務原市須衛字稲田		
		「稲田山古窯調査メモ抄」『濃飛の文化財』6	1975
円面硯	大江 傘	「稲田山遺跡」『日本考古学年報』27	1974年版
圈足硯, 獸脚硯	市 教 委	『稲田山古窯跡群発掘調査報告書』	1981
すえ 須衛窯跡	各務原市須衛		
圈足硯, 低圈足 硯	内藤政恒	『本邦古硯考』 養徳社刊	1944
圈足硯, 低圈足 硯	五島美術館	『日本の陶硯』	1978
低圈足硯	檜崎彰一	「日本古代の陶硯—とくに分類について—」『考古学論 考 小林行雄博士古稀記念論文集』 平凡社刊	1982
みのすええもと 美濃須衛会本	各務原市須衛		
宝珠硯	五島美術館	『日本の陶硯』	1978
みい 三井廃寺跡	各務原市三井町寺浦	寺院	
圈足硯	五島美術館	『日本の陶硯』	1978
みい 三井遺跡	各務原市三井町寺浦	集落	
圈足硯, 長方硯	県教委 <sup>ほか</sup>	『三井遺跡・六軒遺跡』『一般国道21号那加バイパス建 設に伴なう埋蔵文化財発掘調査報告書』	1981
のぐち 野口遺跡	各務原市蘇原野口町	集落/寺院	
圈足硯	内藤政恒	『本邦古硯考』 養徳社刊	1944
きど 木戸遺跡	各務原市蘇原寺島町	集落/寺院	
円面硯	未報告 市教委教示	『各務原市史』(近刊) に掲載予定	
ひろはた 広畑遺跡	各務原市蘇原新栄町1丁目	集落	
円面硯	未報告 市教委教示	『各務原市史』(近刊) に掲載予定	

ちようじゃやしき 長者屋敷遺跡	各務原市蘇原菊園町1丁目～月丘町2丁目	集落／寺院	
低圈足硯	内藤政恒	『本邦古硯考』 養徳社刊	1944
低圈足硯、獸脚硯、長方硯	五島美術館	『日本の陶硯』	1978
低圈足硯 図6	植崎彰一	「日本古代の陶硯—とくに分類について—」『考古学論考 小林行雄博士古稀記念論文集』 平凡社刊	1982
みのそはら 美濃蘇原村	各務原市蘇原	未詳	
圈足硯	五島美術館	『日本の陶硯』	1978
まなごし 真名越遺跡	各務原市鶴沼真名越町	集落	
円面硯	未報告 市教委教示	『各務原市史』(近刊)に掲載予定	
やはぎま 谷迫間古窯址	可児市谷迫間字栃洞 753 の 1	窯	
硯	大江 傘	「谷迫間遺跡」『日本考古学年報』 25 1972年版	1974
双脚楕円硯	県教委 ほか	『谷迫間古窯址発掘調査報告書』	1974
みのあやと 美濃綾戸遺跡	不破郡垂井町綾戸	集落	
猿面硯	内藤政恒	『本邦古硯考』 養徳社刊	1944
猿面硯	内藤政恒	「調度 硯」『新版考古学講座』 7 有史文化 下	1970
猿面硯	五島美術館	『日本の陶硯』	1978
猿面硯	植崎彰一	「猿面硯について」『MUSEUM』 341 東京国立博物館刊	1979
猿面硯	植崎彰一	「日本古代の陶硯—とくに分類について—」『考古学論考 小林行雄博士古稀記念論文集』 平凡社刊	1982
ふのせき 不破関跡	不破郡関ヶ原町大字松尾	不破関	
圈足硯	県教委	『美濃不破関』	1978
おおひらが 大平賀遺跡	加茂郡富加町大平賀老梅	集落	
圈足硯	内藤政恒	『本邦古硯考』 養徳社刊	1944
ひがしやまうら 東山浦遺跡	加茂郡富加町瀧田字東山浦 1507～1556	集落	
圈足硯	富加町教委	『東山浦遺跡』『富加町文報』 2	1978
かわはら 川原遺跡	大野郡荘川村大字一色字川原	遺物散布地	
猿面硯	植崎彰一	「猿面硯について」『MUSEUM』 341 東博刊	1979

猿面硯 榑崎彰一 「日本古代の陶硯—とくに分類について」『考古学論考 小林行雄博士古稀記念論文集』 平凡社刊 1982

長者原遺跡

長方硯 五島美術館 『日本の陶硯』 未詳 1978

静岡県

上香貫宮原古墳

沼津市上香貫宮原町 1665 古墳  
 提瓶形硯 内藤政恒 『本邦古硯考』 養徳社刊 1944  
 提瓶形硯 石井則孝 「陶硯について—その1—」『史館』創刊号 市川ジャーナル社刊 1973  
 提瓶形硯 五島美術館 『日本の陶硯』 1978  
 提瓶形硯 図16 榑崎彰一 「日本古代の陶硯—とくに分類について—」『考古学論考 小林行雄博士古稀記念論文集』 平凡社刊 1982

伊豆国分寺

三島市国分町国分寺 国分寺  
 円頭風字硯 帝室博物館 『天平地宝』 1937  
 円頭風字硯 角田文衛 『国分寺の研究』 考古学研究会刊 1938  
 円頭風字硯 内藤政恒 『本邦古硯考』 養徳社刊 1944

竹林寺遺跡

島田市船木字南原 遠江国榛原郡衙／初倉駅家／寺院  
 双脚円形硯, 転用硯 竹林寺遺跡調査団 『竹林寺遺跡Ⅲ 昭和52年度発掘調査概報』 島田市教委刊 1978  
 双脚円形硯 五島美術館 『日本の陶硯』 1978  
 双脚円形硯 榑崎彰一 「日本古代の陶硯—とくに分類について—」『考古学論考 小林行雄博士古稀記念論文集』 平凡社刊 1982

遠江国分寺

磐田市国府台 国分寺  
 二面円頭風字硯 平野和男 『遠江国分寺の研究』 磐田市教委刊 1962  
 二面円頭風字硯 内藤政恒 「硯の需要と二面硯に関する研究序説」『東京薬科大学一般教育研究紀要』1 東京薬科大学刊 1967  
 二面円頭風字硯 五島美術館 『日本の陶硯』

御殿・二之宮遺跡

磐田市御殿～二之宮 遠江国府／駅家  
 圈足硯, 転用硯 磐田市教委 『御殿・二之宮遺跡発掘調査報告』I 1981

野際遺跡

磐田市東貝塚字野際 1980 番地 集落

転用硯	市立郷土館	『野際遺跡発掘調査概報』	磐田市教委刊	1982
みこがや 御子ヶ谷遺跡	藤枝市瀬古字御子ヶ谷67番地		駿河国志太郡衙	
圈足硯	五島美術館	『日本の陶硯』		1978
圈足硯、転用硯	藤枝市埋文 調査事務所	『日本住宅公団藤枝地区埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅲ 奈良・平安時代編 志太郡衙跡（御子ヶ谷遺跡・落 合遺跡）』	藤枝市教委 <sup>ほか</sup>	1981
あきあわせ 秋合遺跡	藤枝市南新屋白山14-5番地		駿河国志太郡衙 / 郡衙関連遺跡	
転用硯	市埋文事務 所 <sup>ほか</sup>	『静岡県藤枝市秋合遺跡発掘調査報告書』		
さかしり 坂尻遺跡	袋井市国本		駅家？ / 遠江国佐野郡衙？	
転用硯	袋井市教委	『昭和56年度一般国道1号袋井バイパス（袋井地区） 埋蔵文化財発掘調査概報 坂尻遺跡第2次調査』		1982
せいがや 清ヶ谷白山窯	小笠郡大須賀町山崎		窯	
円頭風字硯、二 面平頭風字硯	五島美術館	『日本の陶硯』		1978
円頭風字硯、二 面平頭風字硯	市原寿文	『清ヶ谷古窯跡群白山窯跡-1978年度の発掘調査-』 大須賀町教委刊 図31		1979
円頭風字硯、二 面平頭風字硯	榑崎彰一	『日本古代の陶硯-とくに分類について-』 『考古学論考 小林行雄博士古稀記念論文集』	平凡社刊	1982
ちやうじやげら 長者原窯			窯	
1号窯	小笠郡菊川町長者原			
長方硯	榑崎彰一	『猿投窯』『陶器全集』31	平凡社刊	1966
長方硯 図25	榑崎彰一	『日本古代の陶硯-とくに分類について-』 『考古学論考 小林行雄博士古稀記念論文集』	平凡社刊	1982
3号窯	小笠郡菊川町長者原			
長方硯	内藤政恒	『調度 硯』『新版考古学講座』7	有史文化 下	1970
いば 伊場遺跡	浜松市東伊場二丁目		遠江国敷智郡衙 / 栗原駅家 / 津	
円面硯	伊場遺跡調 査団	『伊場遺跡 第4次発掘調査の成果（要旨）』 遺跡調査会刊	浜松市	1972
風字硯	浜松市遺跡 調査会	『伊場遺跡 第6・7次発掘調査概報』		1975
圈足硯、二面風 字硯、転用硯	浜松市教委	『伊場遺跡出土品の解説目録』		1975

転用硯 向坂鋼二 「伊場遺跡(第9次調査)」『日本考古学年報』28 1977  
1975年版 日考協刊

しんやま  
城山遺跡 浜名郡可美村 遠江国敷智郡衙／栗原駅家  
圏足硯, 転用硯 浜松市教委 『静岡県浜名郡可美村城山遺跡調査報告書』 1981  
円面硯 向坂鋼二 『静岡県城山遺跡』『日本考古学年報』32 1979年度版 1982  
日考協刊

## 愛知県

さなげやま ひかしやま  
猿投山西南麓古窯跡群東山地区 窯  
東山G83号窯\* 名古屋市天白区天白町大字八事裏山126番地 \*別称 やごとうらやま 八事裏山1号窯  
二面風字硯, 長 荒木 実<sup>はか</sup> 『八事裏山1号窯発掘調査報告』『古代人』38 名古屋 1981  
方硯 考古学会刊

名古屋市千種区東山公園付近  
長方硯 内藤政恒 「調度 硯」『新版考古学講座』7 有史文化 下 1970  
雄山閣刊

長方硯 榑崎彰一 「日本古代の陶硯—とくに分類について—」『考古学論 1981  
考 小林行雄博士古稀記念論文集』 平凡社刊

名古屋市千種区田代町字唐山  
長方硯 五島美術館 『日本の陶硯』 1978

さなげやま いわさき  
猿投山西南麓古窯跡群岩崎地区 窯  
岩崎17号窯 愛知郡日進町大字岩崎字芦廻間  
圏足硯 榑崎彰一 「猿投山古窯出土の陶硯」『陶説』83 日本陶磁協会刊 1960  
圏足硯 五島美術館 『日本の陶硯』 1978

岩崎20号窯\* 名古屋市名東区猪高町大字高針字山の中20-1 \*高針ゴルフ場内  
圏足硯 五島美術館 『日本の陶硯』 1978  
圏足硯 榑崎彰一 「日本古代の陶硯—とくに分類について—」『考古学論 1982  
考 小林行雄博士古稀記念論文集』 平凡社刊

岩崎窯? 愛知郡日進町大字岩崎  
その他 榑崎彰一 「猿投山古窯出土の陶硯」『陶説』83 日本陶磁協会刊 1960  
その他 五島美術館 『日本の陶硯』 1978



さ なげやま 猿投山西南麓古窯跡群鳴海地区

窯

鳴海32号窯	愛知郡東郷町大字春木字涼松		
硯	梶崎彰一	『愛知県猿投山西南麓古窯址群』分布地一覧表 県教委刊	1958
円面硯	梶崎彰一	「4 鳴海地区の調査—鳴海32号窯」『愛知県猿投山西南麓古窯址群』 県教委刊	1959
圈足硯 図2	梶崎彰一	「猿投山古窯出土の陶硯」『陶説』83 日本陶磁協会刊	1960
圈足硯	五島美術館	『日本の陶硯』	1978

鳴海39号窯	名古屋市天白区天白町大字平針字黒石2845—295		
円面硯	梶崎彰一	『愛知県猿投山西南麓古窯址群』分布地一覧表 県教委刊	1958
円足硯	梶崎彰一	「猿投山古窯出土の陶硯」『陶説』83 日本陶磁協会刊	1960

鳴海75号窯*	名古屋市緑区鳴海町字通曲		*別称 NN 275
圈足硯, 風字硯, 花頭風字硯	市 教 委	『緑区鳴海町徳重南部土地区画整理事業地区埋蔵文化財発掘調査概要報告書』	1979

鳴海79号窯*	名古屋市緑区鳴海町字通曲		*別称 NN 279
圈足硯, 風字硯	市 教 委	『緑区鳴海町徳重南部土地区画整理事業地内埋蔵文化財発掘調査概要報告書』	1979

鳴海 265 号窯*	名古屋市緑区鳴海町字乗鞍		*別称 乗鞍2号窯
圈足硯, 平頭? 風字硯	市 教 委	『名古屋市緑区鳴海町徳重西部土地区画整理事業予定地内所在埋蔵文化財発掘調査報告』『名古屋市文報』VI	1976

鳴海 268 号窯	名古屋市緑区鳴海町		
圈足硯, 風字硯	市 教 委	『徳重南部土地区画整理地内 NN 268 号窯発掘調査及び分布踏査概要報告書』	1978
風字硯	井上光夫	「鳴海 268 号古窯跡」『日本考古学年報』30 1977年度	1979

鳴海窯	名古屋市緑区鳴海町		
硯	井上光夫	「鳴海 275・277・278・279 号窯跡」『日本考古学年報』30 1977年度版	1979

さ なげやま 猿投山西南麓古窯跡群井ヶ谷地区

窯

井ヶ谷67号窯	刈谷市井ヶ谷町西石根2—1		
圈足硯	県 教 委	『愛知県猿投山西南麓古窯址群分布調査報告』I	1980

<b>井ヶ谷78号窯</b>	<b>刈谷市井ヶ谷町石根</b>		
平頭風字硯	榑崎彰一	『猿投窯』『陶器全集』31 平凡社刊	1966
平頭風字硯	内藤政恒	「調度 硯」『新版考古学講座』7 有史文化 下雄山閣刊	1970
平頭風字硯	五島美術館	『日本の陶硯』 黒笹78号窯と記載	1978
平頭風字硯	県 教 委	『愛知県猿投山西南麓古窯址群分布調査報告』I	1980
平頭風字硯	榑崎彰一	「日本古代の陶硯—とくに分類について—」『考古学論考 小林行雄博士古稀記念論文集』	1982

<b>井ヶ谷古窯跡</b>	<b>刈谷市井ヶ谷町</b>		
圈足硯	市誌編纂委	「井ヶ谷古窯跡群」『刈谷市の古窯』『刈谷市誌資料』	1958

さ なげ や ま **猿投山西南麓古窯跡群押草地区** おしくさ **窯**

<b>押草1号窯</b>	<b>愛知郡東郷町大字諸輪</b>		
風字硯	木下 武	「押草第1号窯」『日本考古学年報』24 1971年版	1973

<b>押草5号窯</b>	<b>愛知郡東郷町大字押草</b>		
風字硯	木下 武	「押草第5号窯」『日本考古学年報』25 1972年版	1974

	<b>愛知郡東郷町大字諸輪</b>		
花頭風字硯	五島美術館	『日本の陶硯』	

さ なげ や ま **猿投山西南麓古窯跡群折戸地区** おの と **窯**

<b>折戸24号窯</b>	<b>愛知郡日進町大字浅田字平子</b>		
宝珠硯	榑崎彰一	『猿投窯』『陶器全集』31 平凡社刊	1966

<b>折戸76号窯</b>	<b>愛知郡東郷町大字諸輪</b>		
花頭風字硯 図 28, 宝珠硯	榑崎彰一	「猿投山古窯出土の陶硯」『陶説』83 日本陶磁協会刊	1960
花頭風字硯	榑崎彰一	『猿投窯』『陶器全集』31 平凡社刊	1966
花頭風字硯	石井則孝	「陶硯について—その1—」『史館』創刊号 市川ジャーナル社刊	1973
宝珠?硯	五島美術館	『日本の陶硯』	1978
花頭風字硯	榑崎彰一	「日本古代の陶硯—とくに分類について—」『考古学論考 小林行雄博士古稀記念論文集』 平凡社刊	1982

<b>折戸80号窯</b>	<b>愛知郡日進町大字米野木字南山</b>		
宝珠硯	五島美術館	『日本の陶硯』	1978

猿投山西南麓古窯跡群黒笹地区

窯

<b>黒笹3号窯</b>		西加茂郡三好町大字福谷字根浦	
圈足硯, 宝珠硯	榑崎彰一	『愛知県猿投山西南麓古窯址群』 県教委刊 函37	1956
宝珠硯	本多静雄	『愛知県猿投山西南麓古窯址群』 日本陶磁協会刊	1957
宝珠硯	榑崎彰一	『猿投窯』『陶器全集』31 平凡社刊	1966
宝珠硯	石井則孝	「陶硯について—その1—」『史館』創刊号	1973
宝珠硯	五島美術館	『日本の陶硯』	1978
宝珠硯	榑崎彰一	「日本古代の陶硯—とくに分類について—」『考古学論考 小林行雄博士古稀記念論文集』 平凡社刊	1982
<b>黒笹4号窯</b>		西加茂郡三好町大字福谷字根浦	
鳥形硯	榑崎彰一	『猿投窯』『陶器全集』31 平凡社刊	1966
風字硯, 宝珠硯	五島美術館	『日本の陶硯』	1978
宝珠硯	榑崎彰一	「日本古代の陶硯—とくに分類について—」『考古学論考 小林行雄博士古稀記念論文集』 平凡社刊	1982
<b>黒笹7号窯</b>		愛知郡東郷町大字諸輪字百々51—271	
圈足硯, 花頭風字硯, 八花硯	榑崎彰一	『愛知県猿投山西南麓古窯址群』 県教委刊	1956
圈足硯, 花頭風字硯, 八花硯	本多静雄	『愛知県猿投山西南麓古窯址群』 日本陶磁協会刊	1957
花頭風字硯	榑崎彰一	『猿投窯』『陶器全集』31 平凡社刊	1966
圈足硯, 花頭風字硯	五島美術館	『日本の陶硯』	
八花硯	石井則孝	「陶硯について—その1—」『史館』創刊号	1973
圈足硯, 花頭風字硯	榑崎彰一	「日本古代の陶硯—とくに分類について—」『考古学論考 小林行雄博士古稀記念論文集』 平凡社刊	1982
<b>黒笹8号窯</b>		西加茂郡三好町大字福谷字野田兼	
宝珠硯	本多静雄	『愛知県猿投山西南麓古窯址群』 日本陶磁協会刊	1957
宝珠硯	榑崎彰一	『猿投窯』『陶器全集』31 平凡社刊	1966
宝珠硯	五島美術館	『日本の陶硯』	1978
宝珠硯	榑崎彰一	「日本古代の陶硯—とくに分類について—」『考古学論考 小林行雄博士古稀記念論文集』 平凡社刊	1982
<b>黒笹9号窯</b>		愛知郡東郷町大字諸輪字米ヶ廻間35	
平頭風字硯	本多静雄	『愛知県猿投山西南麓古窯址群』 日本陶磁協会刊	1957
花頭風字硯	奈良博	『天平の地宝』 朝日新聞社刊	1961
<b>黒笹10号窯</b>		愛知郡東郷町大字諸輪字畑尻山43	
平頭風字硯	榑崎彰一	「猿投山古窯出土の陶硯」『陶説』83 日本陶磁協会刊	1960

黒笹12号窯 平頭風字硯	西加茂郡三好町大字福谷字根浦 榑崎彰一 「猿投山古窯出土の陶硯」『陶説』83 日本陶磁協会刊 1960
黒笹14号窯 平頭風字硯 平頭風字硯 <sup>図27</sup> 平頭風字硯 平頭風字硯 平頭風字硯	愛知郡東郷町大字諸輪字百々51 榑崎彰一 『愛知県猿投山西南麓古窯址群』 県教委刊 1957 榑崎彰一 「猿投窯出土の陶硯」『陶説』83 日本陶磁協会刊 1960 榑崎彰一 『猿投窯』『陶器全集』31 平凡社刊 1966 五島美術館 『日本の陶硯』 1978 県 教 委 『愛知県猿投山西南麓古窯址群分布調査報告』 1 1980
黒笹24号窯 平頭風字硯	豊田市高崎町兼近 榑崎彰一 「猿投山古窯出土の陶硯」『陶説』83 日本陶磁協会刊 1960
黒笹35号窯 圈足硯 圈足硯 圈足硯	西加茂郡三好町大字蒔生字辰己山 榑崎彰一 「猿投山古窯出土の陶硯」『陶説』83 日本陶磁協会刊 1960 榑崎彰一 『猿投窯』『陶器全集』31 平凡社刊 1966 五島美術館 『日本の陶硯』 1978
黒笹89号窯 風字硯 風字硯 平頭風字硯 風字硯	西加茂郡三好町大字福谷字根浦 榑崎彰一 『愛知県猿投山西南麓古窯址群』 県教委刊 1957 榑崎彰一 「黒笹地区の調査」『愛知県猿投山西南麓古窯址群』 1958 榑崎彰一 「猿投山古窯出土の陶硯」『陶説』83 日本陶磁協会刊 1960 五島美術館 『日本の陶硯』 1978
黒笹90号窯 風字硯	西加茂郡三好町大字福谷字根浦 五島美術館 『日本の陶硯』 1978
黒笹地区 宝珠硯	西加茂郡三好町 内藤政恒 「調度 硯」『新版考古学講座』7 有史文化 下 1970
猿投窯 圈足硯、鳥形硯 蹄脚硯、宝珠硯 円面硯、花頭風字硯、宝珠硯 鳥形硯 <sup>図39</sup>	奈 良 博 『天平の地宝』 朝日新聞社刊 1961 榑崎彰一 『猿投窯』『陶器全集』31 平凡社刊 1966 五島美術館 『日本の陶硯』 1978 榑崎彰一 「日本古代の陶硯—とくに分類について—」『考古学論考 小林行雄博士古稀記念論文集』 平凡社刊 1982

	豊橋市東細谷町	窯	
圈足硯	森田勝三	『渥美半島の須恵器窯』	東海古文化研究所刊 1982
おくやしあ 奥屋敷遺跡	一宮市浅井町尾関字奥屋敷	遺物散布地	
蹄脚硯	岩野見司	『美濃国』施印須恵器について』	『考古学雑誌』52-3 1967
	岩野見司	『尾張平野の古陶展』	毎日新聞社刊 1974
蹄脚硯	岩野見司	「第2章遺跡と出土遺物 第3節浅井町(6)尾関字奥屋敷遺跡」	『新編一宮市史 資料編4』市教委刊 1974
蹄脚硯	岩野見司	「第4章古墳時代、第5章考古学から見た古代」	『新編一宮市史 本文編(上)』一宮市教委刊 1977
蹄脚硯	岩野見司	「一宮市丹陽町三ツ井出土の陶硯」	『丹陽町池之上遺跡発掘調査報告』一宮市文報』4 一宮市教委刊 1979
みついで* 三ツ井遺跡	一宮市丹陽町三ツ井字飛所	遺物散布地	*別称 飛び所遺跡
圈足硯	岩野見司 <sup>ほか</sup>	「第2章遺跡と出土遺物 第5節丹陽町(3)飛所遺跡」	『新編一宮市史 資料編4 古墳時代・古代』市教委刊 1974
硯	岩野見司	「第4章古墳時代、第5章考古学からみた古代」	『新編一宮市史 本文編(上)』一宮市教委刊 1977
圈足硯, 転用硯	岩野見司	「一宮市丹陽町三ツ井出土の陶硯」	『丹陽町池之上遺跡発掘調査報告』一宮市文報』4 一宮市教委刊 1979
ちやうくじ 長福寺廢寺跡	一宮市千秋町加納馬場字長福寺	寺院	
硯	岩野見司	「第4章古墳時代、第5章考古学からみた古代」	『新編一宮市史 本文編(上)』一宮市教委刊 1977
圈足硯	岩野見司	「一宮市丹陽町三ツ井出土の陶硯」	『丹陽町池之上遺跡発掘調査報告』一宮市文報』4 一宮市教委刊 1979
さんまいのみ 三昧南遺跡	一宮市萩原町林野字三昧南	遺物散布地	
蹄脚硯	岩野見司	「一宮市丹陽町三ツ井出土の陶硯」	『丹陽町池之上遺跡発掘調査報告』一宮市文報』4 1979
ひやくたいじ 百代寺窯	瀬戸市大字山口字広久手1番地	窯	
猿面硯	宮石宗弘	「百代寺古窯」	『瀬戸市の古窯』瀬戸市教委刊 1967
猿面硯	榑崎彰一	「猿面硯について」	『MUSEUM』341 東京国立博刊 1979
猿面硯	石井則孝	「日本古代文房具史の一面—陶硯について—」	『古代探叢 滝口宏先生古稀記念考古学論集』早大出版部刊 1980
猿面硯	榑崎彰一	「日本古代の陶硯—とくに分類について—」	『考古学論考 小林行雄博士古稀記念論文集』平凡社刊 1982
ほそくらのみ 細倉東窯	瀬戸市五井塚町	窯	
長方硯	赤塚幹也 <sup>ほか</sup>	『瀬戸市史 陶磁史篇I』	瀬戸市役所刊 1969

長方硯	五島美術館	『日本の陶硯』	1978
長方硯	榑崎彰一	「日本古代の陶硯—とくに分類について—」『考古学論考 小林行雄博士古稀記念論文集』 平凡社刊	1982
とこなめ 常滑窯 半田池古窯	半田市奥町～常滑市	窯	
長方硯	五島美術館	『日本の陶硯』	1978
ひほらやま 検原山古窯	常滑市検原字神水		
長方硯	五島美術館	『日本の陶硯』	1978
かちがひ 勝川遺跡	春日井市長塚町苗田	水田／勝川廃寺関連	
圈足硯, 風字硯		『朝日新聞』1982年12月17日掲載	1982
こうぞうじ 高蔵寺窯跡	春日井市高蔵寺町白山	窯	
高蔵寺2号窯			
圈足硯, 蹄脚硯	榑崎彰一	「高蔵寺古窯址群の調査」『愛知県猿投山西南麓古窯址群』 県教委刊	1959
圈足硯, 蹄脚硯	榑崎彰一	「猿投山古窯出土の陶硯」『陶説』83 日本陶磁協会刊	1960
蹄脚硯	五島美術館	『日本の陶硯』	1978
圈足硯, 蹄脚硯	榑崎彰一	「日本古代の陶硯—とくに分類について—」『考古学論考 小林行雄博士古稀記念論文集』 平凡社刊	1982
みかわこくふに じ 三河国分尼寺	豊川市八幡町忍池	寺院	
円面硯	稲垣晋也	『史跡三河国分尼寺跡発掘調査図集』 県教委刊	1968
しんめい 神明古窯	豊田市鷺鴨町神明10番地	窯	
円面硯	七原恵司	「発掘と調査 愛知県」『日本考古学年報』32 1979年度版 日考協刊	1982
あかさか 赤坂第1号窯	犬山市大字羽黒字壺ヶ洞23-1	窯	
風字硯	立松 宏 <sup>ほか</sup>	『桃花台ニュータウン遺跡調査報告』 小牧市教委刊	1976
風字硯	宮川芳照	「赤坂第1号窯」『日本考古学年報』21・22・23	1981
かみの 上野遺跡	犬山市上野町字大門外	遺物散布地	
圈足硯	岩野見司 <sup>ほか</sup>	「尾張国犬山市上野町出土の円面硯」『いちのみや考古』11 いちのみや考古学会刊	1967

しのおか

篠岡古窯跡

窯

篠岡2号窯 圈足硯	小牧市大字上末 大参義一 <sup>はか</sup> 『篠岡第2・44号窯』『東名高速道路関係埋蔵文化財報告』 県教委刊	1967
篠岡47号窯 亀形硯蓋	小牧市大字大草 五島美術館 『日本の陶硯』	1978
篠岡52号窯 平頭？風字硯	小牧市大字池之内 立松 宏 <sup>はか</sup> 『桃花台ニュータウン遺跡調査報告』 小牧市教委刊	1976
篠岡56号窯 圈足硯，風字硯 圈足硯，風字硯 風字硯	小牧市大字池之内字高畑 立松 宏 『篠岡56号窯』『日本考古学年報』24 1971年版 立松 宏 <sup>はか</sup> 『桃花台ニュータウン遺跡調査報告』 小牧市教委刊 五島美術館 『日本の陶硯』	1973 1976 1978
篠岡57号窯 円面硯	小牧市大字池之内字高畑2961 木田文夫 『篠岡第57号窯遺跡』『日本考古学年報』25 1972年版	1974
篠岡66号窯 圈足硯，獸脚硯， 宝珠硯 獸脚硯，獸形硯 蓋 獸脚硯	小牧市大字大草 立松 宏 <sup>はか</sup> 『桃花台ニュータウン遺跡調査報告』 小牧市教委刊 五島美術館 『日本の陶硯』 榑崎彰一 『日本古代の陶硯—とくに分類について—』『考古学論考 小林行雄博士古稀記念論文集』 平凡社刊	1976 1982
篠岡66号窯* 鳥形硯，宝珠硯	小牧市大字大草？ 榑崎彰一 『日本古代の陶硯—とくに分類について—』『考古学論考 小林行雄博士古稀記念論文集』 平凡社刊	*別称 尾北窯 1982
篠岡78号窯 圈足硯	小牧市大字大草字高根5589番地 中嶋 隆 『桃花台ニュータウン遺跡調査報告Ⅱ—小牧市篠岡古窯址群—』 小牧市教委刊	1979
篠岡81号窯 蹄脚硯，獸脚硯	小牧市大字大草字高根5589番地の798 市教委 <sup>はか</sup> 『桃花台ニュータウン遺跡調査報告Ⅳ—小牧市篠岡古窯址群—』 小牧市教委刊	1982

おわりかみすえ  
尾張上末窯跡  
風字硯

小牧市

内藤政恒 『本邦古硯考』 養徳社刊

1944

おつちくま  
尾張国府跡

風字硯

稲沢市松下町～国府宮町～稲島町 国府

稲沢市教委 『尾張国府跡発掘調査報告書』Ⅰ『稲沢市文報』Ⅳ 1979

圈足硯，平頭風  
字硯，二面風字  
硯，獸形硯蓋

稲沢市教委 『尾張国府跡発掘調査報告書』Ⅱ『稲沢市文報』Ⅸ 1980

圈足硯，二面風  
字硯

稲沢市教委 『尾張国府跡発掘調査報告書』Ⅲ『稲沢市文報』Ⅺ 1981

圈足硯，風字硯

稲沢市教委 『尾張国府跡緊急発掘報告書』『稲沢市文報』Ⅻ 1981

圈足硯，風字硯，  
猿面硯，長方硯  
灰釉，転用硯

稲沢市教委 『尾張国府跡発掘調査報告書』Ⅳ『稲沢市文報』ⅩⅤ 1982

圈足硯

稲沢市重本町 遺物散布地  
岩野見司<sup>はか</sup> 『稲沢市の史蹟と文化財』 稲沢市教委刊

1970

圈足硯

岩野見司 『尾張平野の古陶展』 毎日新聞社刊 1974

風字硯

稲沢市長野町 遺物散布地  
岩野見司 『尾張平野の古陶展』 毎日新聞社刊 1974

宝珠硯

稲沢市大矢町 遺物散布地  
岩野見司 『尾張平野の古陶展』 毎日新聞社刊 1974

風字硯

稲沢市堀之内町琵琶戸 遺物散布地  
稲垣泰憲 『稲沢市堀之内町出土の風字硯』『いちのみや考古』15 1968  
いちのみや考古学会刊

かわらば  
瓦場遺跡

双脚楕円硯

渥美郡渥美町大字伊良湖字瓦場 窯  
県教委 『瓦場遺跡群』 1967

おつみ  
渥美窯

長方硯

窯  
檜崎彰一 『日本古代の陶硯—とくに分類について—』『考古学論  
考 小林行雄博士古稀記念論文集』 平凡社刊 1982



## 三重県

### 岡山古窯址群

#### 第1号窯

圈足硯，低圈足硯

四日市市上海老町字東岡

窯

市教委 「岡山古窯址群第1号窯」『四日市市埋文報』1

1966

圈足硯

五島美術館 『日本の陶硯』

1978

圈足硯

三重の考古遺物編集委 『図録 三重の考古遺物』 三重県良書出版会刊

1981

#### 第2号窯

四日市市上海老町字東岡

圈足硯，圈足円形硯 図9

四日市市教委 「岡山古窯址群発掘調査報告」『四日市市埋文報』5

1971

圈足硯

石井則孝 「陶硯について—その1—」『史館』創刊号 市川ジャーナル社刊

1973

圈足硯

五島美術館 『日本の陶硯』

1978

圈足円形硯

榎崎彰一 「日本古代の陶硯—とくに分類について—」『考古学論考 小林行雄博士古稀記念論文集』 平凡社刊

1982

### 鳩浦窯址

圈足硯

四日市市大矢知町鳩浦

窯

岩野見司 「四日市の考古遺跡」『四日市市史』 四日市市刊

1961

### 西ヶ広遺跡

圈足硯，無脚硯 図8

四日市市伊坂町字松山

官衙／集落

県教委ほか 「西ヶ広遺跡」『東名阪道路埋蔵文化財調査報告』県埋文報』5

1970

### 西金井遺跡

圈足硯

桑名市大字西金井字高添

集落／桑名郡衙推定地

岩野見司 「西金井考古遺跡」『桑名市史 補篇』桑名市教委刊

1950

### 北堀池遺跡

圈足硯，転用硯

上野市大内字北堀池ほか

集落

県教委 『北堀池遺跡発掘調査概要』Ⅲ

1980

### 波岸台遺跡

圈足硯

上野市猪田字波岸台

集落 官衙の性格？

県教委 「上野市猪田波岸台遺跡」『昭和48年度県営圃場整備事業地域埋蔵文化財発掘調査報告』県埋文報』24

1979

### 唐木谷遺跡

転用硯

上野市猪田字唐木谷

集落 官衙の性格？

上野市遺跡調査会 『唐木谷遺跡発掘調査報告—三重県上野市猪田唐木谷所在—』『上野市文報』7

1979

はすいけだい 蓮池代遺跡	上野市蓮池字蓮池台	集落	
圈足硯	県教委	『蓮池代遺跡』	『県埋蔵文化財年報』12 1982
にしとかやま 西高山C遺跡	鈴鹿市郡山町字西高山	集落 郡衙に関連	
円面硯	県教委	『郡山遺跡』	『県埋蔵文化財年報6—昭和50年度—』 1976
獣脚硯	鈴鹿市教委	『西高山遺跡発掘調査概要』	1976
獣脚硯	鈴鹿市教委	『郡山遺跡—現地説明会資料—』	1977
獣脚硯	五島美術館	『日本の陶硯』	1978
獣脚硯	三重の考古遺物編集委	『図録 三重の考古遺物』	三重県良書出版会刊 1981
すえの 末野C遺跡	鈴鹿市郡山町字末野	集落 郡衙に関連	
圈足硯	鈴鹿市遺跡調査会	『末野C遺跡発掘調査概報』	『概要報告』8 1979
いのうひがし 稲生東遺跡	鈴鹿市稲生町字中村	集落 伊勢国菟芸郡塩屋郷関係	
圈足硯	鈴鹿市教委	『稲生東遺跡発掘調査報告』	『鈴鹿市埋文報』V 1975
さかいに 境谷遺跡	鈴鹿市国分町境谷	遺物包含地	
陶?硯	県教委	『三重県埋蔵文化財包蔵地一覧表』	2 1972
あかめだん 赤目檀遺跡	名張市赤目町檀字前垣内	集落	
圈足硯	名張市遺跡調査会	『赤目檀遺跡現地説明会資料』	1981
圈足硯	水口昌也	『考古ニュース 大垣内古墳で硯片発見』	『考古学ジャーナル』194 ニュー・サイエンス社刊 1981
圈足硯	県教委	『赤目檀遺跡』	『県文化財年報』12 1982
こうのす 鴻ノ巣遺跡	名張市夏見字男山	集落/豪族居宅/官衙	
圈足硯	名張市遺跡調査会	『鴻ノ巣遺跡現地説明会資料』	1982
圈足硯	県教委	『鴻ノ巣遺跡』	『県埋蔵文化財年報』13 1983
たも 田茂遺跡	龜山市田茂町	遺物包含地	
圈足硯	三重大学歴史研究会 <sup>ほか</sup>	『田茂遺跡調査概要』	1978
圈足硯	三重の考古遺物編集委	『図録 三重の考古遺物』	三重県良書出版会刊 1981

あらの 新野遺跡	員弁郡東員町大字中上字新野	集落	
圈足硯	県教委 「新野遺跡」『三重県埋蔵文化財包蔵地一覧表』 2		1972
圈足硯	小玉道明 「西山遺跡・新野遺跡」 東員町教委刊		1976
じょうど しみなみ 浄土寺南遺跡	安芸郡安濃町大字浄土寺字立町	集落	
圈足硯	県教委 「浄土寺南遺跡」『県埋蔵文化財年報』 11		1981
ほつた 堀田遺跡	一志郡嬉野町大字天花寺字堀田	集落	
円面硯	県教委 「堀田遺跡」『県埋蔵文化財年報』 9 昭和53年度		1979
圈足硯	三重の考古 『図録 三重の考古遺物』 三重県良書出版会刊 遺物編集委		1981
てんけいじ 天花寺廃寺	一志郡嬉野町大字天花寺字堀田	寺院	
圈足硯	県教委 「天花寺廃寺」『昭和54年度県営圃場整備事業地域埋蔵 文化財発掘調査報告』『県埋文報』 43		1980
ひらお 平生遺跡	一志郡嬉野町大字平生字のばこほか	掘立柱建物群	
圈足硯	平生遺跡発掘調査団 「平生遺跡発掘調査報告」『嬉野町埋文報』 1		1976
ひがしうら 東浦遺跡	多気郡多気町大字河田字高木	集落	
平頭風字硯 緑 釉	五島美術館 「日本の陶硯」		1978
圈足硯、風字硯 緑釉	県教委 「東裏遺跡」『県埋蔵文化財年報』 9		1979
さいくう 斎宮跡	多気郡明和町大字斎宮～竹川	斎王宮	
圈足硯、蹄脚硯、 風字硯	県教委 「古里遺跡 斎王宮址」		1974
圈足硯、風字硯	県教委 「斎王宮跡発掘調査報告」 I 『県埋文報』 21		1974
円面硯、風字硯	谷本鋭次 「斎王宮跡遺跡」『日本考古学年報』 27 1974年版		1976
圈足硯、風字硯	県教委 「斎王宮跡一範囲確認調査概要一」		1976
圈足硯、風字硯 瓦器	県教委 「斎王宮跡発掘調査報告」 IV 『県埋文報』 33		1977
圈足硯、蹄脚硯、 風字硯	谷本鋭次 「三重県斎王宮跡」『日本考古学年報』 28 1975年版		1977
	県教委 「斎王宮跡資料 発掘調査・文献資料」 陶硯集成		1978
圈足硯、風字硯 緑釉	五島美術館 「日本の陶硯」		1978
円面硯	県教委 「斎王宮跡19次調査」『県埋蔵文化財年報』 9		1979

圈足硯, 平頭風字硯 灰釉	県教委	『昭和53年度齋王宮跡発掘調査概報』I	19・20次	1979
圈足硯, 風字硯 灰釉, 転用硯	県齋宮跡調査事務所 <sup>はか</sup>	「23次調査」『史跡齋宮跡一発掘調査概報一』	『県齋宮跡調査事務所年報』1979	23・28・29次 1980
圈足硯, 風字硯 瓦器	県齋宮跡調査事務所 <sup>はか</sup>	『史跡齋宮跡一発掘調査概報一』	『県齋宮跡調査事務所年報』1980	1981

ふるさと

古里遺跡	多気郡明和町大字竹川字古里～中垣内	齋王宮の一部		
蹄脚硯	県教委	『古里遺跡発掘調査概報』		1972
圈足硯	県教委	『古里遺跡発掘調査報告一C地区一』	『県埋文報』17	1973
圈足硯	県教委	『古里遺跡齋王宮跡』	C地区	1973
圈足硯, 蹄脚硯	県教委	『古里遺跡発掘調査報告一D地区一』	『県埋文報』22	1974
圈足硯, 蹄脚硯	県教委	『古里遺跡齋王宮跡』	D地区	1974
圈足硯, 蹄脚硯	五島美術館	『日本の陶硯』		1978

滋賀県

きぬがわ

きぬがわ

衣川遺跡・衣川廃寺	大津市衣川二丁目	集落・寺院		
圈足硯	県教委	『史跡近江国衙跡発掘調査報告』	『県文報』6	1977

えりのやくじ

延暦寺大講堂跡	大津市坂本本町4220番地	寺院		
転用硯	内藤政恒	「須恵器利用の硯について」	『考古学雑誌』50-1	1964

からさき

唐崎遺跡	大津市唐崎三丁目	未詳		
円面硯	大津市教委	「考古ニュース 官衙跡とみられる穴太遺跡」	『考古学ジャーナル』209	1982
		ニュー・サイエンス社刊		

あのう

穴太遺跡	大津市下阪本二丁目	集落／官衙		
陶硯	未報告	大津市教委教示		

ほんのき はら

榎木原遺跡	大津市南滋賀一丁目	窯		
圈足硯	県教委	『榎木原遺跡発掘調査報告Ⅲ 南滋賀廃寺瓦窯』		1981

すうふくじ

崇福寺跡	大津市滋賀里町字大形甲～ミクロ堂甲	寺院		
圈足硯, 円頭風字硯, 平頭風字硯	柴田 実	『大津京趾(下)崇福寺趾』	『滋賀県史蹟調査報告』10	1941
		滋賀県刊		

円頭風字硯, 平頭風字硯	内藤政垣	『本邦古硯考』養徳社刊	1944
円頭風字硯	近江美術大観刊行会	『大津京趾 その関係遺跡と出土品』『近江古美術大観考古篇』I 山本湖舟写真工芸部刊	1960
圈足硯, 平頭風字硯, 円頭風字硯	五島美術館	『日本の陶硯』	1978
<b>湖西線建設地発掘調査区</b> 大津市南滋賀町 大津京関連			
圈足硯, 転用硯	県教委	『湖西線関係遺跡調査報告書 本文篇・図版編』湖西線関係遺跡発掘調査団 <sup>はか</sup> 刊	1973
<b>近江国府跡</b> 大津市瀬田神領町～瀬田大江町 近江国府・国衙			
硯	松浦俊和	「菅池遺跡」『日本考古学年報』27 1974年版 国府北東隅	1976
圈足硯, 転用硯	県教委	『史跡近江国衙跡発掘調査報告』『泉文報』6	1977
<b>堂ノ上遺跡</b> 大津市瀬田神領町上ノ畑 瀬田駅家／国司館			
転用硯	県教委	「大津市瀬田堂ノ上遺跡報告Ⅱ」『昭和50年度滋賀県文化財調査年報』	1977
<b>南方東遺跡</b> 長浜市神照町 遺物散布地			
圈足硯	県教委	『国道8号線長浜バイパス関連遺跡調査報告書』	1971
<b>川崎遺跡</b> 長浜市口分田町字南長屋 官衙?／集落／遺物包含地			
円面硯	宮成良佐	「川崎遺跡(口分田町字南長屋地区)」『日本考古学年報』30 1977年度版	1979
圈足硯	長浜市教委	『高田遺跡(長浜電報電話局敷地内所在)調査報告書』	1980
<b>岡田追分遺跡</b> 草津市追分町 集落／岡田駅家			
円面硯	県教委	「草津市追分 岡田追分遺跡調査報告」『昭和50年度滋賀県文化財調査報告年報』	1977
<b>赤野井遺跡</b> 守山市赤野井町 集落／官衙?			
転用硯	県教委	「守山市赤野井遺跡」『昭和51年度滋賀県文化財調査年報』	1978
<b>服部遺跡</b> 守山市服部町 服部郷の官衙／集落			
硯	県・市教委	『服部遺跡発掘調査概報』 県文化財保護協会刊	1979

ようの 丁野遺跡 蹄脚硯	東浅井郡湖北町大字丁野 製鉄 県 教 委 『北陸自動車道関連遺跡発掘調査報告書』Ⅱ	1976
いのくち 井口遺跡 硯	伊香郡高月町大字井口 集落／寺院 田中勝弘 「井口遺跡」『日本考古学年報』29 1976年度版	1978
ひろかわ 弘川遺跡 硯 風字硯	高島郡今津町大字弘川字宮の西～中野 郷倉／集落 田中勝弘 「弘川遺跡」『日本考古学年報』29 1976年度版 県 教 委 『弘川遺跡発掘調査報告書 古代郷倉跡』	1978 1979
かも 鴨遺跡 硯	高島郡高島町大字鴨 官衙 県 教 委 『鴨遺跡』『高島町歴史民俗叢書』2 高島町教委刊	1980
みその 美園遺跡 圈足硯	高島郡新旭町大字饗庭字美園 官衙／豪族居宅 県 教 委 『美園遺跡発掘調査報告 古代地方官衙跡』	1975
ほりかわ 堀川遺跡 圈足硯	高島郡新旭町旭 集落／荘家／郡衙？ 県 教 委 『高島郡新旭町堀川遺跡調査報告』『県文報』5	1975
<b>京 都 府</b>		
きたの 北野廃寺 転用硯	京都市北区北野上白梅町～北野下白梅町 寺院 坂東善平 「京都市内発見の陶製硯資料」『古代学研究』37	1964
きたのこうばい 北野紅梅町 転用硯	京都市北区北野紅梅町 遺物包含地 坂東善平 「京都市内発見の陶製硯資料」『古代学研究』37	1964
どうししゃはしないとよかんけんせつよていち 同志社女子大図書館建設予定地 硯 瓦質	京都市上京区玄武町 602-1 公家屋敷/土墳墓/遺物包含層 鈴木重治 「同志社女子大学図書館建設予定地発掘調査概要」『同志社大学校地学術調査委員会調査資料』8 同志社大学校地学術調査委員会刊	1976
へいあんきゆう 平安宮跡 風字硯	京都市上京区～左京区～中京区 平安宮 柴田 実 『大津京跡(下)崇福寺跡』『滋賀県史蹟調査報告』10	1941

風字硯	内藤政恒	『本邦古硯考』 養徳社刊	1944
圈足硯	坂東善平	「京都市内発見の陶製硯資料」『古代学研究』37 内裏跡付近・推定式部省跡 古代学研究会刊	1964
陶硯	府 教 委	「平安宮殿跡発掘調査概要」『埋蔵文化財発掘調査概報』	1964
圈足硯	坂東善平	「平安宮民部省推定地出土の軒丸瓦と陶質円面硯」『古代文化』17-1 古代学協会刊	1966
圈足硯	五島美術館	『日本の陶硯』 朝堂院跡	1978
風字硯 灰釉, 蹄脚硯	市埋文研	『平安京跡発掘資料選』 中務省・陰陽寮跡 京都市考古資料館刊	1980
蹄脚硯, 二面円頭風字硯		『京都市史 考古篇』 中務省跡・造酒司跡	1983
転用硯		未報告 京都市考古資料館に展示、左兵衛府跡出土	

平安京

平安京

左京二条二坊	京都市中京区猪熊丸太町南入仲之町～油小路西入ル		
圈足硯	坂東善平	「京都市内発見の陶製硯資料」『古代学研究』37 古代学研究会刊 待賢小学校前	1964
猿面硯	京都市埋文研究所	「左京二条二坊(2)高陽院跡」『平安京跡発掘調査概報 昭和56年度』 高陽院跡	1982

左京二条四坊*	京都市中京区富小路通夷川上ル大炊町	* 別称 おおい	大炊町遺跡
風字硯	『京都市史 考古篇』 京都市刊		1983

左京三条四坊*	京都市中京区御池通富小路西入ル東八幡町	* 別称 おいけちゅうがわかつこうない	御池中学校内遺跡
二面平頭風字硯	『京都市史 考古篇』 京都市考古資料館に展示		1983

左京四条一坊	京都市中京区壬生坊城町48-3番地～壬生馬場町35番地		
風字硯 黒色土器, 長方硯, 転用硯	平安京調査会	『平安京跡発掘調査報告 左京四条一坊』	1975

左京四条三坊	京都市中京区烏丸通四条上ル		
圈足?硯 緑釉, 風字硯, 猿面硯	平安博物館	『現地説明会資料 三井ビル新築敷地発掘調査の概要』	1982

左京五条三坊	京都市下京区烏丸通綾小路下ル～五条上ル		
圈足硯, 猿面硯	市高速鉄道烏丸線内遺跡調査会	「トレンチによる発掘調査 No.46・No.51」『京都市高速鉄道烏丸線内遺跡調査年報Ⅱ 1976年度』	1981
風字硯	平安京調査本部	『平安京跡研究調査報告5 平安京左京五条三坊十五町』 古代学協会刊	1981
猿面硯		『京都市史 考古篇』 京都市刊 二帖半敷町遺跡	1983

左京六条三坊 <sup>*</sup> 圈足硯	京都市下京区烏丸通五条上ル悪王寺町 『京都市史 考古篇』 京都市刊	<sup>*</sup> 別称 <sup>あくおうじ</sup> 悪王寺遺跡	1983
左京八条三坊 圈足硯, 転用硯	京都市下京区塩小路通新町東入ル東塩小路町 579—10 京都市埋文 『平安京左京八条三坊』京都市埋藏文化財研究所調査 研究所 報告』 6		1982
<sup>うきよう</sup> 右京一条三坊 圈足硯, 双脚円形硯, 風字硯, 二面風字硯 圈足硯	京都市北区大將軍坂田町～中京区西ノ京南大炊御門町～右京区花園馬代町 府 教 委 「平安京跡(右京一条三坊九・十町)昭和55年度発掘 調査概要」『埋藏文化財発掘調査概報(1981—1)』		1981
右京二条二坊 硯, 圈足硯	京都市中京区西ノ京南両町～西ノ京中御門東町 京都市埋文 「右京二条二坊(2)・(3)」『平安京跡発掘調査概報 研究所 昭和56年度』 京都市文化観光局刊		1982
右京九条二坊 円頭風字硯 黒色土器 円頭風字硯	京都市南区唐橋大宮尻町 市埋文研 『平安京跡発掘資料選』 京都市考古資料館刊	<sup>*</sup> 別称 <sup>らくようとうぎようこうとうない</sup> 洛陽工業高校内遺跡	1980
	『京都市史 考古篇』 京都市刊		1983
<sup>みなしゆ</sup> 南主税町 圈足硯, 蹄脚硯	京都市上京区浄福寺通竹屋町 坂東善平 「京都市内発見の陶製硯資料」『古代学研究』 37	太政官?	1964
<sup>しんせんえん</sup> 神泉苑遺跡 転用硯	京都市中京区押小路通新町西入ル 坂東善平 「京都市内発見の陶製硯資料」『古代学研究』 37		1964
<sup>もとやま</sup> 本山遺跡 風字硯	京都市中京区丸太町西大路付近 伝承 坂東善平 「京都市内発見の陶製硯資料」『古代学研究』 37		1964
<sup>にしいち</sup> 西市跡 風字硯, 転用硯	京都市下京区西七条西野町 未報告 京都市考古資料館に展示	市	
<sup>くるすの</sup> 栗栖野瓦窯 風字硯	京都市左京区岩倉幡枝町 坂東善平 「洛北の史料」『古代文化』 12—4 古代学協会刊	窯	1964



くらま であら 鞍馬寺	京都市左京区鞍馬本町	寺院	
長方硯	柴田 実	『大津京趾(下)崇福寺趾』	滋賀県史蹟調査報告』10 1941
長方硯	内藤政恒	『本邦古硯考』	養徳社刊 1944
さいじ 西寺跡	京都市南区唐橋西寺町40番地	寺院	
圈足硯	市文化財保 護課	「史跡西寺跡発掘調査報告」	京都市埋蔵文化財年次報 告』1972 1973
猿面硯	五島美術館	『日本の陶硯』	1978
猿面硯 図26	栢崎彰一	「猿面硯について」	『MUSEUM』341 東京国立博刊 1979
猿面硯	石井則孝	「日本古代文房具史の一面—陶硯について—」	『古代探 叢—滝口宏先生古稀記念考古学論集—』 早稲田大 学出版会刊 1980
とうじ 東寺	京都市南区九条町	寺院	
圈足硯	教王護国寺	『教王護国寺防災施設工事・発掘調査報告書』	1981
にし の やま 西野山古墓	京都市山科区西野山岩ヶ谷町	古墓 土墳墓	
平頭風字硯 黒 色土器	梅原末治	「山科村西野山ノ墳墓ト其ノ発見ノ遺物」	『京都府史蹟 勝地調査会報告』2 京都府刊 1920
平頭風字硯 黒 色土器	帝室博物館	『天平地宝』	1937
平頭風字硯 黒 色土器	内藤政恒	「本邦古硯雑考」	『考古学』10—6 東京考古学会刊 1939
平頭風字硯 黒 色土器	内藤政恒	『本邦古硯考』	養徳社刊 1944
平頭風字硯 黒 色土器	京大文学部	『考古学資料目録』2	1968
平頭風字硯 黒 色土器	内藤政恒	「調度 硯」	『新版考古学講座』7 有史文化 下 1970
おしおちよう 小塩町窯跡群	京都市西京区大原野小塩町	窯	
風字硯	大矢義明 <sup>は、</sup>	『京都市内遺跡試掘、立会調査概報』	昭和56年度』 京都市文化観光局刊 No.21号窯 1982
風字硯		『京都市史 考古篇』	京都市刊 1983
あお の なみ 青野南遺跡	綾部市青野町	丹波国何鹿郡衙	
円面硯	未報告	府教委教示	
あやなほ 綾中遺跡・綾中廃寺	綾中市綾中町	集落・寺院	
転用硯	綾部市教委	『綾部市文報』8	1981
圈足硯	綾部市教委	『綾部市文報』9	1982

ほやあが 隼上り窯跡	宇治市菟道東隼上り	窯	
圈足硯, 無脚硯, 提瓶形硯, 杯皿 形硯	宇治市教委 『隼上り瓦窯跡(現地説明会資料)』	市教委教示	1982
ゆかの 中野遺跡	宮津市宇中野	国分尼寺?	
風字硯, 転用硯	宮津市教委 『中野遺跡第二次発掘調査概要』	『宮津市文報』3 国分尼寺推定地	1981
しの 篠窯跡群		窯	
なべくら 鍋倉第4窯跡	亀岡市篠町篠小字西長尾		
圈足硯	府教委	「篠窯跡群昭和55年度発掘調査概要」	『埋蔵文化財発掘調査概報1981-2』 1号窯 1981
くろいし 黒岩CM14地区	亀岡市篠町篠小字黒岩		
圈足硯	府文化財保護課	「国道9号バイパス関連遺跡昭和52年度発掘調査概要」	『埋蔵文化財発掘調査概報1978』 1978
こやなぎ 小柳窯跡	亀岡市篠町篠小字小柳		
円面硯, 二面平 頭風字硯	府教委	「篠窯跡群昭和54年度発掘調査概要」	『埋蔵文化財発掘調査概報1980-1』 1980
圈足硯, 風字硯	府教委	「篠窯跡群昭和55年度発掘調査概要」	『埋蔵文化財発掘調査概報1981-2』 1981
まえやま 前山窯跡	亀岡市篠町森小字前山		
圈足硯	府文化財保護課	「国道9号バイパス関係遺跡昭和52年度発掘調査概要」	『埋蔵文化財発掘調査概報1978』 1号窯 1978
風字硯, 二面平 頭風字硯	府教委	「篠窯跡群昭和55年度発掘調査概要」	『埋蔵文化財発掘調査概報1981-2』 2・3号窯 1981
にしながお 西長尾窯跡	亀岡市篠町篠小字西長尾		
硯	府埋文センター	『篠窯跡群・西長尾窯跡(国道9号バイパス関連遺跡)』	『府埋文センター現地説明会資料81-03』 3号窯 1981
円面硯, 二面風 字硯	石井清司	「篠・西長尾窯跡発掘調査概要」	『京都府埋蔵文化財情報』2 1号窯 府埋文センター刊 1981
圈足硯, 獣脚硯	石井清司	「亀岡市篠・石原畑窯跡の調査」	『第11回研修会資料』1号窯 府埋文センター刊 1982
いしはらばた 石原畑窯	亀岡市篠町王子石原畑		
円面硯	石井清司	「亀岡市篠・石原畑窯跡の調査」	『第11回研修会資料』1号窯 府埋文センター刊 1982

しょうどう

正道遺跡

城陽市大字寺田小字正道

山城国久世郡衙

圈足硯	城陽市教委	「正道遺跡発掘調査概報」『城陽市埋文報』1 (1973)	1973
圈足硯	城陽市教委	「久津川遺跡群発掘調査概報 正道遺跡」『城陽市埋文報』7 (1978)	1978
転用硯	城陽市教委	「久世廃寺他発掘調査概報 正道遺跡」『城陽市埋文報』1979 8 (1979)	1979
圈足硯	城陽市教委	「久津川遺跡群発掘調査概報 正道遺跡」『城陽市埋文報』11 (1982)	1982

くせ

久世廃寺

城陽市大字久世小字芝ヶ原 142・143

寺院

圈足硯, 蹄脚硯, 転用硯	城陽市教委	「久津川遺跡群発掘調査概報 久世廃寺」『城陽市埋文報』10	1981
四脚楯円硯	城陽市教委	「久津川遺跡群発掘調査概報 久世廃寺」『城陽市埋文報』11 (1982)	1982

ながおかみやう

長岡宮跡

向日市森本町～鷄冠井町～寺戸町～上植野町～向日町 長岡宮

圈足硯	府教委	「長岡宮跡昭和44年度発掘調査概要」『埋蔵文化財発掘調査概報』1970	1970
長方硯	向日市教委	「向日市森本町山開発掘調査概報 (N7B)」『長岡京跡 向日市寺戸町東野辺・森本町山開発掘調査概報』	1973
圈足硯, 転用硯	府文化財保護課	「長岡宮跡昭和50年度発掘調査概要」『埋蔵文化財発掘調査概報』1976	1976
圈足硯	石尾政信	「長岡宮跡 第75次調査」『長岡京』6 長岡宮跡発掘調査団刊	1978
圈足硯, 転用硯	向日市教委	「長岡宮跡第75次 (7AN14H-Ⅱ地区) 発掘調査報告」『長岡宮跡第78次 (7AN11A-Ⅱ地区) 発掘調査報告』『向日市埋文報』4	1978
圈足硯, 蹄脚硯	長岡京跡発掘調査研究所 <sup>ほか</sup>	「長岡宮跡第68次 (7AN10B地区) 発掘調査報告」『向日市埋文報』3 向日市教委 <sup>ほか</sup> 刊	1979
転用硯	向日市教委	「長岡宮跡第82次 (7AN18A地区) 発掘調査概要」「長岡宮跡第87次 (7AN3A地区) 発掘調査概要」『向日市埋文報』5	1979
圈足硯	府教委	「下津林遺跡 <sup>ほか</sup> 発掘調査略報 長岡宮跡第99次 (7AN10F)」『埋蔵文化財発掘調査概報』1981-2	1981
圈足硯	向日市教委	「長岡宮跡第99次 (7AN10F地区)～築地外郭施設～発掘調査概要」「長岡宮跡立合調査概要 (宮内8019次 7ANEOK地区)」『向日市埋文報』7	1981
風字硯	浪貝 毅	「長岡京跡丁地区 (朝堂院南部)」『日本考古学年報』21・22・23 1968・1969・1970年度版	1981
宝珠硯	向日市教委	「長岡宮跡第111次 (7AN11D地区)～北辺官衙～発掘調査概要」『向日市埋文報』8	1982

ながおかみやう

長岡京跡

長岡京

左京一条二坊

向日市鷄冠井町十相5の1

風字硯	戸原和人	「長岡京跡左京14次調査 7ANEJS地区」『長岡京』9・10 六町 長岡京跡発掘調査研究所刊	1978
-----	------	---	------

左京二条三坊	向日市鷄冠井町		
圈足硯	向日市教委	「長岡京跡左京第13次(7ANESH地区)発掘調査報告」 「長岡京跡第7708次(7ANEKD地区)立合調査報告」 『向日市埋文報』4	1978
圈足硯	丸 嘉樹 <sup>12)</sup>	「長岡京跡左京第22次(7ANESH-II地区)発掘調査 概要—左京二条二坊五・六町の調査—」『長岡京』16	1980
左京二条三坊	向日市鷄冠井町石橋17~18番地		
圈足硯	向日市教委	「長岡京跡左京第82次(7ANEIS地区)~左京二条三 坊一町・鷄冠井遺跡第2次~発掘調査概要」『向日市 埋文報』8 一町	1982
左京三条二坊	向日市上植野町大田~西大田		
圈足硯, 風字硯	府文化財保 護課	「長岡京跡左京三条二坊第2次発掘調査概要」『埋蔵文 化財発掘調査概報』1976	1976
円面硯	高橋美久二	「長岡京跡左京三条二坊」『日本考古学年報』27	1976
転用硯	向日市教委	「長岡京跡左京第46次(7ANFOT-3地区)~左京堀 川小路東三条大路~発掘調査概要」『向日市埋文報』7	1981
左京四条二坊	向日市上植野町太田16		
圈足硯, 転用硯	向日市教委	「長岡京跡左京第15次・27次(7ANFOT-I・II地 区)発掘調査概要」『向日市埋文報』6	1980
転用硯	向日市教委	「長岡京跡左京第71次(7ANFOT-4地区)~左京四 条二坊九町~発掘調査概要」『向日市埋文報』8 九町	1982
左京四条三・四坊	京都市伏見区羽東師古川町~菱川町 官衙		
圈足硯	鳥羽離宮研	『日本専売公社工場用地内埋蔵文化財発掘調査概報』	1977
円頭風字硯		『京都市史 考古篇』 菱川町遺跡 京都市刊	1983
右京三条二坊	長岡京市今里		
風字硯, 転用硯	府 教 委	「長岡京跡昭和53年度発掘調査概要」『埋蔵文化財発掘 調査概報』1979 右京7次(7ANIST)	1979
圈足硯	府 教 委	「長岡京跡右京第26次発掘調査概要」『埋蔵文化財発掘 調査概報』1980-2	1980
右京五条二坊	長岡京市開田~天神~長岡		
風字硯	戸原和人	「長岡京跡右京第11次調査7ANKUT地区」『長岡京』1978 9・10 長岡京跡発掘調査研究所刊	1978
右京五条三坊	長岡京市天神一丁目		
円面硯	府埋文セン ター	「長岡京跡右京第109次調査(7ANKNZ地区)」『財団 法人長岡京市埋文センター設立記念講演会』	1982

右京六条一坊 圈足硯, 転用硯	長岡京市神足3丁目2-1 長岡京市教委	「長岡京跡右京第77次(7ANKSM地区)調査概要」『長岡京市文報』9 十六町の南西隅	1982
ながおかきょうない 長岡京内	向日市～長岡京市		
圈足硯	百瀬ちどり	「向日市の埋蔵文化財 春の文化祭によせて 最近の発掘調査の成果から」『長岡京』創刊号 東大宮大路東側溝 長岡宮跡発掘調査団刊	1977
風字硯	百瀬ちどり	「昭和52年度長岡京の調査」『長岡京』7 77-20次 7ANDST 長岡京跡発掘調査研究所刊	1978
圈足硯, 風字硯	五島美術館	『日本の陶硯』	1978
双脚楕円硯 図20	植崎彰一	「日本古代の陶硯—とくに分類について—」『考古学論考 小林行雄博士古稀記念論文集』 平凡社刊	1982
円面硯	府埋文センター	「長岡京跡右京76次(7ANITT)」『第1回小さな展覧会—昭和56年度発掘調査の成果から』 西二坊大路西側溝	1982
まつい 松井窯跡	綴喜郡田辺町大字松井	窯	
圈足硯, 平頭? 風字硯	田辺町教委	『田辺市遺跡分布調査概報』『田辺町埋文報』3	1982
ひかしきぎ 東薪遺跡	綴喜郡田辺町大字田辺小字明田池	遺物散布地	
転用硯	府文化財保護課	「東薪遺跡発掘調査概要」『埋蔵文化財発掘調査概報』1977 府教委刊	1977
こうず 上津遺跡	相楽郡木津町大字木津小字宮ノ裏	木屋所/泉津	
円面硯, 転用硯	木津町教委	『上津遺跡』II『木津町埋文報』2	1978
圈足硯, 転用硯	木津町教委	「上津遺跡第2次発掘調査概報」『木津町埋文報』3	1980
にしくぬぎ 西柵窯跡	相楽郡加茂町	窯	
圈足硯, 獣脚硯	加茂町教委	『西柵窯跡』『加茂町文報』2	1981
たかくい 高杭2号窯	船井郡園部町小山西町高杭	窯	
圈足硯	高橋美久二	「園部町の古窯跡群」『京都考古』7 京都考古刊行会	1973
たかの 竹野遺跡	竹野郡丹後町竹野	集落	
圈足硯	坪倉利正	『竹野遺跡発掘報告』 峰山高校刊	1967
圈足硯	府立丹後郷土資料館	『丹後国分寺—遺跡とその周辺—』『特別陳列図録』6	1980
圈足硯	府立丹後郷土資料館	『丹後郷土資料館報』3	1982

## 大阪府

してんのうじ  
四天王寺

風字硯

大阪市天王寺区四天王寺

寺院

藤井直正 「陶質円面硯資料—河内船橋・摂津杉本町採集—」『古代学研究』13 古代学研究会刊 1956

えなつでら  
朴津寺跡

硯

大阪市住吉区

寺院

東大阪市教委 「河内寺跡」『東大阪市埋蔵文化財包蔵地調査概報』13 1974

すぎもとちよう\*  
杉本町遺跡

圈足硯

大阪市住吉区杉本

遺物散布地

\* 朴津寺付近

藤井直正 「陶質円面硯資料—河内船橋・摂津杉本町採集—」『古代学研究』13 古代学研究会刊 1956

ながはら  
長原遺跡

円面硯, 蹄脚硯

大阪市平野区长吉戸〜長吉長原〜長吉川辺 郡衙/荘家/集落

長原遺跡調査会 「大阪市平野区长原遺跡—地下鉄谷町線延長工事45工区の調査概報」 1978

圈足硯, 蹄脚硯,  
長方硯

大阪市文化財協会 「長原遺跡発掘調査報告」Ⅱ 1982

たまむら たかくら  
陶邑窯跡群高蔵地区

窯

TK43—1号窯周辺 堺市高蔵寺

圈足硯, 蹄脚硯

府教委 「陶邑 V」『大阪府文報』33

1980

TK 116号窯 堺市高蔵寺

圈足硯, 蹄脚硯

府教委 「陶邑 IV」『大阪府文報』31

1979

TK 230—1号窯 堺市高蔵寺

圈足硯

府教委 「陶邑 V」『大阪府文報』33

1980

TK 238号窯 堺市逆瀬川

円面硯

府教委 「陶邑」『大阪府文化財調査抄報』1

1971

圈足硯

府教委 「陶邑 V」『大阪府文報』33

1980

TK 304号窯 堺市高蔵寺

円面硯, 蹄脚硯

府教委 「陶邑 IV」『大阪府文報』31

1979

TK 313号窯? 圈足硯	堺市高蔵寺 五島美術館	『日本の陶硯』	1978
TK 314号窯 圈足硯	堺市高蔵寺 府 教 委	『陶邑 V』『大阪府文報』33	1980
TK 316号窯 円面硯 圈足硯, 蹄脚硯	堺市高蔵寺 府 教 委 府 教 委	『陶邑』『大阪府文化財調査抄報』1 『陶邑 V』『大阪府文報』33	1971 1980
<small>すえむら</small> 陶邑窯跡群 <small>とう 森やま</small> 陶器山地区		窯	
MT26号窯 圈足硯	堺市上之 府 教 委	『陶邑 V』『大阪府文報』33	1980
MT 214号窯 円面硯	堺市陶器北 府 教 委	『陶邑』『大阪府文化財調査抄報』1	1971
<small>すえむら</small> 陶邑窯跡群 <small>とが</small> 群柵地区		窯	
T G15号窯 圈足硯	堺市柵 五島美術館	『日本の陶硯』	1978
T G63号窯 圈足硯	堺市庭代台 府 教 委	『陶邑 II』『大阪府文報』29	1977
T G64号窯 圈足硯 圈足硯	堺市庭代台 府 教 委 五島美術館	『陶邑 II』『大阪府文報』29 『日本の陶硯』	1977 1978
T G68号窯 圈足硯	堺市庭代台 府 教 委	『陶邑 II』『大阪府文報』29	1977
T G70号窯 圈足硯 圈足硯	堺市泉田中 府 教 委 五島美術館	『陶邑 II』『大阪府文報』29 『日本の陶硯』	1977 1978

すえむら こうみょういけ

陶邑窯跡群光明池地区

窯

K M51号窯	和泉市三林町		
圈足硯	府 教 委	『和泉光明池地区窯跡群発掘調査概報（日本住宅公団光明池団地）』『大阪府文化財調査概要』1966	1967
圈足硯	府 教 委	『陶邑 I』『大阪府文報』28	1976

K M60号窯 和泉市三林町

獸脚硯 図10	府 教 委	『和泉光明池地区窯跡群発掘調査概報（日本住宅公団光明池団地）』『大阪府文化財調査概要』1966	1967
獸脚硯	五島美術館	『日本の陶硯』	1978
獸脚硯	榎崎彰一	『日本古代の陶硯—とくに分類について—』『考古学論考 小林行雄博士古稀記念論文集』	1982

すえむら 陶邑窯

蹄脚硯	石井則孝	『陶硯について—その1—』『史館』創刊号 市川ジャーナル社刊	1973
蹄脚硯	五島美術館	『日本の陶硯』	1978
圈足硯, 蹄脚硯	榎崎彰一	『日本古代の陶硯—とくに分類について—』『考古学論考 小林行雄博士古稀記念論文集』 平凡社刊	1982

よついで 四ツ池遺跡

堺市浜寺船尾町～鳳北町 集落

圈足硯	四ツ池遺跡調査会	『四ツ池遺跡 第45地区発掘調査中間報告』4 河川出土	1979
風字硯	堺市教委	『昭和54年度四ツ池遺跡発掘調査概要—第72・73・74地区—』	1980

さくらいだに 桜井谷窯跡群

豊中市永楽荘～宮山町～春日町～向丘～大字少路～柴原町～上野坂ほか 窯

獸脚？硯	藤井直正	『陶質円面硯資料—河内船橋・摂津杉本町採集—』『古代学研究』13 古代学研究会刊	1956
------	------	--	------

かうち 河内寺跡

東大阪市河内町 寺院

圈足硯	東大阪市教委	『河内寺跡 II』『東大阪市埋蔵文化財包蔵地調査概報』13	1974
-----	--------	-------------------------------	------

こわかえだに 小若江北遺跡

東大阪市小若江 集落

円面硯	坪井清足	『文化財の保存と調査 小若江遺跡の調査』『大阪府の文化財』 府教委刊	1962
-----	------	------------------------------------	------

ぐんげかわにし 郡家川西遺跡

高槻市郡家本町～郡家新町～清福寺町～川西町 摂津国嶋上郡衙

硯 緑釉	原口正三	『嶋上郡衙跡』『仏教芸術』124 毎日新聞社刊	1979
------	------	-------------------------	------



しんどう 新堂麿寺跡	富田林市大字新堂	寺院	
獸脚硯	府 教 委	「全国蹄脚硯出土遺跡地名表」『斎王宮跡資料—発掘調査文献資料—』	1978
獸脚硯	八雲立つ風土記の丘	『特別展 島根の古代』	1982
いずみ 和泉国分寺	和泉市国分町	国分寺	
双脚楯円硯	内藤政恒	『本邦古硯考』 養徳社刊	1944
ふなはし 船橋遺跡	柏原市古町～藤井寺市船橋町	河内国府/鑄銭司/餌香市/寺院	
圈足硯	藤井直正	「陶質円面硯資料—河内船橋・摂津杉本町採集—」『古代学研究』13 古代学研究会刊	1956
転用硯	府 教 委	『河内船橋遺跡出土遺物の研究』『大阪府文報』8	1958
転用硯	平安学園考古学クラブ	『船橋』I	1958
低圈足硯	辻合喜代太郎	「大和川遺跡出土の陶硯」『河内文化』11 布施史談会刊	1964
硯	東大阪市教委	『河内寺跡Ⅱ』『東大阪市埋蔵文化財包蔵地調査概報』13	1974
えんみょう 円明遺跡	柏原市円明町	河内国安宿郡衙・円明麿寺	
陶硯		未報告 堅田直氏教示	
はくわう 埴生麿寺	羽曳野市埴生野	寺院	
円面硯	藤井直正	「陶質円面硯資料—河内船橋・摂津杉本町採集—」『古代学研究』13 古代学研究会刊	1956
硯	東大阪市教委	「河内寺跡Ⅱ」『東大阪市埋蔵文化財包蔵地調査概報』13	1974
ちややま 茶山遺跡	羽曳野市誉田7丁目2番地	集落/遺物包含地	
圈足硯	大阪文化財センター	『応神陵茶山遺跡発掘調査報告書』『大阪文化財センター調査報告XX IX』	1978
おおい 大園遺跡	高石市西取石～綾園	遺物包含地	
蹄脚硯?	府 教 委	『大園遺跡発掘調査概要V—府道松原～泉大津線建設予定地内—』	1981
こう 国府遺跡	藤井寺市惣社町2丁目	河内国府/志紀郡衙	
蹄脚硯	府 教 委	『国府遺跡発掘調査概要Ⅲ』『大阪府文化財調査概要』1972—7	1973

どうみょうじ てんまんぐう  
道明寺天満宮 藤井寺市道明寺 寺院  
蹄脚硯／獸脚硯 内藤政恒 『本邦古硯考』 養徳社刊 伝世品 1944

はやし  
林遺跡 藤井寺市林3丁目394-1 遺物包含層／掘立柱建物／林廃寺関連？  
圈足硯 府教委 『林遺跡発掘調査概要Ⅳ』 81-2区 1982

## 兵庫県

しげた  
繁田1号窯跡 神戸市西区平野町繁田 窯  
長方硯 市立考古館 『地下にねむる神戸の歴史展』 1980

かんで  
神出古窯跡群 神戸市西区神出町東 窯  
長方硯 神戸市立考古館 『神出古窯址群・茶山支群1号窯（昭和51年度）』『地下にねむる神戸の歴史展 発掘現場からの報告』 1980

たいうら  
田井裏支群第1号 神戸市西区神出町田井  
二面圈足硯，風字硯，猿面硯 未報告 神戸市教委所蔵 1982年10月調査

いけのした  
池ノ下支群第2号窯 神戸市西区神出町田井池ノ下  
風字硯 未報告 神戸市教委所蔵 1982年11月調査

どうのまえ  
堂ノ前支群 神戸市神出町田井堂ノ前  
風字硯 未報告 神戸市教委所蔵 1982年9月調査

にしかみ  
西神遺跡 神戸市西区平野町 遺物散布地  
円面硯 未報告 神戸市教委所蔵 1979年3月調査

よしだみなみ  
吉田南遺跡 神戸市西区玉津町森友一丁目 播磨国明石郡衛／明石駅家  
圈足硯，転用硯 奈良大学考古学研究室 『吉田南遺跡 現地説明会パンフレット』 1977  
圈足硯，転用硯 吉田・片山遺跡調査団 『播磨吉田南遺跡 7次調査現地説明会』 1978  
圈足硯 神戸市立考古館 『吉田南遺跡』『地下にねむる神戸の歴史展 発掘現場からの報告』 1980

<small>で あい</small> <b>出会遺跡</b> 硯	神戸市西区玉津町出会 未報告 鎌木義昌氏所蔵	集落 1980年2月調査	
<small>ほんまち</small> <b>本町遺跡</b> 圈足硯, 蹄脚硯, 風字硯, 転用硯	姫路市本町108 未報告 姫路市教委	播磨国府推定地 1980年2月調査	
<small>けんぼくけんせつち</small> <b>県博建設地遺跡</b> 円面硯	姫路市本町68 未報告 県教委1981年調査。県立博物館所蔵	播磨国府推定地	
<small>おおてまえこうえん</small> <b>大手前公園遺跡</b> 円面硯, 風字硯, 転用硯	姫路市本町68 未報告 姫路市教委	播磨国府推定地 1980年9月調査	
<small>さくらとうげ</small> <b>桜峠窯跡</b> 円面硯	姫路市太市中 加藤史郎	窯 「姫路市西端桜峠窯址」『姫路古代史』1	1958
<small>ちやわん</small> <b>茶碗山古窯址群</b> 第4号窯 円面硯	姫路市打越 未報告 永井信弘氏所蔵	窯 1981年8月表採	
<small>みねあいさん</small> <b>峰相山古窯址群</b> 第3号窯 円面硯	姫路市打越 未報告 永井信弘氏所蔵	窯 1981年8月表採	
<small>つじい</small> <b>辻井遺跡・辻井廃寺</b>	姫路市辻井	寺院・集落	
圈足硯	今里幾次	「播磨辻井廃寺址の古陶硯—日本上代圓面硯の型式分類に就いて—」『史迹と美術』18-6 189号 史迹美術同放会刊	1948
圈足硯	今里幾次	『姫路市辻井遺跡—その調査記録—』 古代播磨研究会刊	1971
円面硯, 転用硯	未報告 姫路市教委	1982年調査	
<small>えんおやうじやくしどう</small> <b>円教寺薬師堂</b> 円面硯, 転用硯	姫路市書写 未報告 円教寺所蔵	遺物散布地 79年9月調査	

つじがわいど 辻垣内遺跡 円面硯	姫路市飾磨区英賀辻垣内 未報告	遺物散布地 姫路市教委所蔵	79年10月調査
よろ やながせ 丁・柳ヶ瀬遺跡 転用硯	姫路市勝原区丁 未報告	遺物散布地 県教委所蔵	80年調査
かみほらだ 上原田遺跡 圈足硯, 転用硯	姫路市花田町上原田 県教委	官衙/寺院関連遺跡 「上原田遺跡」『播但連絡有料自動車道建設にかかる埋蔵文化財調査報告』Ⅱ	1980
うおずみ 魚住古窯跡 長方硯 図24	明石市魚住町中尾字中原 寺島孝一	窯 「兵庫県明石市魚住古窯跡出土の陶硯」『古代文化』 32-11 古代学協会刊	1980
しょうげいやま 庄慶山窯跡 圈足硯	洲本市大野字庄慶山 沖田真一	窯 「庄慶窯址遺物について」『淡路考古学研究会誌』創刊号 淡路考古学研究会刊	1972
にしごみよう 西後明窯跡 風字硯	相生市若狭野町西後明 未報告	窯 森内秀造氏所蔵	1979年表採
にし いけ 西の池窯跡 圈足硯	加古川市志方町野尻字西の池 西の池古窯跡群発掘調査団	窯 『兵庫県印南郡志方町西の池古窯址群調査報告書』 城山開発KK刊	1979
さつま 札馬古窯跡 第44号窯 風字硯	加古川市志方町大澤 未報告	窯 加古川市教委所蔵	1983年1月調査
うねはら 有年原遺跡 圈足硯	赤穂市有年原 松岡秀夫	遺物散布地 「第2章 考古学からみた赤穂」『赤穂市史』1 赤穂市刊	1981
みきじょう 三木城跡 円面硯	三木市福井三木山 未報告	未詳 三木市教委所蔵	1982年7月調査

しおた 塩田遺跡 圈足硯	高砂市曾根町鍋田 高砂市教委 『塩田遺跡 2 第3・4次範囲確認調査概報』高砂市 文報』7	遺物散布地 1979
A W—67窯 圈足硯	三田市末字西乾 県教委 「A W—67(窯跡)調査概要」三田市青野ダム建設に 伴う埋蔵文化財調査概報』	窯 1978
N O—90窯 円面硯	三田市末 未報告 県教委所蔵 分布調査採集	窯
とうずA 木器第1号窯 円面硯, 二面風 字硯	三田市木器 未報告 三田市所蔵	窯
しんじよ 下所遺跡 風字硯	三田市貴志字下所 未報告 三田市教委所蔵	集落 1983年3月表採
たつおか 立岡遺跡 円面硯	揖保郡太子町立岡 未報告 太子町教委所蔵	未詳 1976年6～9月調査
にし の やま 西野山遺跡 円面硯	赤穂郡上郡町西野山 未報告 有年考古館所蔵	遺物散布地
なかやま 中山窯跡 円面硯	赤穂郡上郡町西野山字中山 松岡秀夫 「第2章 考古学からみた赤穂」赤穂市史』1 赤穂市刊	窯 1981
ほんい でん 本位田遺跡 圈足硯	佐用郡佐用町本位田 県教委 「本位田遺跡」中国縦貫自動車道建設に伴う埋蔵文 化財調査報告書』県文報』11	集落 長尾庵寺の付属施設? 1976
ひ つか 日高国分寺 圈足硯, 風字硯	城崎郡日高町国分寺 未報告 日高町教委教示	但馬国分寺

<sup>にようがもりにし</sup> <b>禰布ヶ森西遺跡</b> 圈足硯, 風字硯, 転用硯 圈足硯, 風字硯, 転用硯	城崎郡日高町禰布 日高町教委 『但馬・禰布ヶ森西遺跡調査報告書—312号線日高バ スに伴う発掘調査—』『日高町文報』2 五島美術館 『日本の陶硯』	官衙 1976 1978
<sup>みなかみ</sup> <b>水上遺跡</b> 風字硯	城崎郡日高町水上 未報告 松本正信氏所蔵	未詳
<sup>くと</sup> <b>久斗遺跡</b> 圈足硯	城崎郡日高町久斗 未報告 日高町教委教示	遺物散布地 表採
<sup>みやうち</sup> <b>宮内遺跡</b> 円面硯	出石郡出石町宮内 未報告 出石町教委所蔵	集落 1981年調査
<sup>のむら</sup> <b>野村遺跡</b> 円面硯, 転用硯	永上郡春日町野村 未報告 県教委所蔵	未詳 1982年12月調査
<sup>ひがしはまたに</sup> <b>東浜谷遺跡</b> 円面硯, 風字硯	多紀郡榎山町東浜谷 榎本誠一 「発掘調査 兵庫県」『日本考古学年報』32	遺物散布地／丹波国多紀郡衙? 1979年版 1982
<sup>りゆうえんじ</sup> <b>竜円寺遺跡</b> 円面硯	多紀郡丹南町野中宇寺前の坪 未報告 西紀町教委所蔵	集落 1981年調査
<sup>いでや</sup> <b>出谷遺跡</b> 円面硯	多紀郡丹南町大山下 未報告 西紀町教委所蔵	集落 1982年調査
<sup>みま</sup> <b>味間遺跡</b> 蹄脚硯 蹄脚硯	多紀郡丹南町味間 五島美術館 『日本の陶硯』 榎崎彰一 「日本古代の陶硯—とくに分類について—」『考古学論 考 小林行雄博士古稀記念論文集』	遺物散布地 1978 1982
<sup>にしきのべ</sup> <b>西木ノ部遺跡</b> 円面硯	多紀郡西紀町西木之部 未報告 県教委所蔵	集落 1982年調査

## 奈良県

### 平城宮

奈良市佐紀町～二条町～法華寺中町～佐紀町中町

蹄脚硯	奈良県	「平城宮遺構及遺物調査」『奈良県史蹟名勝天然記念物調査報告』12	1934
蹄脚硯	皇室博物館	「天平地宝」	1937
円面硯、 <sup>*</sup> 円形硯 <sup>*</sup>	内藤政恒	「本邦古硯雑考」『考古学』10-6 東京考古学会刊 <sup>*</sup> 内藤政恒氏の呼称・編者未確認	1939
蹄脚硯	内藤政恒	『本邦古硯考』養徳社刊	1944
蹄脚硯	奈良博	『天平の地宝』朝日新聞社刊	1961
圈足硯、低圈足硯、双脚円形硯、転用硯	奈文研	『平城宮発掘調査報告Ⅱ-官衙地域の調査-』『奈文研学報』15	1962
圈足硯、蹄脚硯、鳥形硯、八花硯、風字?硯、転用硯	奈文研	『平城宮第12・13次発掘調査概報』13次調査 内裏北区	
圈足硯、蹄脚硯、鳥形硯、八花硯、風字?硯、転用硯	本村豪章 <sup>ほか</sup>	「昭和38年度平城宮発掘調査概報」『奈文研年報』1964	1964
圈足硯、低圈足硯、蹄脚硯、二面風字硯、双脚円形?硯、鳥形硯、八花硯、転用硯	奈文研	『平城宮跡 第21・22次発掘調査報告会資料』内裏東外郭 東大溝	1965
圈足硯、双脚円形硯 ㊦18	奈文研	『平城宮発掘調査報告Ⅳ-官衙地域の調査2-』『奈文研学報』17	1966
	小笠原好彦	「平城宮跡出土の陶硯」『奈良県観光』124 奈良県観光新聞社刊	1967
圈足硯、蹄脚硯、風字硯、転用硯	奈文研	『平城宮第37・39・40・41次発掘調査概報』39・40・41次調査	1967
圈足硯	奈文研	『平城宮第47・48・49次発掘調査概報』48次調査	1968
圈足硯、蹄脚硯、風字硯、鳥形硯、八花硯、転用硯	奈文研 <sup>ほか</sup>	『埋れていた奈良の都-平城宮展』平城宮発掘10周年記念 朝日新聞社刊	1969
蹄脚硯、鳥形硯、宝珠硯	内藤政恒	「調度 硯」『新版考古学講座』7 有史文化 下雄山閣刊	1970
硯	奈文研	「研究成果要録・年報 平城宮跡 平城宮跡発掘調査の概況」『奈文研二十年史』	1973
圈足硯、蹄脚硯	奈文研	「推定第2次内裏西外郭地区発掘調査(第91次)」『昭和49年度平城宮跡発掘調査部発掘調査概報』	1975
圈足硯、蹄脚硯、双脚円形硯、鳥形硯、宝珠硯、転用硯	奈文研	『平城宮発掘調査報告Ⅶ-内裏北外郭の調査』『奈文研学報』26 ㊦14・15・38・41	1976
圈足硯、蹄脚硯、転用硯	宮本長二郎 <sup>ほか</sup>	「平城宮跡と平城京跡の発掘調査 第2次内裏西外郭の調査(第91次)」『奈文研年報』1975	1976
圈足硯、蹄脚硯、硯	吉田恵二	「平城京跡(78北次)」『平城宮跡(91次)』『日本考古学年報』27 1974年版 日考協刊	1976
転用硯	奈文研	「推定第1次朝堂院地区の調査(第97次)」『昭和51年度平城宮跡発掘調査部発掘調査概報』	1977
転用硯	須藤隆 <sup>ほか</sup>	「平城宮跡と平城京跡の調査 推定第1次朝堂院東北地区の調査(97次)」『奈文研年報』1977	1977

圈足硯, 蹄脚硯	奈文研	『平城宮発掘調査報告 IX—宮城門・大垣の調査—』『奈文研学報』34	1978
蹄脚硯	奈文研	『佐紀池東地区の調査(第103-9次・第107次)』『昭和52年度平城宮跡発掘調査部発掘調査概報』	1978
蹄脚硯	土肥孝 <sup>ほか</sup>	『平城宮跡と平城京跡の調査 佐紀池東地区の調査(第103-9次・第107次)』『奈文研年報』1978	1978
圈足硯, 鳥形硯, 転用硯	奈文研	『平城宮跡第110次発掘調査現地説明会資料』	1978
圈足硯, 低圈足硯, 蹄脚硯, 双脚円形硯, 風字硯, 鳥形硯, 宝珠硯, 八花硯, 転用硯	五島美術館	『日本の陶硯』	1978
鳥形硯, 蹄脚硯	奈文研	『東院地区の調査(第110次)』『第1次朝堂院地区の調査(第111次)』『昭和53年度平城宮跡発掘調査部発掘調査概報』	1979
円面硯	高島忠平	『奈良市佐紀町平城宮跡』『日本考古学年報』21・22・23 1968~1970年度版 41次調査 第1次朝堂院	1981
蹄脚硯, 転用硯	奈文研	『南面東門(壬生門)の調査(第122次)』『昭和55年度平城宮跡発掘調査部発掘調査概報』	1981
圈足硯, 蹄脚硯, 二面風字硯, 転用硯	奈文研	『平城宮発掘調査報告 XI 第1次大極殿地区の調査』『奈文研学報』40	1982
低圈足硯, 蹄脚硯, 鳥形硯, 双脚円形硯, 転用硯	榑崎彰一	『日本古代の陶硯—とくに分類について—』『考古学論考 小林行雄博士古稀記念論文集』平凡社刊 図5	1982
円面硯, 転用硯	奈文研	『平城宮跡第139次発掘調査現地説明会資料—内裏北外郭東北部の調査—』	1982
陶硯	奈文研	『平城宮跡第140次発掘調査現地説明会資料—推定第1次朝堂院地区の調査—』	1982
圈足硯, 蹄脚硯		未報告 奈文研 1966年調査 29次 東面大垣入隅	
圈足硯, 蹄脚硯, 平頭風字硯		未報告 奈文研 1965・66年調査 33次 内裏東外郭	
圈足硯, 蹄脚硯		未報告 奈文研 1969年調査 35次 内裏外郭	
圈足硯, 蹄脚硯, 風字硯		未報告 奈文研 1966年調査 38次 内裏東外郭東方	
圈足硯, 蹄脚硯, 獣形硯, 転用硯		未報告 奈文研 1967・68年調査 43次 東院西側	
圈足硯, 蹄脚硯		未報告 奈文研 1968年調査 44次 東院東南隅	
圈足硯		未報告 奈文研 1968年調査 47次 馬寮	
圈足硯		未報告 奈文研 1968年調査 50次 馬寮	
圈足硯		未報告 奈文研 1970年調査 64次 東面大垣地区	
圈足硯, 蹄脚硯		未報告 奈文研 1970・71年調査 70次 内裏, 第2次大極殿東外郭	
圈足硯, 蹄脚硯		未報告 奈文研 1971年調査 73次 内裏地区	
円面硯		未報告 奈文研 1975年調査 92次 宮西方官衙	
硯		未報告 奈文研 1976年調査 97次 第1次朝堂院	
圈足硯, 風字硯 黒色土器		未報告 奈文研 1976・77年調査 99次 東院園池	
転用硯		未報告 奈文研 1977年調査 102次 第1次朝堂院	



圈足硯, 蹄脚硯	未報告	奈文研	1977年調査	104次	東院地区
圈足硯, 蹄脚硯, 円形硯, 獸形硯 蓋	未報告	奈文研	1981年調査	128次	東院地区
圈足硯	未報告	奈文研	1981年調査	129次	内裏北方官衙
圈足硯	未報告	奈文研	1981年調査	133次	若犬養門
圈足硯, 蹄脚硯, 転用硯	未報告	奈文研	1982年調査	143次	第1次朝堂院

へいじょうきやうほくへん

平城宮北辺

奈良市佐紀町東町字塚本

転用硯	奈文研	『平城宮北辺地域発掘調査報告書』	1981
-----	-----	------------------	------

へいじょうきやう

平城京

平城京

左京一条三坊 奈京一条三坊	奈良市法華寺町				
陶硯	奈文研	『奈良バイパス路線敷地発掘調査概報 第54・55・56・57次調査』	1969		
陶硯	松下正司 <sup>はか</sup>	『1969年度平城宮跡・藤原宮跡発掘調査 東三坊大路』 『奈文研年報』1970	1970		
圈足硯, 四脚楕 円硯, 平頭風字 硯 黑色土器を 含む, 二面風 字硯, 転用硯	奈文研	『平城宮発掘調査報告VI—平城京左京一条三坊の調査—』 『奈文研学報』23 図3・21	1975		
圈足硯, 転用硯	奈良市教委	『平城京左京一条三坊十四坪発掘調査報告』奈良市埋 藏文化財調査報告書—昭和54年度—』	1980		

左京二条二坊

奈良市法華寺町

転用硯	奈文研	『左京二条二坊々間大路の調査 (第123-26次)』 『昭和55年度 平城宮跡発掘調査部発掘調査概報』	1981
転用硯	中村友博 <sup>はか</sup>	『平城宮跡と平城京跡の調査 条坊遺構の調査』 『奈文研年報』1981 坊間大路側溝	1981
円面硯, 転用硯	奈良市教委	『平城京左京二条二坊十二坪発掘調査現地説明会資料』	1982
圈足硯, 転用硯	未報告	奈文研 1970年調査	68次
圈足円形硯	未報告	奈文研 1974年調査	89次 左京二条二坊十四坪

左京三条一坊

奈良市二条大路南二丁目～三条大路三丁目～北新町

圈足硯, 蹄脚硯, 風字硯	阿部義平	『奈良国立文化財研究所要項 第46次調査』 『奈文研年報』1968	1968
圈足硯, 蹄脚硯, 転用硯	未報告	奈文研 1979年調査	118 - 8次 十五坪

左京三条二坊

奈良市二条大路南一丁目～三条大路一丁目

硯	奈文研	『左京三条二坊—奈良市庁舎建設地発掘調査報告—』 奈良市刊	1975
---	-----	----------------------------------	------

圈足硯	奈文研	「左京三条二坊十五坪の発掘調査（第86次）」『昭和49年度 平城宮跡発掘調査部発掘調査概報』	1975
硯	奈文研	『平城京左京三条二坊』『奈文研学報』25	1975
圈足硯, 転用硯	奈文研	『平城京左京三条二坊六坪発掘調査概報』	1976
蹄脚硯, 風字硯	五島美術館	『日本の陶硯』	1978
陶硯	奈文研	「左京三条二坊七坪の調査（第112-3次）」『昭和53年度 平城宮跡発掘調査部発掘調査概報』	1979
圈足硯, 蹄脚硯, 風字?硯, 転用硯	奈良市教委	「平城京左京三条二坊九坪発掘調査概要報告」『奈良市埋蔵文化財調査報告書 昭和54年度』	1980
圈足硯, 転用硯		未報告 奈文研 1977年調査 103-1次 七坪	
<b>左京三条四坊</b> 奈良市大宮町			
圈足硯, 蹄脚硯, 転用硯	奈文研	『平城京左京三条四坊七坪発掘調査現地説明会資料（奈良郵便局建設予定地）』	1979
<b>左京四条四坊</b> 奈良市三条宮前町			
羊形硯 表紙参照		『朝日新聞』1982年7月2日朝刊 奈文研調査	1982
<b>左京五条一坊</b> 奈良市柏木町長塚			
圈足硯, 蹄脚硯	宮本長二郎 ほか	「平城宮跡と平城京跡の発掘調査 左京五条一坊の調査（第90次）」『奈文研年報』1975	1976
圈足硯	五島美術館	『日本の陶硯』	1978
<b>左京五条二坊</b> 奈良市大安寺町			
圈足硯, 蹄脚硯, 獸脚硯, 風字?硯, 獸形硯, 四脚円形硯? 図19	奈良市教委	「平城京左京五条二坊十四坪発掘調査概要報告」『奈良市埋蔵文化財調査報告書 昭和54年度』	1980
円面硯, 形象硯, 円形硯,	中井 公	「奈良県平城京左京五条二坊十四坪」『日本考古学年報』32 1979年度版 日考協刊	1982
<b>左京五条五坊</b> 奈良市西木辻町 庶民階層の居住地			
蹄脚硯	奈良市教委	「平城京左京（外京）五条五坊七・十坪発掘調査概要報告』	1982
<b>左京八条三坊</b> 奈良市東九条町姫寺 960 番地 東市北方			
硯	奈文研	『平城京左京八条三坊発掘調査現地説明会資料』	1975
硯	奈文研	「左京八条三坊の発掘調査（第93次）」『昭和49年度 平城宮跡発掘調査部発掘調査概報』	1975
圈足硯, 鳥形硯蓋, 転用硯	奈文研	「平城京左京八条三坊発掘調査概報 東市周辺東北地域の調査」 奈良県刊 図40	1976

二条大路・東一坊大路交差点

圈足硯，蹄脚硯，  
無脚硯，平頭風  
字硯，八花硯，  
轉用硯

未報告 奈文研 1966年調査 32次

右京一条二坊

奈良市法華寺町～二条町

楕円硯 未報告 奈文研 1978年調査 103—14次 西一坊大路側溝  
円形硯 未報告 奈文研 1979年調査 112—13次 七坪

右京一条三坊

蹄脚硯 未報告 奈文研 1973年調査 83次

右京二条二坊

奈良市西大寺南畑

蹄脚硯 未報告 奈文研 1981年調査 137次 十六坪

右京二条三坊

奈良市青野町南畑

蹄脚硯 未報告 奈文研 1980年調査 123—17次 十一・十五坪

右京五条二坊

奈良市五条町

風字硯 未報告 奈文研 1978年調査 112—9次 十二坪

右京五条四坊

奈良市平松町

円面硯 未報告 奈文研 1976年調査 100次 三坪

右京六条一坊

奈良市西ノ京町

圈足硯 未報告 奈文研 1981年調査 131—9次 十四坪

右京七条二坊

奈良市西ノ京町

圈足硯，風字硯 未報告 奈文研 1980年調査 124次  
風字硯 未報告 奈文研 1981年調査 135次 十五坪

西市推定地

大和郡山市九条町

圈足硯，蹄脚硯 未報告 奈文研 1981年調査 123—23次

右京九条一坊 転用硯	大和郡山市観音寺町 奈文研 『平城京九条大路 県道城廻り線予定地発掘調査概報 1』	1981
右京北辺 円面硯	奈良市山陵町～西大寺宝ヶ丘 奈文研 「北辺坊の調査(第103-16次)」『昭和52年度 平城宮跡発掘調査部発掘調査概報』 北京極大路	1978
圈足硯	奈文研 「称徳天皇御山荘推定地の調査(第118-2次・20次)」『昭和54年度 平城宮跡発掘調査部発掘調査概報』 四坊三・六坪	1980
圈足硯	未報告 奈文研 1978年調査 112-7次 二坊二坪	
とうだいじ 東大寺	奈良市雑司町字手貝町 寺院	
平頭風字硯	内藤政恒 『本邦古硯雑考』『考古学』10-6 東京考古学会刊	1939
平頭風字硯	内藤政恒 『本邦古硯考』 伝良弁僧正所用 養徳社刊	1944
平頭風字硯	五島美術館 『日本の陶硯』 伝良弁僧正所用	1978
風字硯	奈文研 「東大寺境内の調査 1」『昭和54年度 平城宮跡発掘調査部発掘調査概報』	1980
とうふくじ 興福寺	奈良市登大路町 寺院	
圈足硯、蹄脚硯、 八花硯、鳥形硯、 亀形硯、転用硯	八賀 晋 「一乗院発掘調査概要」『奈文研年報』1964	1964
圈足硯	未報告 奈文研 1965年調査	
ほつりじ 法華寺	奈良市法華寺町 寺院	
圈足硯、風字硯	五島美術館 『日本の陶硯』	1978
圈足硯	奈文研 「法華寺境内の調査(第118-9次)」『昭和54年度 平城宮跡発掘調査部発掘調査概報』	1980
圈足硯	奈文研 「法華寺西南隅の調査(第123-4次)」『昭和55年度 平城宮跡発掘調査部発掘調査概報』	1981
圈足硯、蹄脚硯、 風字硯、転用硯	未報告 奈文研 1977~1979年度調査 98-17次・112-10次	
たいあんじ 大安寺	奈良市大安寺町 寺院	
蹄脚硯	内藤政恒 『本邦古硯考』 養徳社刊	1944
蹄脚硯	奈良国立博物館 『天平の地宝』 朝日新聞社刊	1961
圈足硯 灰釉	檀原考古研 『大安寺 50年度発掘調査概報』	1976
圈足硯 灰釉	奈文研 「大安寺の発掘調査」『昭和50年度 平城宮跡発掘調査部発掘調査概報』	1976
転用硯	奈文研 「大安寺西中房」『平城京左京六条三坊十四坪発掘調査概報』	1978

円面硯	五島美術館	『日本の陶硯』	1978
圈足硯	榎原考古研	「大安寺旧境内発掘調査概報」『奈良県遺跡調査概報 1978年度』	1979
とうしょうだいじ 唐招提寺	奈良市五条町	寺院	
圈足硯	内藤政恒	『本邦古硯考』 養徳社刊	1944
圈足硯	県文化財保存事務所	『国宝唐招提寺講堂他二棟修理工事報告書』 講堂下層	1972
圈足硯	五島美術館	『日本の陶硯』	1978
圈足硯	奈文研	「唐招提寺戒壇の調査」『昭和53年度 平城宮跡発掘調査部発掘調査概報』	1979
やくしじ 薬師寺	奈良市西ノ京町字東堂ほか	寺院	
圈足硯 灰釉、 蹄脚硯、宝珠硯	奈文研	『薬師寺西小子房・十字廊（食殿）発掘調査現地説明会資料』	1978
蹄脚硯、宝珠硯 灰釉、鳥形硯、 転用硯	奈文研	「薬師寺の調査 i) 東僧房北方の調査 ii) 西小子房・十字廊（食殿）地区の調査」『昭和52年度 平城宮跡発掘調査部発掘調査概報』	1978
圈足硯、二面風 字硯	五島美術館	『日本の陶硯』	1978
やくしじ 薬師寺西方	奈良市	未詳	
蹄脚硯	内藤政恒	『本邦古硯考』 養徳社刊	1944
あきしのでら 秋篠寺	奈良市秋篠町	寺院	
圈足硯	榎原考古研	「秋篠寺境内発掘調査報告」『県文報』15 県教委刊	1971
さいりゆうじ 西隆寺跡	奈良市西大寺町	寺院	
圈足硯	奈文研	『西隆寺発掘調査報告書』 西隆寺遺跡調査委員会刊	1976
圈足硯	五島美術館	『日本の陶硯』	1978
きこうじ* 喜光寺	奈良市菅原町	寺院	*別称 菅原寺
転用硯	県教委	「喜光寺境内発掘調査報告」『県文報』12	1969
ふる 布留遺跡	天理市布留町～杣之内町～三島町～豊井町～豊田町～守目堂町	集落・工房	
硯	置田雅昭	「布留遺跡（2）」『日本考古学年報』29 1976年度版	1978
蹄脚硯	布留遺跡範囲確認調査委員会	『布留遺跡 範囲確認調査報告書』 天理市教委刊	1979

ふじわらかみやう  
藤原宮跡

	榑原市高殿町～醍醐町～別所町～繩手町～法花寺町～四分町～木之本町	藤原宮
圈足硯	県教委	『藤原宮跡 昭和41年度調査概要』 1967
圈足硯	県教委	『藤原宮跡 昭和42年度調査概要』 1968
圈足硯, 蹄脚硯, 転用硯	県教委	『藤原宮 国道165号線バイパスに伴う宮域調査』 『奈良県史跡名勝天然記念物調査報告』25 1969
圈足硯	奈文研	『飛鳥・藤原宮発掘調査報告Ⅱ 藤原宮西方官衙地域の調査』 『奈文研学報』31 1978
蹄脚硯	奈文研	『藤原宮第21-1次調査』 『飛鳥・藤原宮発掘調査概報』8 東方官衙 1978
転用硯	奈文研	『藤原宮第23-4次の調査』 『飛鳥・藤原宮発掘調査概報』9 東方官衙 1979
圈足硯, 風字硯	奈文研	『藤原宮第34次(宮西南隅)発掘調査現地説明会資料』 1981
圈足硯, 蹄脚硯, 低圈足硯	岩本正二 <sup>ほか</sup>	『飛鳥・藤原宮跡の調査 藤原宮東面大垣・東方官衙 (第29・30・32次)の調査』 『奈文研年報』1981 1981
圈足硯, 低圈足 硯, 風字硯	奈文研	『藤原宮東面大垣地域の調査(第32次)』 『藤原宮西南隅地域の調査(第34次)』 『飛鳥・藤原宮発掘調査概報』12 1982
圈足硯		未報告 奈文研 1972年表採 宮西方官衙地区
圈足?硯		未報告 奈文研 1973年表採
円面硯		未報告 奈文研 1975年調査 18次 宮北門地区
圈足硯		未報告 奈文研 1979年調査 27次 東面北門

ふじわらかみやう  
藤原京

	榑原市南浦町法然寺 905 ほか	藤原京
左京八条三坊		
圈足硯	奈文研	『藤原宮第27-7次の調査』 『飛鳥・藤原宮発掘調査概報』10 1980
左京九条三坊	高市郡明日香村大字小山	
二面圈足硯		未報告 奈文研 1980年調査 筆立て付
右京五条三坊	榑原市繩手町	
圈足硯, 蹄脚硯		未報告 奈文研 1980年調査 28次
右京五条四坊	榑原市小房町	
圈足硯		未報告 奈文研 1981年調査 31次
右京七条一坊	榑原市上飛驒町	
圈足硯	奈文研	『藤原京右京七条一坊調査概報』 藤原京七条一坊跡 調査会刊 1978
圈足硯	奈文研	『藤原宮第23次・日高山瓦窯の調査』 『飛鳥・藤原宮発掘調査概報』9 一・二坪 1979

圈足硯 未報告 奈文研 1964年調査 朱雀大路  
 圈足硯, 蹄脚硯 未報告 奈文研 1975年調査

右京七条二坊 橿原市飛驒町  
 蹄脚硯 未報告 奈文研 1980年調査 29-1次調査

右京九条四坊 橿原市城殿町  
 圈足硯 未報告 奈文研 1974年調査  
 圈足硯 筆立て付 未報告 奈文研 1976年表採

やきむらさき\* 八木小房 橿原市小房町 未詳 \*旧八木藪検査所  
 蹄脚硯 帝室博物館 『天平地宝』 1937  
 蹄脚硯 内藤政恒 『本邦古硯考』 養徳社刊 1944  
 蹄脚硯 奈良国立博物館 『天平の地宝』 朝日新聞社刊 1961

もとやくしじ 本薬師寺 橿原市畝傍町字木殿 寺院  
 転用硯 五島美術館 『日本の陶硯』 1978

わだはいし 和田廃寺 橿原市和田町字トノダ〜柳田 寺院  
 圈足硯 奈文研 「和田廃寺第2次の調査」『飛鳥・藤原宮発掘調査概報』 1976  
 圈足硯 金子裕之<sup>ほか</sup> 「飛鳥・藤原宮跡の発掘調査 和田廃寺第2次調査」 1976  
 『奈文研年報』1976  
 蹄脚硯 未報告 奈文研 1974年調査

たいふく 大福遺跡 桜井市大字大福 有力層の居宅?  
 圈足硯 橿原考古研 『大福遺跡 桜井市大福所在遺跡の調査』『奈良県史跡名勝天然記念物調査報告』36 県教委刊 1978

やまだでら 山田寺跡 桜井市大字山田 寺院  
 円面硯, 蹄脚硯 未報告 奈文研 1982年調査 4次 東面回廊

ごほうやま 御坊山3号墳 生駒郡斑鳩町大字龍田 古墳  
 蹴脚硯 三彩 橿原考古研 『竜田御坊山古墳 付平野塚穴山古墳 斑鳩周辺地域の終末期古墳の調査報告』『奈良県史跡名勝天然記念物調査報告』32 1977

獣脚硯 三彩	五島美術館	『日本の陶硯』	1978
ほうりゆうじ 法隆寺	生駒郡斑鳩町大字法隆寺	寺院	
無脚硯, 猿面硯	内藤政恒	『本邦古硯考』 養徳社刊	1944
獣脚? 硯 緑釉	梅原末治	「日本に於ける多彩釉の窯器」『美術研究』226 美術 研究所刊	1963
無脚硯	内藤政恒	「調度 硯」『新版考古学講座』7 有史文化 下 雄山閣刊	1970
獣脚? 硯 緑釉	安田龍太郎 巽 淳一郎	「法隆寺出土土器の調査」『奈文研年報』1981 西院金堂基壇土中出土	1981
圈足硯, 風字硯	法隆寺発掘 調査概報編 集小委員会	『法隆寺発掘調査概報Ⅰ 昭和56年度防災工事に伴う 発掘調査』 法隆寺発掘調査概報編集小委員会刊	1982
あすか いたぶきのみやでんしやうち* 飛鳥板蓋宮伝承地	高市郡明日香村大字飛鳥~岡	宮殿	* 飛鳥京とも仮称する
転用硯	奈文研	「飛鳥板蓋宮伝承地発掘調査報告 立神塚東北方遺跡 の調査」『平城宮跡・伝飛鳥板蓋宮跡発掘調査報告』 『奈文研学報』10	1961
転用硯	榎原考古研	『飛鳥京跡 昭和46年度発掘調査概報』 28次 県教 委刊	1972
円面硯	中井一夫	「飛鳥京跡(第28次)」『日本考古学年報』24 1971年版	1973
圈足硯	榎原考古研	「飛鳥京跡第51次発掘調査出土木簡概報」『奈良県遺跡 調査概報1976年度』 県教委刊	1977
圈足硯, 転用硯	榎原考古研	『飛鳥京跡』2『奈良県史跡名勝天然記念物調査報告』 40 県教委刊	1980
いしのみ 石神遺跡	高市郡明日香村大字飛鳥字石神	宮殿	
風字硯 黒色土器		未報告 奈文研 1982年調査	
あすか であら 飛鳥寺	高市郡明日香村飛鳥	寺院	
圈足硯		未報告 奈文研 1977年調査 北門地区	
圈足硯		未報告 奈文研 1982年調査 寺域東北隅地区	
ひさし 平吉遺跡	高市郡明日香村大字豊浦字平吉	工房・祭祀	
圈足硯	奈文研	「平吉遺跡の調査」『飛鳥・藤原宮発掘調査概報』8	1978
圈足硯	山崎信二 <sup>ほか</sup>	「飛鳥・藤原宮跡の発掘調査 平吉遺跡の調査」 『奈文研年報』 1978	1978
いかづち 雷遺跡	高市郡明日香村大字飛鳥~小山	宮殿?	
硯 瓦質	藤井利章	「電話線埋設工事に伴う立会」『日本考古学年報』24 1971年版 日考協刊	1973



<sup>たいかんだいじ</sup>  
**大官大寺跡** 高市郡明日香村大字小山 寺院  
 圈足硯 奈文研 『大官大寺跡の調査』『飛鳥・藤原宮発掘調査概報』5 1975  
 圈足硯 五島美術館 『日本の陶硯』 1978  
 圈足硯 未報告 奈文研 1975・77・79・82年調査 2・4・6・9次

<sup>おくやまくめでら</sup>  
**奥山久米寺跡** 高市郡明日香村大字奥山 寺院  
 八花硯 奈文研 『奥山久米寺の調査』『飛鳥・藤原宮発掘調査概報』8 1978  
 八花硯 千田剛道 『奥山久米寺跡(3)』『日本考古学年報』30 1977年 1979  
 度版  
 圈足硯 未報告 奈文研 1975年調査  
 円面硯 未報告 奈文研 1977年調査

<sup>かみのいで</sup>  
**上ノ井手遺跡** 高市郡明日香村大字奥山 未詳  
 圈足硯、宝珠硯 奈文研 『飛鳥資料館建設地の調査』『飛鳥・藤原宮発掘調査概報』3 1973  
 硯 文化庁 『昭和48年度埋蔵文化財認定報告一覧』

<sup>うかたでら</sup>  
**坂田寺跡** 高市郡明日香村大字祝戸 寺院  
 圈足硯、転用硯 文化庁 『昭和48年度埋蔵文化財認定報告一覧』 奈文研1972年調査  
 圈足硯 未報告 奈文研 1974年調査。1972年調査の圈足硯と同一個体

<sup>いなふちのわにし</sup>  
**稲淵川西遺跡** 高市郡明日香村大字稲淵字菖蒲池25・26 宮殿？  
 蹄脚硯 奈文研 『稲淵川西遺跡の調査』『飛鳥・藤原宮発掘調査概報』7 1977

<sup>かわらでら</sup>  
**川原寺** 高市郡明日香村大字川原 寺院  
 圈足硯 未報告 奈文研 1982年調査 北方建物

<sup>たいまでら</sup>  
**当麻寺** 北葛城郡当麻町大字当麻字寺田 寺院  
 猿面硯 内藤政恒 『本邦古硯雑考』『考古学』10—6 東京考古学会刊 1939  
 猿面硯 内藤政恒 『本邦古硯考』伝世品 養徳社刊 1944

## 和歌山県

<sup>きいふちゆう</sup>  
**紀伊府中遺跡** 和歌山市府中 紀伊国府推定地  
 圈足？硯 県教委 『紀伊府中遺跡調査概報』 1969

なるかみど  
鳴神V遺跡 和歌山市鳴神 集落  
円面硯 県教委<sup>はか</sup> 『和歌山市鳴神所在 鳴神地区遺跡発掘調査概報Ⅰ・Ⅱ』 A地区 1979

だいにちやまいち  
大日山I遺跡 和歌山市井辺 祭祀  
亀形硯蓋 図36 県教委 『近畿自動車道和歌山線埋蔵文化財調査報告』『県文化財学術調査報告書』5 1972  
亀形硯蓋 奈文研 『平城宮発掘調査報告Ⅵ』『奈文研学報』26 1976

なちさんぼう  
那智山房址 東牟婁郡那智勝浦町大字那智山 寺院  
風字?硯 桐山義雄 『那智山房址緊急調査概報』 県文化財研究会刊 1965  
硯 巽三郎 『和歌山県東牟婁郡那智山房址遺跡』『日本考古学年報』17 昭和39年度 日考協刊 1969  
硯 巽三郎 『和歌山県那智山房址遺跡』『日本考古学年報』18 昭和40年度 日考協刊 1970  
転用硯 山茶碗 石井則孝 『陶硯について(3)』『史館』4 市川ジャーナル社刊 1974  
掲載書未詳 小賀直樹氏教示

## 鳥取県

ほうきこくが  
伯耆国衙 倉吉市国府 伯耆国衙  
園足硯, 蹄脚硯 倉吉市教委 『伯耆国分尼寺跡発掘調査概報Ⅰ』 1974  
園足硯 倉吉市教委 『伯耆国分尼寺・官衙跡発掘調査概報』 1975  
園足硯 倉吉市教委 『伯耆国庁跡発掘調査概報(第3次)』 1976  
硯 倉吉市教委 『伯耆国庁跡発掘調査資料(昭和51年度)』 がり刷 1977  
園足硯, 転用硯, 平頭風字硯 倉吉市教委 『伯耆国庁跡発掘調査概報(第4次)』 1977  
円面硯 倉吉市教委 『伯耆国庁跡の発掘調査(第5次調査の概要)』 1978  
円面硯, 風字硯 真田広幸 『伯耆国庁跡』『日本考古学年報』29 1976年度版 1978  
園足硯, 風字硯, 転用硯 五島美術館 『日本の陶硯』 1978  
園足硯, 風字硯, 転用硯 倉吉市教委 『伯耆国庁跡発掘調査概報(第5・6次)』 1979  
陶硯 真田広幸 『伯耆国庁跡』『日本考古学年報』30 1977年度版 1979

ほうきこくぶんじ  
伯耆国分尼寺 倉吉市国府 寺院/官衙  
園足硯, 風字硯 倉吉市教委 『伯耆国分尼寺跡発掘調査概報』 1974  
円面硯 岡本東三 『伯耆国分尼寺跡の調査』『奈文研年報』1974 1975  
転用硯 倉吉市教委 『伯耆国分尼寺・官衙跡発掘調査概報』 1975

いなほこくふ  
因幡国府  
岩美郡国府町大字中郷～庁  
因幡国府  
圈足硯，転用硯  
県教委 『因幡国府遺跡発掘調査報告書Ⅵ』 1978  
圈足硯  
県教委 『因幡国府遺跡発掘調査報告書Ⅶ』 庁地区 1979

まんたいじ  
万代寺遺跡  
八頭郡郡家町大字万代寺  
因幡国八上郡衙  
圈足硯  
『日本海新聞』掲載 1982

はじもい  
土師百井廃寺跡  
八頭郡郡家町  
寺院  
圈足硯  
郡家町教委 『土師百井廃寺跡発掘調査報告書』Ⅰ 1979

にしのおか  
西ノ岡遺跡  
八頭郡船岡町大字福井字西ノ岡  
集落？  
圈足硯  
船岡町教委 『西ノ岡遺跡発掘調査報告書』 1981

かんぼら  
上原遺跡  
気高郡気高町大字上原  
因幡国気多郡衙  
転用硯  
山中敏史 「考古ニュース 郡衙推定遺跡から転用硯・墨書土器 1982  
出土」『考古学ジャーナル』 212

てらうち  
寺内廃寺  
気高郡鹿野町大字寺内  
寺院  
圈足硯  
関西大学 『寺内廃寺発掘調査概報Ⅱ』文学部考古学研究室刊 1979

おおたかの  
大高野遺跡  
東伯郡東伯町大字槻下字鴛籠据場  
伯耆国八橋郡衙  
転用硯  
東伯町教委 『大高野遺跡発掘調査概報』『東伯町文報』 5 1982

## 島根県

ババタケ窯跡  
松江市大井町字ババタケ  
窯  
圈足硯  
未報告 県博蔵

いずも  
出雲国衙跡  
松江市大草町宮の後  
出雲国衙  
陶硯，転用硯  
町田 章 「出雲国庁跡の調査」『奈文研年報』 1970 1970  
圈足硯  
松江市教委 『出雲国庁の発掘 1968～1970』 1970  
圈足硯，低圈足硯，風字硯，転用硯  
松江市教委 『出雲国庁跡発掘調査概報』 1971  
圈足硯  
五島美術館 『日本の陶硯』 1978

陶硯	東森市良	「出雲国庁跡」『日本考古学年報』21・22・23	1981
じやかんたに 蛇貫谷遺跡 圈足硯	松江市大井町蛇貫谷	窯？ 未報告 県博蔵	
さいのとうげ 才ノ峠遺跡 圈足硯	松江市竹矢町才ノ峠	祭祀遺跡？ 広江耕史 「才ノ峠遺跡」『国道9号線バイパス建設予定地内埋蔵文化財発掘調査報告書一Ⅲ一』 県教委刊	1981
おおはらちやばたけ 大原茶畑遺跡 圈足硯	安来市佐久保町	玉作工房 未報告 県教委教示	
カネツキ免遺跡 蹄脚硯、低圈足硯 蹄脚硯	仁田郡仁田町大字郡村 仁田町教委	館？ 『カネツキ免遺跡概報』 近刊	1982
	八雲立つ風 土記の丘	『特別展 島根の古代』	1982
まつもと 松本4号墳 提瓶形硯 提瓶形硯 提瓶形硯	飯石郡三刀屋町大字給下 山本 清 石井則孝 栢崎彰一	古墳 『松本古墳調査報告』県教委刊 『陶硯について(1)』『史館』創刊号 市川ジャーナル社刊 『日本古代の陶硯—とくに分類について—』『考古学論考 小林行雄博士古稀記念論文集』 平凡社刊	1963 1973 1982
ほつきょう 法橋遺跡 圈足硯	邑智郡石見町大字中野字法橋 松本岩雄	未詳 「邑智郡石見町出土の陶硯」『ふいーるど・の〜と』4 本庄考古学研究室刊	1983
しげとみ 重富遺跡 圈足硯	那賀郡旭町大字重富 県 教 委	寺院？ 『中国横断道遺跡分布調査概要』 近刊	1982
おさこくふんにじ 隠岐国分尼寺跡 転用硯 転用硯 瓦	隠岐郡西郷町大字有木字野中15の3番地 勝部 昭 内田律雄	隠岐国分尼寺／周吉郡衙 「調査報告 隠岐国分尼寺跡」『季刊文化財』6 県文化財愛護協会刊 「隠岐郷土館所蔵の転用硯」『八雲立つ風土記の丘』52 八雲立つ風土記の丘刊	1968 1982

## 岡山県

<sup>びぜん</sup>  
備前国府推定地  
平頭風字硯

岡山市国府市場

備前国府

内藤政恒 「調度 硯」『新版考古学講座』7 有史文化 下 1970

<sup>ひやまがわ</sup>  
百間川遺跡群

円面硯

岡山市米田

官衙？

県 教 委 『百間川遺跡第一次調査概報—旭川放水路改修工事に伴う—』新田サイフォン区画 1977

圈足硯, 蹄脚硯

県 教 委

「百間川岩間遺跡」『旭川放水路（百間川）改修工事に伴う発掘調査』Ⅱ『県埋文報』46 百間川岩間遺跡 1981

圈足硯

県 教 委

「旭川放水路（百間川）改修工事に伴う発掘調査」『県埋蔵文化財報告』12 百間川当麻遺跡 1982

圈足硯

県 教 委

「旭川放水路（百間川）改修工事に伴う発掘調査」『県埋文報』52 百間川当麻遺跡 1982

<sup>かわいり</sup>  
川入遺跡

圈足硯

岡山市川入

寺院？／水駅／郡津

大谷 猛

「川入遺跡」『山陽新幹線建設に伴う調査Ⅱ（岡山以西）』『県埋文報』2 大道西Ⅰ調査区 県教委刊 1974

<sup>しょうだ</sup>  
賞田廃寺

獣脚硯？

岡山市賞田

寺院

賞田廃寺発掘調査団

『賞田廃寺発掘調査報告』 1971

<sup>はた</sup>  
幡多廃寺

圈足硯, 転用硯

岡山市赤田

寺院

岡山市教委

『幡多廃寺発掘調査報告』 1975

<sup>おまち</sup>  
雄町遺跡

圈足硯, 風字硯, 転用硯

岡山市雄町

遺物包含地 備前国府域内

県 教 委

「雄町遺跡」『山陽新幹線建設に伴う調査』『県埋文報』1 第2調査区 1972

圈足硯, 風字硯, 転用硯

正岡睦夫

「雄町遺跡出土の硯と歴史時代の須恵器について」『県埋蔵文化財報告』7 県教委刊 1977

<sup>やまがみ</sup>  
山上遺跡群\*

長方硯 永仁2年銘

岡山市一宮

寺院／遺物散布地

\* <sup>じんりきじ</sup>  
別称 神力寺廃寺

五島美術館

『日本の陶硯』 1978

長方硯 永仁2年銘

榑崎彰一

「日本古代の陶硯—とくに分類について—」『考古学論考』小林行雄博士古稀記念論文集』平凡社刊 1982

<sup>つだかきた</sup>  
津高北廃寺

圈足硯

岡山市津高

寺院

未報告 板倉コレクション

さがた <b>寒田5号窯址</b> 圈足硯	倉敷市玉島陶字寒田 窯 県 教 委	「寒田5号窯址の調査」『黒土窯址・寒田窯址』『広域管 農団地農道整備事業(備南地区)に伴う発掘調査』I 『県埋文報』31	1979
じょうとう <b>上東遺跡</b> 風字硯	倉敷市上東 県 教 委	屋敷地の区画溝？ 「上東遺跡」『川入・上東遺跡』『県埋文報』16	溝出土 1977
やべ <b>矢部遺跡</b> 圈足硯	倉敷市矢部 県 教 委	官衙？ 「矢部遺跡の調査」『県埋蔵文化財報告』13	1983
みまさかこくふ <b>美作国府</b> 圈足硯、蹄脚硯、 風字硯、転用硯	津山市総社 岡田 博	美作国府 「美作国府遺跡の調査」『県埋蔵文化財報告』2 県教 委刊	1972
圈足硯、蹄脚硯、 風字硯、転用硯	県 教 委	「美作国府跡」『中国縦貫自動車道建設に伴う発掘調査』 3 『県埋文報』6	1974
圈足硯、蹄脚硯、 風字硯、猿面硯	五島美術館	『日本の陶硯』	1978
猿面硯	榑崎彰一	「猿面硯について」『MUSEUM』341 東京国立博刊	1979
猿面硯	榑崎彰一	「日本古代の陶硯—とくに分類について—」『考古学論 考 小林行雄博士古稀記念論文集』 平凡社刊	1982
てんじんばら <b>天神原遺跡</b> 円面硯	津山市河辺 県 教 委	遺物包含地 「天神原遺跡」『中国縦貫自動車道建設に伴う発掘調査』 4 『県埋文報』7	1975
たかはしだに <b>高橋谷遺跡</b> 円面硯、円頭風 字硯	津山市山北 五島美術館	遺物包含地 美作国府に隣接 『日本の陶硯』	1978
みまさか <b>美作国分寺古墳*</b> 圈足硯	津山市河辺～国分寺 内藤政恒	寺院／古墳 *古墳出土の確証なし 『本邦古硯考』 養徳社刊	1944
圈足硯	奈 良 博	『天平の地宝』 朝日新聞社刊	1961
円面硯	津山市河辺 記念物課	未詳 『昭和48年度埋文認定報告一覧』 文化庁刊	
よしおか <b>吉岡廃寺</b>	赤磐郡瀬戸町塩納 寺院		

圈足硯?	県教委 『吉岡廃寺』『県埋文報』49	1982
陣場山遺跡群 坂折地点	赤磐郡瀬戸町江尻	集落
圈足硯	未報告 県教委教示	
門前池遺跡	赤磐郡山陽町下市～熊崎	備前国赤坂郡衙?
圈足硯?	県教委 「第2次調査第3地点の調査」『門前池遺跡(山陽住宅 団地造成に伴う発掘調査)』『県埋文報』9	1975
邑久古窯址群 1・2号窯*	邑久郡牛窓町長浜字寒風	窯
圈足硯	五島美術館 『日本の陶硯』	*別称 寒風遺跡 1978
鳥形硯	邑久郡邑久町	窯?
鳥形硯	五島美術館 『日本の陶硯』	1978
	柄崎彰一 「日本古代の陶硯—とくに分類について—」『考古学論 考 小林行雄博士古稀記念論文集』 平凡社刊	1982
門田貝塚	邑久郡邑久町尾根	官衙?
圈足硯, 転用硯	県教委 「門田貝塚」『県埋文報』55	1983
前池奥の窯址	都窪郡山手村大字宿奥の池窯	窯
圈足硯	時実和一 『大泊の窯跡』5 個人出版	1946
毎戸遺跡	小田郡矢掛町浅海字毎戸	駅家?
圈足硯, 風字硯	県教委 「毎戸遺跡の調査」『国鉄井原線建設に伴う埋蔵文化財 発掘調査報告』『県埋文報』5	1974
小殿遺跡	上房郡北房町大字上水田小殿	備中国英賀郡衙
圈足硯	県教委 『小殿(英賀郡衙推定地)・英賀廃寺』『県埋文報』38	1980
谷尻遺跡	上房郡北房町大字上水田谷尻	集落 英賀廃寺関連遺跡
円面硯	県教委 「谷尻遺跡」『中国縦貫自動車道建設に伴う発掘調査』 6 『県埋文報』11	1976

えき 植木遺跡 長方硯	上房郡北房町大字下菅部字植木小字古城 戦国武将の居館 県 教 委 「植木遺跡」『中国縦貫自動車道建設に伴う発掘調査』1976 6 『県埋文報』11
にしえ 西江遺跡 圈足硯	阿哲郡哲西町大字上神代字西江 集落 県 教 委 「西江遺跡」『中国縦貫自動車道建設に伴う発掘調査』1977 10 『県埋文報』20 実政調査区
しもいらせ 下市瀬遺跡 転用硯	真庭郡落合町下市瀬 寺院／官衙／地方豪族の館 県 教 委 「下市瀬遺跡」『中国縦貫自動車道建設に伴う発掘調査』1974 1 『県埋文報』3 B調査区
しもいらせ 下市瀬遺跡 転用硯	五島美術館 『日本の陶硯』 1978
くおり 郡遺跡 円面硯	真庭郡落合町大字鹿田字郡 遺物散布地 町教委は、 『中山遺跡』 遺跡地名表 1978
しもこうち 下河内遺跡 転用硯	真庭郡落合町大字西原 遺物散布地 県 教 委 「下河内遺跡」『中国縦貫自動車道建設に伴う発掘調査』1975 5 『県埋文報』8
たいら 平遺跡 圈足硯, 蹄脚硯, 円頭風字硯, 平 頭?風字硯, 長 方硯, 転用硯	勝田郡勝央町平 美作国勝田郡衙 田中満雄 「平遺跡」『中国縦貫自動車道建設に伴う発掘調査』5 1975 『県埋文報』8 県教委刊
圈足硯, 蹄脚硯, 風字硯, 蹄脚硯, 円形?硯	五島美術館 『日本の陶硯』 1978
長方硯	梶崎彰一 「日本古代の陶硯—とくに分類について—」『考古学論 1982 考 小林行雄博士古稀記念論文集』 平凡社刊
かつまだ 勝間田遺跡 圈足硯	勝田郡勝央町勝間田川西 美作国勝田郡衙 橋本惣司 「勝間田遺跡緊急発掘調査概要」『県埋蔵文化財報告』1974 4 県教委刊
圈足硯	五島美術館 『日本の陶硯』 1978
陶?硯	勝田郡勝央町福吉 未詳 記念物課 『昭和48年度埋文認定報告一覽』 文化庁刊



高本遺跡 圈足硯	英田郡作東町江見字高本 美作国英田郡衙／郷倉		
圈足硯	県 教 委 「高本遺跡 中国縦貫自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査」『県埋蔵文化財報告』4	1974	
圈足硯	井上 弘 「高本遺跡」『中国縦貫自動車道建設に伴う発掘調査』5 『県埋文報』8	1975	
圈足硯	五島美術館 『日本の陶硯』	1978	
大海廃寺 圈足硯	英田郡作東町山手 寺院		
圈足硯	県 教 委 『大海廃寺緊急発掘調査報告書』『県埋文報』26	1978	
福本天神の前散布地 圈足硯	英田郡英田町福本 官衙？		
圈足硯	県 教 委 『県埋文報』13 英田町教委保管	1976	
宮尾遺跡 圈足硯	久米郡久米町宮尾 美作国久米郡衙		
圈足硯、猿面硯、 転用硯	橋本惣司 「宮尾遺跡の調査」『県埋蔵文化財報告』2 県教委刊	1972	
圈足硯、猿面硯、 転用硯	県 教 委 「宮尾遺跡」『中国縦貫自動車道建設に伴う発掘調査』2 『県埋文報』4	1974	
円面硯	橋本惣司 「宮尾遺跡」『日本考古学年報』27 1974年版	1976	
転用硯	五島美術館 『日本の陶硯』	1978	
猿面硯	桒崎彰一 「猿面硯について」『MUSEUM』341 東京国立博物館刊	1979	
久米廃寺 圈足硯	久米郡久米町宮尾唐臼 寺院		
圈足硯	県 教 委 「久米廃寺」『中国縦貫自動車道建設に伴う発掘調査』2 『県埋文報』4	1974	
圈足硯	県 教 委 「久米廃寺（補遺編）」『中国縦貫自動車道建設に伴う発掘調査』『県埋文報』24	1978	
圈足硯	五島美術館 『日本の陶硯』	1978	
法事坊遺跡 圈足硯	久米郡久米町南方中 寺院関係？		
圈足硯	久米開発事業に伴う文化財調査委 「法事坊遺跡」『榎山遺跡群Ⅰ（集落遺跡編）』『久米開発事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告』1	1979	
領家遺跡 圈足硯	久米郡久米町領家 集落		
圈足硯	栗野克己 「領家遺跡」『中国縦貫自動車道建設に伴う発掘調査』5 『県埋文報』8	1975	

## 広島県

草戸千軒町遺跡 長方硯	福山市草戸町 篠原芳秀	常福寺門前の市場町／港町 「草戸千軒町遺跡出土の硯」『草戸千軒』39(4-5) 草戸研刊	1976
長方硯	篠原芳秀	「草戸千軒町遺跡出土の硯Ⅱ」『草戸千軒』62	1978
長方硯	篠原芳秀	「草戸千軒町遺跡出土の硯Ⅲ」『草戸千軒』80	1980
許山遺跡 圈足硯	三原市高坂町許山 向田裕始	窯 「三原市高坂町許山窯跡の出土遺物」『芸備』13 芸備友の会刊	1983
上山手廃寺 転用硯 圈足硯、転用硯	三次市向江田町無量地 県教委 県教委	寺院 『上山手廃寺発掘調査概報(1)』 『上山手廃寺発掘調査概報(3)』	1979 1981
寺町廃寺 転用硯	三次市向江田町寺町 三次市教委 中村芳昭 三次市教委	寺院 『備後寺町廃寺 推定三谷寺跡第2次発掘調査概報』 「寺町廃寺跡」『年報 ひろしまの遺跡—昭和56年度における広島県の発掘調査—』 県埋文センター刊 『備後寺町廃寺 推定三谷寺跡第3次発掘調査概報』	1981 1982 1982
下本谷遺跡 転用硯 転用硯 転用硯 転用硯	三次市西酒屋町善法寺 下本谷遺跡発掘調査団 県教委 定宗一宏編 県教委	備後国三次郡衙 『下本谷遺跡 推定備後国三次郡衙跡の発掘調査報告』 『下本谷遺跡発掘調査概報』 『郷土史事典 広島県』 『下本谷遺跡第3次発掘調査概報』	1975 1980 1981 1982
牛乗遺跡 転用硯	庄原市本村町牛乗 県教委	集落 「牛乗遺跡」『中国縦貫自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告(1)』	1978
安芸国分尼寺跡 転用硯 転用硯	東広島市西条町大字吉行 県教委 県教委	寺院 『安芸国分尼寺跡 第1次調査概報』 『安芸国分尼寺跡 伝承地にかかる第3次調査概報』	1978 1980
下岡田遺跡 圈足硯	安芸郡府中町城ヶ丘 町史編纂委	安芸駅家／安芸国府／安芸郡衙 『安芸郡府中町史 資料編』	

円面硯	広島県	『広島県史 考古編』	1979
円面硯	松崎寿和	『広島県の考古学』『郷土考古学叢書』8	1981

<small>ごりよう</small> 御領遺跡	深安郡神辺町大字上御領～下御領	備後国府推定地	
円面硯	松下正司	「神辺方八町（推定備後国府跡）の調査」『草戸千軒遺跡』17 福山市教委刊	1974
円面硯	福井万千	「発掘調査ニュース 神辺御領遺跡」『草戸千軒遺跡』32 県教委刊	1976
蹄脚硯	県教委	『神辺御領遺跡第1次発掘調査概報』	1976
円面硯	神辺郷土史研究会	「神辺の古代寺院跡」『神辺の歴史と文化』7	1980

<small>おのみや</small> 大宮遺跡	深安郡神辺町大字湯野	備後国府推定地／遺物包含地	
圈足硯	県教委	『大宮遺跡第5次発掘調査概報』	1982
円面硯	嶋田 滋	「大宮遺跡」『年報 ひろしまの遺跡—昭和56年度における広島県の発掘調査—』 県埋文センター刊	1982
圈足硯	県教委	『大宮遺跡第5次発掘調査概報』	1982

## 山口県

<small>ききさ</small> 木崎遺跡	山口市大字吉数字木崎	集落	
圈足硯	県教委	『朝田墳墓群Ⅰ付木崎遺跡』『県埋文報』32	1976

<small>あきね</small> 秋根遺跡	下関市大字秋根	集落／長門国豊浦郡衙？	
転用硯	下関市教委	『秋根遺跡』	1977

<small>ひまじり</small> 稗尻遺跡	下関市大字永田郷字塚原	窯	
圈足硯	五島美術館	『日本の陶硯』	1978

<small>すおうこくふ</small> 周防国府	防府市惣社町～国衙～多々良～警固町～勝間	周防国府	
圈足硯	防府市教委	『周防の国衙』	1967
転用硯	防府市教委	『周防国衙—南限地域—の調査』	1976
円面硯	防府市教委	『周防国府跡 昭和51年度発掘調査概報』	1978
圈足硯	五島美術館	『日本の陶硯』	1978
猿面硯	周防国府跡調査会	「地方官人の硯？—猿面硯の出土について」『国府通信』3	1979
圈足硯	防府市教委	「周防国府跡 昭和53年度発掘調査概報」『防府市文化財調査年報』Ⅱ	1980
圈足硯、無脚／ 獸脚硯、猿面硯	防府市教委	「周防国府跡 昭和54年度発掘調査概報」『防府市文化財調査年報』Ⅲ	1981

ながとよかわ  
長門深川廃寺 長門市西深川字板持 寺院 \*別称 大津廃寺  
圏足硯 県文化課 『大津廃寺 主要遺跡範囲確認調査』 県・市教委刊 1976  
圏足硯 県文化課 『長門深川廃寺』『県埋文報』34 県教委刊 1977  
圏足硯 五島美術館 『日本の陶硯』 1978

うすだ  
白田遺跡 玖珂郡玖珂町字白田 7023 番地 遺物包含地  
圏足硯？ 県 教 委 『白田遺跡』『白田・原島・新畑遺跡』『県埋文報』21 1973

はらぼたけ  
原島遺跡\* 玖珂郡周東町大字高森字原島 集落 \*別称 相津遺跡  
圏足硯？ 県 教 委 『原島（相津）遺跡』『白田・原畑・新畑遺跡』『県埋文報』21 1974

## 徳 島 県

にゅうた  
入田瓦窯跡 徳島市入田町内の御田 309 番地 窯  
円面硯 県 教 委 『徳島県遺跡目録』『県文報』7 1963  
圏足硯 県博建設記念学術奨励基金運用委 『徳島市入田町入田瓦窯跡調査概報 徳島県那賀郡古屋岩蔭遺跡調査概報 昭和44年度』 1970  
圏足硯 県博物館 『古代の阿波』 1976

たか が わら  
高川原遺跡 名西郡石井町高川原字加茂野～桜間 阿波国名西郡衙  
圏足硯 県博物館 『古代の阿波』 1976  
硯 松永佳美 『徳島県高川原遺跡』『日本考古学年報』32 1979年度 1982  
近藤 賢 版 日考協刊

りゅうこうじ  
立光寺跡 美馬郡美馬町字銀杏木 69 寺院  
円面硯 美馬町教委 『立光寺跡の発掘調査』『県文報』11 1968

## 香 川 県

さねきくふ  
讃岐国府 坂出市府中町本村 讃岐国府  
圏足硯 県 教 委 『讃岐国府跡 国庫補助による国府跡確認調査概要』 1982  
円面硯 四国新聞社 『坂出讃岐国府の全調査終了』『四国新聞』 1982

うちとし  
打越窯跡 坂出市府中町打越 窯  
円面硯 県 教 委 『香川県埋蔵文化財調査年報』昭和57年度 1983

わさじま 羽佐島遺跡 長方硯	坂出市与島町 未報告 調査者教示	遺物包含層	
しこくがくいんたいがくこうない 四国学院大学構内遺跡 圈足硯	善通寺市上吉田町 松本豊胤 「四国学院大学構内遺跡」『日本考古学年報』29	遺物散布地	1978
しろとり 白鳥廃寺跡 円面硯	大川郡白鳥町湊 県 教 委 「香川県埋蔵文化財調査年報」昭和57年度	寺院	1983
にしむら 西村遺跡 二面平頭風字硯, 二面風字硯, 長 方硯	綾歌郡綾南町陶 県 教 委 「西村遺跡Ⅲ」『国道32号線南バイパス建設工事に伴な う埋蔵文化財発掘調査』	集落	1982
すえむら 陶邑窯 明神谷灰原 圈足硯	綾歌郡綾南町内間 790 番地 県 教 委 「香川県陶邑古窯跡群調査報告」	窯	1968
たむらしんじや 田村神社東灰原 風字硯	綾歌郡綾南町内間 821 番地 県 教 委 「香川県陶邑古窯跡群調査報告」		1968
おおいみなのみ 大水上神社境内窯跡 長方硯	三豊郡高瀬町大字羽方 県史名天調 査会 「三豊郡二宮村大水上神社境内窯跡」『史跡名勝天然記 念物調査報告』3	窯	1928
<b>愛媛県</b>			
あひくめ 北久米遺跡 圈足硯	松山市北久米町 松山市史料 集編集委 「松山市史料集 第1巻 考古編」	集落	1980
圈足硯	県史編纂委 「愛媛県史 原始・古代Ⅰ」		1982
くめくぼた 久米窪田Ⅱ遺跡 圈足硯	松山市久米窪田町 県 教 委 「久米窪田遺跡」『一般国道11号松山東道路関係遺跡埋 蔵文化財調査報告書Ⅱ』『県埋文報』5	伊予国久米郡衛	1981
円面硯	阪本安光 「考古ニュース 日本最古のパンコムギ栽培地」『考古 学ジャーナル』203 ニュー・サイエンス社刊		1982

<sup>ひらい</sup>  
平井遺跡 松山市平井4丁目503番1号 窯跡近くの遺物廃棄場所？  
圈足硯、低圈足硯 県埋文センター 『一般国道11号松山東道路関係遺跡埋蔵文化財調査報 1982告書IV』

<sup>たに</sup>  
カメ谷窯跡 新居浜市船木 窯  
獣脚硯 県史編纂委 『愛媛県史 原始・古代I』 1982

<sup>がらん</sup>  
伽藍窯跡 温泉郡重信町大字下林 窯  
無脚硯 重信町 『重信町誌』 1975  
無脚硯 県史編纂委 『愛媛県史 原始・古代I』 1982

## 高知県

<sup>とさ</sup>  
土佐国府 南国市比江 土佐国府  
圈足硯、風字硯、転用硯 県教委 『土佐国衙跡発掘調査報告書I 神ノ木戸・クゲ・国庁地区の調査』 1980  
圈足硯、風字硯、転用硯 宅間一之 「高知県における発掘調査の成果 昭和54・55年度を中心として」『海南史学』19 高知海南史学会刊 1981  
圈足硯 県教委 『土佐国衙跡発掘調査報告書3 府中地区の調査』 1982  
圈足硯、風字硯、転用硯 宅間一之 『日本考古学年報』32 1979年版 日本考古学協会刊 1982

<sup>たむら</sup>  
田村遺跡群 南国市田村 集落 中世田村城関係  
長方硯 宅間一之 「高知県における発掘調査の成果 昭和54・55年度を中心として」『海南史学』19 高知海南史学会刊 1981

## 福岡県

<sup>ごそじんじや</sup>  
御祖神社窯跡 北九州市小倉南区大字朽網 窯  
円面硯 小田富士雄 「福岡県瀬戸横穴古墳出土の円面硯」『考古学雑誌』48 1962-1 日本考古学会刊  
円面硯 小田富士雄 「九州発見古硯出土遺跡地名表」『塚ノ谷古窯跡群一八女古窯跡群調査報告I一』 八女市教委刊 1969  
圈足硯 北九州市埋文調査会 「豊前地方の須恵器窯跡 御祖窯跡」『天観寺山窯跡群』1977

<sup>ながの</sup>  
長野遺跡 北九州市小倉南区大字長野 官衙？  
風字硯、転用硯 小方泰宏 「福岡・長野遺跡」『木簡研究』4 木簡学会刊 1982

しょうえん 勝円B遺跡 転用硯	北九州市小倉南区大字曾根 市教委 <sup>13</sup> か	集落 「勝円B遺跡」『北九州市文報』38	1980
みやけ 三宅廃寺 転用硯	福岡市南区三宅字コクフ 福岡市教委	寺院 『福岡市南区三宅廃寺 発掘調査報告書』『福岡市埋文 報』50	1979
ゆのう 湯納遺跡 圈足硯, 転用硯 圈足硯	福岡市西区大字拾六町 県教委	荘家? 『今宿バイパス関係埋蔵文化財調査報告4 福岡市西 区大字拾六町所在湯納遺跡の調査』 『湯納遺跡』『今宿バイパス関係埋蔵文化財調査報告5 福岡市西区・糸島郡前原町所在の遺跡の調査』	1976 1977
にしのはら 西ノ原遺跡 円面硯 獣脚硯 獣脚硯	久留米市荒木町 小田富士雄 鏡山 猛 五島美術館	集落 『福岡県瀬戸横穴古墳出土の円面硯』『考古学雑誌』48 1962 -1 日本考古学会刊 『筑後荒木出土の多脚円面硯の一例』『九州考古学』16 1962 『日本の陶硯』	1962 1978
こうら じんじや 高良神社付近 猿面硯	久留米市御井町高良山 久留米市教 委	未詳 『筑後地方陶硯出土地名表』『筑後国府跡 昭和51・52 1979 ・53年度発掘調査概報』『久留米市文報』20	1979
すぎ のじょう 杉ノ城遺跡 風字硯, 二面風 字硯 土師質 風字硯, 二面風 字硯	久留米市御井町高良山 五島美術館 久留米市教 委	寺院 山坊 『日本の陶硯』 『筑後地方陶硯出土地名表』『筑後国府跡 昭和51・52 1978 ・53年度発掘調査概報』『久留米市文報』20	1978 1978
ちくご 筑後国府 円面硯 円面硯 円面硯 風字硯 圈足硯, 双脚円 形硯 圈足硯, 平頭風 字硯, 転用硯	久留米市合川町～御井町 小田富士雄 小田富士雄 市教委 古賀 寿 五島美術館 久留米市教 委	筑後国府 『福岡県瀬戸横穴古墳出土の円面硯』『考古学雑誌』48 1962 -1 日本考古学会刊 『九州発見古硯出土遺跡地名表』『塚ノ谷古窯跡群一八 女古窯跡群調査報告I一』 八女市教委刊 『筑後国府I』『久留米市文報』12 『久保野遺跡』『日本考古学年報』29 1976年版 『日本の陶硯』 『第12次調査』『第13次調査』『第24次調査』『第25次調査』1979 『筑後国府跡 昭和51・52・53年度発掘調査概報』『久 留米市文報』20	1962 1969 1976 1978 1978 1979

風字硯	久留米市史 編纂委員会	『目で見る久留米の歴史』	1979
圈足硯、風字硯	久留米市教 委	「第31次調査」「第33次調査」「筑後国府跡 昭和54年度 発掘調査概報」『久留米市文報』23	1980
転用硯、硯	久留米市教 委	『筑後国府跡 昭和55年度発掘調査概報』『久留米市文 報』26	1981
硯	久留米市教 委	「第50次調査」「筑後国府跡・国分寺跡 昭和56年度発 掘調査概報」『久留米市文報』33	1982
硯	松村一良	「福岡県筑後国衙」『日本考古学年報』32 1979年版	1982

したみ  
下見遺跡

下見遺跡	久留米市東合川町下見	集落／筑後国府	
圈足硯？	久留米市教 委	「下見遺跡の調査(A～F地点)」『東部土地区画整理事 業関係埋蔵文化財調査報告書Ⅰ』『久留米市文報』29	1981

つかのたに  
塚ノ谷窯跡群

塚ノ谷窯跡群	八女市大字本	窯	
圈足硯	八女市教委	『塚ノ谷窯跡群一八女古窯跡群調査報告Ⅰ』1・2 号窯	1969
圈足硯	五島美術館	『日本の陶硯』 1号窯	1978

しろまる  
四郎丸窯跡

四郎丸窯跡	豊前市大字四郎丸	窯	
圈足硯	北九州市埋 文調査会	「豊前地方の須恵器窯跡 四郎丸窯跡」『天観寺山窯跡 群』	1977

なかも  
中間中学校横穴

中間中学校横穴	中間市大字垣生字高坪 490	古墳 別称 瀬戸横穴古墳	
三脚円形硯	小田富士雄	「福岡県瀬戸横穴古墳出土の円面硯」『考古学雑誌』 48-1 日本考古学会刊	1962
三脚円形硯	五島美術館	『日本の陶硯』	1978
三脚円形硯	小田富士雄 <sup>ほか</sup>	『中間市史』上巻	1978
三脚円形硯	檜崎彰一	「日本古代の陶硯—とくに分類について—」『考古学論 考 小林行雄博士古稀記念論文集』 平凡社刊	1982

おごおり  
小郡遺跡

小郡遺跡	小郡市小郡字向築地	筑後国御原郡衙	
圈足硯	県 教 委	『福岡県三井郡小郡遺跡発掘調査概報 1967夏-秋』 『県文報』39	1968

うらのほろ  
浦ノ原窯跡

浦ノ原窯跡	春日市大字下白水浦ノ原	窯	
提瓶形硯	春日市教委	『浦ノ原窯跡群』『春日市文報』11 亀頭形の把手	1981

かすがごくでん  
春日御供田区画整地事業地内遺跡第3地点 春日市大字春日字徳府 集落

春日御供田区画整地事業地内遺跡第3地点	春日市大字春日字徳府	集落	
獣脚硯 図11	県 教 委	『春日御供田区画整地事業地内埋蔵文化財調査報告』 『県文報』56	1980



<b>だいさいふ</b> 大宰府跡	太宰府市大字観世音寺～大字国分～大字通古賀～大字太宰府	大宰府
平頭風字硯	内藤政恒 『本邦古硯考』 都府楼跡 養徳社刊	1944
円面硯	小田富士雄 「九州発見古硯出土遺跡地名表」『塚ノ谷古窯跡群一八 女古窯跡群調査報告Ⅰ一』 八女市教委刊	1969
円面硯	県 教 委 『大宰府史跡 第5次発掘調査概要』	1970
圈足硯, 獣脚硯, 転用硯	県 教 委 『大宰府史跡 昭和45年度発掘調査の概要』『県文報』 47 第4・5・7次, 観世音寺を含む	1971
圈足硯, 転用硯	九歴資料館 『大宰府史跡 昭和48年度発掘調査概報』 第26次	1974
転用硯 瓦	九歴資料館 『大宰府史跡 昭和50年度発掘調査概報』 第37次 学校院跡	1976
杯皿形硯 図13	九歴資料館 「第41次調査」『大宰府史跡 昭和51年度発掘調査概報』	1977
転用硯	九歴資料館 「第45次調査」『大宰府史跡 昭和52年度発掘調査概報』 観世音寺東面築地跡推定地	1978
圈足硯, 獣脚硯, 転用硯	五島美術館 『日本の陶硯』 都府楼跡	1978
圈足硯, 転用硯	九歴資料館 「第54次調査」『第59次調査』「条坊の調査(八条七・八 坊)」『大宰府史跡 昭和53年度発掘調査概報』	1979
圈足硯, 風字硯, 転用硯	九歴資料館 「第60次調査」『第65-2次調査』『大宰府史跡 昭和54 年度発掘調査概報』	1980
圈足硯, 転用硯	九歴資料館 「第73次調査」『大宰府史跡 昭和55年度発掘調査概報』	1981
圈足硯, 風字硯, 二面平頭風字硯, 長方硯, 猿面硯, 転用硯	九歴資料館 「第70次調査」『第76次調査』『大宰府史跡 昭和56年度 発掘調査概報』	1982
圈足硯	太宰府町教 委 『大宰府条坊跡 観世音寺土地区画整理に伴う発掘 調査(1)』『太宰府町の文化財』5 七条七坊	1982
円面硯	桧崎彰一 「日本古代の陶硯—とくに分類について—」『考古学論 考 小林行雄博士古稀記念論文集』 平凡社刊	1982
<b>みづき</b> 水城跡	太宰府市大字水城	水城
蹄脚硯	奈良 博 『天平の地宝』 朝日新聞社刊	1961
<b>ほんにやじ</b> 般若寺跡	太宰府市大字南字般若寺	寺院
圈足硯	九歴資料館 『般若寺跡 大宰府史跡 昭和54年度発掘調査概報別 冊』	1980
<b>みのき</b> 覆寺	太宰府市太宰府	寺院 住居跡出土
風字硯	小田富士雄 「福岡県瀬戸横穴古墳出土の円面硯」『考古学雑誌』48 —1— 日本考古学会刊	1962
風字硯	小田富士雄 「九州発見古硯出土遺跡地名表」『塚ノ谷古窯跡群一八 女古窯跡群調査報告Ⅰ一』 八女市教委刊	1969
<b>おおのじょう</b> 大野城跡	糟屋郡宇美町大字四天王寺～大ツ波～大石垣～茶白山	大野城
転用硯 瓦	県 教 委 『特別史跡 大野城跡Ⅱ 史跡環境整備に伴う発掘調 査概報』	1977

転用硯 瓦 五島美術館 『日本の陶硯』 1978

きやま  
木山廃寺 京都府犀川町大字木山 591 番地ほか 寺院  
圈足硯 犀川町教委 『木山廃寺』 1975

さいわいぎ  
幸木遺跡 京都府豊津町大字国作字幸木 豊前国衙官人の居宅？  
圈足硯 豊津町教委 『幸木遺跡 唐・五代陶磁器出土遺跡発掘調査報告』 1976  
円面硯 松岡 史 『幸木遺跡』『日本考古学年報』 29 1976年度版 1978

## 佐 賀 県

とうつげ  
藤附 B 遺跡 佐賀市久保泉町大字川久保字藤附 古墳関連？  
圈足硯？ 県 教 委 『藤附 B 遺跡』『大門西遺跡 九州横断自動車道関係埋蔵文化財発掘調査報告書』 1 『県文報』 51 1980

ひぜんこくふ  
肥前国府跡 佐賀郡大和町大字久池井字五本杉 肥前国府  
圈足硯 県 教 委 『肥前国府跡Ⅱ 第四～第六次発掘調査報告書』『県文報』 58 1981

ひぜんこくふんじ  
肥前国分寺跡 佐賀郡大和町大字尼寺字真島 寺院  
長方硯 大和町教委 『肥前国分寺跡』『大和町文報』 1 1976

にしやま  
西山遺跡 佐賀郡大和町大字川上字西山 寺院  
長方硯 県 教 委 『西山遺跡』『県文報』 28 1974

の だ ご ほんまつ  
野田五本松遺跡 神崎郡神崎町大字竹字五本松 未詳  
円面硯 県博物館 『地下の遺宝』 1979

だいこくまら  
大黒町遺跡 藤津郡塩田町大字五町田字大黒町 官衙？  
円面硯 未報告 県教委教示

## 長 崎 県

出土例なし

## 熊本県

くまもとこうこう

### 熊本高校遺跡

圈足硯

熊本市新大江1丁目

集落? 住居跡

三島 格 「肥後の須恵器資料(一)」『熊本史学』21・22 熊本史学会刊 1961

圈足硯

小田富士雄 「福岡県瀬戸横穴古墳出土の円面硯」『考古学雑誌』48-1 日本考古学会刊 1962

こうぜんじしすい

### 興善寺志水遺跡

圈足硯

八代市興善寺町志水

集落? 住居跡

県教委 「興善寺清水遺跡」『興善寺Ⅱ—熊本県八代市興善寺町所在興善寺四郎丸・興善寺志水遺跡の調査—』『県文報』45 1980

いけじり

### 池尻遺跡

円面硯

八代市妙見町宮地池尻

遺物散布地

県教委 『熊本県埋蔵文化財包蔵地一覧表 昭和51年度』 1977

りょうふざんしも

### 靈符山下遺跡

圈足硯

八代市妙見町

未詳

三島 格 「肥後の須恵器資料(二)」『熊本史学』25 熊本史学会刊 1962

にしかたまち

### 西片町遺跡

圈足硯

八代市西片町沖

遺物散布地

三島 格 「肥後の須恵器資料(一)」『熊本史学』21・22 熊本史学会刊 1961

圈足硯

小田富士雄 「福岡県瀬戸横穴古墳出土の円面硯」『考古学雑誌』48-1 日本考古学会刊 1962

あらいだし

### 洗出窯跡

圈足硯

荒尾市府本字土井内

窯

内藤政恒 「調度 硯」『新版考古学講座』7 有史文化 下 1970

圈足硯

坂本経亮 「小袋山麓古窯址群調査報告」『肥後上代文化の研究』肥後上代文化研究所<sup>は</sup>か刊 1979

圈足硯

県教委 「荒尾窯跡群洗出窯跡」『生産遺跡基本調査報告書Ⅱ—須恵器窯跡・瓦窯跡・陶磁器窯跡—』『県文報』48 1980

圈足硯

県教委 「興善寺志水遺跡」『興善寺Ⅱ』『県文報』45 円面硯出土遺跡一覧表 1980

だいべつとう

### 大別当窯跡

二面円頭風字硯

荒尾市樺字大別当

窯

坂本経亮 『小袋山麓古窯址群調査報告』A窯 坂本経亮刊 1950

二面円頭風字硯

三島 格 「肥後の須恵器資料(一)」『熊本史学』21・22 A窯 熊本史学会刊 1961

二面円頭風字硯

五島美術館 『日本の陶硯』A窯 1978

二面風字硯

坂本経亮 「小袋山麓古窯址群調査報告」『肥後上代文化の研究』肥後上代文化研究所・肥後考古学会刊 1979

二面円頭風字硯	県教委	「荒尾窯跡群大別当窯跡」『生産遺跡基本調査報告書Ⅱ—須恵器窯跡・瓦窯跡・陶磁器窯跡—』『県文報』48	1980
<small>ふもとふるぼた</small> 府本古畑遺跡 二面風字硯？	荒尾市府本字古畑	窯？	
	県教委	「須恵器生産をめぐる諸問題4 陶硯と穿孔須恵器」『生産遺跡基本調査報告書Ⅱ—須恵器窯跡・瓦窯跡・陶磁器窯跡—』『県文報』48	1980
<small>ましきこくふ</small> 益城国府推定地 陶足硯 陶硯	下益城郡城南町大字陳内舞の原	肥後国府	
	松本雅明	「古代」『城南町史』城南町史編纂会刊	1965
	城南町	『塚原古墳群発掘調査報告書 昭和53年度』遺跡地名表	1979
<small>まいのほろ</small> 舞ノ原台地南縁 陶硯	下益城郡城南町	集落？ 住居跡	
	県教委	『沈日』『県文報』13	
<small>うえほろ</small> 上の原遺跡 陶足硯	下益城郡城南町上の原	集落	
	県教委	「興善寺志水」『興善寺』Ⅱ『県文報』45 円面硯出土	1980
		遺跡一覧表	
<small>だほら</small> 駄の原遺跡 円面硯 陶足硯	鹿本郡鹿央町駄の原	集落？ 住居跡	
	県教委	「興善寺志水遺跡」『興善寺』Ⅱ『県文報』45	1980
	県教委	「須恵器生産をめぐる諸問題4 陶硯と穿孔須恵器」『生産遺跡基本調査報告書Ⅱ—須恵器窯跡・瓦窯跡・陶磁器窯跡—』『県文報』48	1980
<small>すみよしじんじわ</small> 住吉神社境内遺跡 陶足硯 陶足硯 陶足硯	菊池郡泗水町大字住吉字北住吉	集落？／肥後国合志郡衙？	
	三島格	「肥後の須恵器資料（一）」『熊本史学』21・22 熊本史学会刊	1961
	小田富士雄	「福岡県瀬戸横穴古墳出土の円面硯」『考古学雑誌』48—1 日本考古学会刊	1962
	五島美術館	『日本の陶硯』	1978
<small>しょうたいさん</small> 小岱山古窯址群 風字硯 三脚 風字硯 陶足硯	荒尾市府本 348	窯	
	小田富士雄	「福岡県瀬戸横穴古墳出土の円面硯」『考古学雑誌』48—1 日本考古学会刊	1962
	小田富士雄	「九州発見古硯出土遺跡地名表」『塚ノ谷窯跡群—八女古窯跡群調査報告Ⅰ—』八女市教委刊	1969
	五島美術館	『日本の陶硯』	1978

つちあな せ  
土穴瀬遺跡

圈足硯

八代郡竜北町土穴瀬

未詳

三島 格 「肥後の須恵器資料(二)」『熊本史学』25 熊本史学 1963  
会刊

さか やま  
下り山窯跡

圈足硯

球磨郡錦町大字一武字下り山 窯

渋谷 敦<sup>はか</sup> 『下り山須恵器窯跡発掘調査報告』 県立球磨工業高 1967  
校郷土研究部昭和41年度研究集録

圈足硯

小田富士雄 「九州発見古硯出土遺跡地名表」『塚ノ谷窯跡群一八女  
古窯跡群調査報告Ⅰ』 八女市教委 1969

圈足硯

県 教 委 「球磨窯跡群下り山窯跡」『生産遺跡基本調査報告書Ⅱ 1980  
一須恵器窯跡・瓦窯跡・陶磁器窯跡一』『県文報』48

大 分 県

おんごくぶんじ  
豊後国分寺跡

転用硯

大分市大字国分

寺院

大分市教委 『豊後国分寺跡』

1979

じぞうぼる  
地藏原遺跡

圈足硯

大分市大字小池原

官衙?

『大分合同新聞』82年11月14日

1982

おようしゆづかしゆうへん  
凶首塚周辺遺跡

圈足硯

宇佐市大字北宇佐

未詳

未報告 県教委教示

おぼた  
御幡遺跡

圈足硯

宇佐市大字北宇佐字大道端

遺物散布地

未報告 小田富士雄氏教示

圈足硯

宇佐市周辺

未詳

未報告 宇佐風土記の丘資料館蔵

宮 崎 県

出土例なし

## 鹿 児 島 県

<sup>たての</sup>  
**豎野窯跡** 鹿児島市冷水町346番地49号 窯 <sup>ひやみず</sup> \*別称 冷水窯跡  
 長方硯 鉄袖 県共済会南風病院 『豎野(冷水)窯址—薩摩焼古窯—』 『南風病院女子寮建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書』 1978

<sup>さつま</sup>  
**薩摩国府** 川内市御陵下町～国分寺町 薩摩国府  
 風字硯 県教委 『薩摩国府跡・国分寺跡』 西原地区 1975  
 風字硯 五島美術館 『日本の陶硯』 1978

日置郡吹上町永吉 未詳  
 風字硯 土師質 五島美術館 『日本の陶硯』 1978

<sup>はみ</sup>  
**波見遺跡** 肝属郡高山町荒瀬・西山の上 地下式横穴 \*別称 <sup>あらせ</sup> 荒瀬遺跡  
 風字硯 小田富士雄 『九州発見古硯出土遺跡地名表』 『塚ノ谷窯跡群—八女古窯跡群調査報告I—』 八女市教委刊 1969  
 平頭風字硯 五島美術館 『日本の陶硯』 1978

## 沖 縄 県

出土例なし

## 総論

編著者	書名	発行所	発行年
内藤政恒	「本邦古硯雑考」『考古学』10-6	東京考古学会	1939
内藤政恒	『本邦古硯考』	養徳社	1944
今里幾次	「播磨辻井廃寺址の古陶硯」『史迹と美術』18-6	史迹美術同攷会	1948
内藤政恒	「関東・東北に於ける円面硯」『史迹と美術』23-8	史迹美術同攷会	1953
栢崎彰一	「猿投山古窯出土の陶硯」『陶説』83	日本陶磁協会	1960
坂詰秀一	「陶硯を出土する古窯跡の性格」『古代文化』12-2 『歴史考古学研究』1 1969年ニュー・サイエンス社 所収	古代学協会	1964
内藤政恒	「須恵器利用の硯について」『考古学雑誌』50-1	日本考古学会	1964
内藤政恒	「硯の需要と二面硯に関する研究序説」『東京薬科大学一般教育研究紀要』1	東京薬科大学	1967
新井喜久夫	「文献上にあらわれた尾張陶器」『いちのみや考古』117 いちのみや考古学会		1969
内藤政恒	「調度 硯」『新版考古学講座』7 有史文化 下	雄山閣	1970
石井則孝	「陶硯について—その1—」『史館』創刊号	市川ジャーナル社	1973
内藤政恒	「福島県の陶硯とその文化」『日本考古学・古代史論集』	吉川弘文館	1974
石井則孝	「陶硯について—その2—」『史館』2	市川ジャーナル社	1974
石井則孝	「陶硯について(3)」『史館』4	市川ジャーナル社	1974
石井則孝	「陶硯について—その5—」『史館』6	市川ジャーナル社	1976
五島美術館	『日本の陶硯』	五島美術館	1978
栢崎彰一	「猿面硯について」『MUSEUM』341	東京国立博物館	1979
栢崎彰一	「日本考古学会第10回例会講演要旨 古代の陶硯について」『考古学雑誌』65-3	日本考古学会	1979
玉口時雄	「転用硯考」『古代探叢 滝口宏先生古稀記念考古学論集』	早大出版会	1980
石井則孝	「日本古代文房具史の一面—陶硯について—」『古代探叢 滝口宏先生古稀記念考古学論集』	早大出版会	1980
植村和堂	『和硯と和墨』		1980
栢崎彰一	「日本古代の陶硯—とくに分類について—」『考古学論考 小林行雄博士古稀記念論文集』	平凡社	1981

### 報告書寄贈のお願い

年々生み出される埋蔵文化財関係の情報は膨大な量に達し、すべての情報に接することは誠に困難な事態となっております。特に発掘報告書や学会誌・同人誌等の刊行数は増加の一途をたどっており、各人では入手し難いところがあります。

当埋蔵文化財センターでは、毎年、埋蔵文化財関係の情報を集め、その結果を全国の関係者にお知らせすべく努力し、その一環として『埋蔵文化財ニュース』を刊行してきました。本号には全国各地で出土した陶硯に関する文献目録を掲載することになりました。しかし、この目録に収録した文献においても、研究所に所蔵しないものが相当数あります。

当センターでは、こうした文献をはじめ、各地で刊行された告書等をすべての関係者に活用いただけるよう蒐集しております。貴縣市町村・学会・研究会におきましても、当センターの業務を御理解のうえ、報告書等出版のおりは、是非とも寄贈下さるようお願い致します。

表1 陶硯出土遺跡の種類別内訳

数字は遺跡数

府県名	遺跡の種類																遺跡総数	転のみ出土硯
	宮・官衙	官衙?	城柵	城柵?	寺院	寺院?	集落	集落?	墳墓	墳墓?	窯	散布地	散布地?	その他	その他?	未詳		
青森							3										3 (3)	
岩手	1 (1)		3				2 (1)				2						7 (1)	
宮城	7 (4)		7 (4)		2		10 (2)		1		10			1 (1)		1	34 (1)	
秋田	3 (3)		2 (2)				5				2						10 (3)	
山形	5 (2)						4 (1)				5			1 (1)			14 (4)	
福島	8 (1)				5		14 (3)		1 (1)		4			1		1	32 (3)	
茨城	2				3 (1)		6 (1)				3	1					15	
栃木	3						6				3						12 (3)	
群馬	1 (1)				2 (1)		8 (1)				2	1		1 (1)			13 (3)	
埼玉	2 (2)				1		11 (1)				8			1			22 (6)	
千葉	2 (1)				1		20 (1)				1						23 (14)	
東京	1				1		10 (2)							2 (2)			11 (4)	
神奈川	2				2 (1)		4					1					9 (4)	
新潟	3 (3)		1 (1)		1 (1)		8 (3)				6	3 (1)		1 (1)			18 (4)	
富山	1 (1)				1		6 (2)				6	5 (1)		3 (1)			20 (7)	
石川	3 (2)				3 (2)		5 (3)		1		7	1		4 (3)		1	20 (1)	
福井					1											1	2	
山梨							1										1	
長野	5 (4)				2 (1)		11 (5)				3	2		2 (2)			19 (1)	
岐阜	1				6 (3)		10 (3)				5	1				2	23	
静岡	7 (3)				3 (1)		1		1		3			1 (1)			14 (2)	
愛知	1				3 (1)						50	8		1 (1)			62	
三重	4 (2)				1		16 (4)				3	2					24 (1)	
滋賀	12 (8)				4 (1)		10 (9)				1	2 (1)		2 (1)		1	20 (3)	
京都	29				7 (1)		3 (1)		2 (1)		12	3 (1)		1			54 (4)	
大阪	5 (2)				10 (2)		5 (3)				18	4 (2)		1 (1)			35	
兵庫	7 (2)				3 (1)		8				17	10 (1)				4	46 (1)	
奈良	36 (2)				19		2 (2)		1					2 (1)		3	62 (4)	
和歌山	1				1		1							1 (1)			4	
鳥取	6 (1)				3 (1)		1 (1)										9 (2)	
島根	3 (2)				2 (2)				1		2			2 (1)		1	10 (1)	
岡山	15 (8)				12 (4)		6 (2)		1 (1)		4	6 (1)		1 (1)		2	40 (2)	
広島	4 (1)				3		2 (1)				1	1 (1)		1 (1)			10 (4)	
山口	2 (1)				1		3 (1)				1	1					7 (1)	
徳島	1				1						1						3	
香川	1				1		1				4	2					9	
愛媛	1						1				2			1			5	
高知	1						1										2	
福岡	5 (2)		2		5		5 (2)		1		4			1 (1)		1	23 (3)	
佐賀	2 (1)				2				1 (1)							1	6	
長崎																		
熊本	2 (1)						6 (5)				5	2				2	16	
大分	1 (1)				1							1				2	5 (1)	
宮崎																		
鹿児島	1								1		1					1	4	
総計	197 (62)		15 (7)		113 (24)		216 (60)		12 (4)		196	57 (9)		32 (21)		24	778 (91)	

註 3頁の凡例を参照



表2 陶硯出土遺跡の硯の形態別内訳

数字は遺跡数

府県名	硯の形態	円面硯					円形硯	楕円硯	風字硯					形象硯	方形硯	猿面硯	そ・の未他詳	転用硯	
		圈足	低・無圈足	蹄脚	獸脚	提杯瓶血形			円小面硯計	平風頭字	花風頭字	円風頭字	二風面字						風小字硯計
青森																		3	
岩手		2				2			1				6					3	
宮城		20				23	1	1	6		2	2	16		2	1		6	
秋田		2	1			3	1				1	4	5				2	5	
山形		1	1			2			2		1	4	8					6	
福島		26				26			2			1	4	1				5	
茨城		12				14						1	1					3	
栃木		7				7							2				1	5	
群馬		2	2			1	5					2	6					6	
埼玉		9				9		1			2	2	8					7	
千葉		8				8	1					1	1		1			17	
東京		4	1			4	1	1			1	2	4			1		6	
神奈川		1				2						1	1			1		7	
新潟		9				9	2				2		5					6	
富山		10				10							2	1	1			9	
石川		10	1			15		1	1		1	1	4		1	1		4	
福井		1				1										1			
山梨									9	5								1	
長野		6		2	2	1	13		2		1	1	6					3	
岐阜		11	2				15		1				2	1	4	2	1		
静岡		4			2	1	5	1	2		2	3	4		2			8	
愛知		25		4	1		30		1			2	26	11	8	2	4	2	
三重		21	2	2			22	1	4				2				1	3	
滋賀		9		1	2		12				1		2				4	5	
京都		33	1	4	3	2	37	1	2	1	3	6	23	1	3	4	1	17	
大阪		21	1	7			31		1				2		1		3	1	
兵庫		13		2	3		35			2		1	8		3	1	1	9	
奈良		39	4	26			51	4	2			3	14	8		2	1	19	
和歌山		1					2						1	1				1	
鳥取		7	2	1			7						2					5	
島根		7		1		1	9						1					2	
岡山		27		3	1		32	1			1		7	1	3	3	1	8	
広島		4		1			5								1			5	
山口		6	1				6									1		2	
徳島		2					3												
香川		3					5		1			1	2		3				
愛媛		3	2	1	1		5												
高知		1				2	1						1		1			1	
福岡		11		1	3		15	2	2			2	5		1	2		7	
佐賀		2					4								2				
長崎																			
熊本		12					13					2	3				1	1	
大分		4					4												
宮崎																			
鹿児島									1				3		1				
総計		396	21	56	18	8	502	16	10	37	5	18	42	187	25	34	22	21	198

註 3頁の凡例を参照